Panasonic

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BR670V

安全上のご注意 / 視聴 / 録画 / 再生 / 編集 / ダビング / 他の機器と / 写真 / 音楽 / 便利機能 / 必要なとき

操作編

ブルーレイディスク/DVD関連情報(動作確認情報など)は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/index.html

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(159～161ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VHS

RQT9490-5S

本機の特長

ハイビジョンで楽しむ

ハイビジョンで HDDに

デジタル放送のハイビジョン番組を
ハイビジョン画質そのままに録画できます。

ハイビジョンで ディスクに

ブルーレイディスクやDVDディスクに
ハイビジョン画質で記録することができます。

ブルーレイディスクに記録

大容量 で長時間記録

片面2層(50 GB)のブルーレイディスクの場合、
DVD(4.7 GB)の約10枚分記録できます。

モバイル機器に持ち出す

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に
持ち出して楽しむことができます。

➜ 106ページ

思い出を見よう! 残そう!

ディスクやSDカードから

ハイビジョンで撮影した動画(AVCHD)の再生や取り込みができます。
➜ 44、86ページ

SDビデオカメラなどで撮影した映像(MPEG2)の取り込みができます。
➜ 73ページ

デジタルカメラで撮った写真の再生や取り込みができます。
➜ 87、93ページ

ネットワークにつないで

アクトビラ テレビでいろいろな情報を見ることができます。 ➜ 98ページ

パソコン 本機を遠隔操作することができます。 ➜ 111ページ

1ヵ月の番組表 1ヵ月の番組表を表示することができます。※ ➜ 25ページ
※番組情報を提供している放送局のみ (2009年9月現在、WOWOWのみ)

ビエラリンク (HDMI)

HDMIケーブルでビエラとつなげば、
ビエラのリモコン1つで本機の操作を行うことができます ➜ 102ページ

もくじ 「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜159～161ページ)

番組

視聴

録画

再生

編集

(➜ 次ページにつづく)

もくじ（つづき）

ダビング

他の機器と

写真

音楽

その他

便利機能

「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜159〜161ページ)

必要なとき

音声ガイドについて

音声で操作を案内する機能です。
もくじまたは本書中の左記マークのある個所で働きます。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。
- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を3秒以上押す
本機の電源が切れます。

電源 ⏻/I

故障かな !? と思った場合 ➜139

本機を廃棄/譲渡するときは

134ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
詳しくは99ページをご覧ください。

本書内の表現 / 操作ガイドについて

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➜○○)、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを(**➜準備編** ○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。
例） **-R** と表示されている場合、AVCREC 方式、VR 方式、ビデオ方式の DVD-R 共通の動作を指しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなどの記録方式による表示マーク			
		AVCREC 方式	VR 方式	ビデオ方式	AVCHD
HDD	**HDD**	—	—	—	—
BD-RE※1	**BD-RE**	—	—	—	**AVCHD**※2
BD-R※1	**BD-R**	—	—	—	
BD ビデオ※3	**BD-V**	—	—	—	—
DVD-RAM	**RAM**	**RAM(AVCREC)**	**RAM(VR)**	—	**AVCHD**
DVD-R	**-R**	**-R(AVCREC)**	**-R(VR)**	**-R(V)**(ファイナライズ前) **DVD-V**(ファイナライズ後)	
DVD-R DL	**-R DL**	**-R DL(AVCREC)**	**-R DL(VR)**	**-R DL(V)**(ファイナライズ前) **DVD-V**(ファイナライズ後)	
DVD-RW	**-RW**	—	**-RW(VR)**	**-RW(V)**(ファイナライズ前) **DVD-V**(ファイナライズ後)	
DVD ビデオ	**DVD-V**	—	—	—	—
+R		—	—	—	**AVCHD**
+R DL		—	—	—	
+RW		—	—	—	
CD	**CD**	—	—	—	—
SD カード	**SD**	—	—	—	**AVCHD**
VHS	**VHS**	—	—	—	—

※ 1　DL も含みます。ブルーレイディスクの「DL」とは片面 2 層(50 GB)のディスクのことを表します。
※ 2　他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録した BD-RE、BD-R を指します。
※ 3　市販の映画などが記録されたブルーレイディスクのことです。

ディーガがしゃべる!

操作ガイドについて

本機には、本機の基本的な操作や困ったときの解決法などをテレビ画面で確認できる「操作ガイド」が内蔵されています。
●録画や再生中に見ることはできません。

1　[ガイド] を押す
2　[▲][▼][◀][▶]で知りたい項目を選び、[決定] を押す
●この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。

前の画面に戻るには

を押す

画面を消すには

[ガイド] を押す

右記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき

[ガイド] を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

例）

各部のはたらき

リモコン

本機の電源

ディスクトレイを開閉する

テレビ操作部(➜準備編39)
- 本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。

チャンネルを順に選ぶ
VHS トラッキングや垂直同期を調整する(➜57)

HDD/BD/SD/VHSを切り換える

録画や再生時の基本操作

約10秒前へ戻す(VHSを除く)(➜48)/お好みチャンネルを表示する(➜15)

約30秒先へ飛び越す(VHSを除く)(➜48)

放送を切り換える(➜14)

操作ガイドを表示する(➜6)

予約一覧画面を表示する(➜34)

番組表(Gガイド)を表示する(➜22)

録画一覧/ディスクメニューを表示する(➜43)

スタート画面を表示する(➜158)

サブメニューを表示する

前の画面に戻る

上([▲])
左([◀]または[◀❚❚])
右([▶]または[❚❚▶])
下([▼])

- 画面上での選択/決定:
  選択: 上下左右([▲][▼][◀][▶])を押す
  決定: 決定 を押す
- コマ送り/コマ戻し:
  (一時停止中) 左右([◀❚❚][❚❚▶])を押す

アクトビラを表示する(➜98)/チャプターマークを作成・削除する(➜62)

外部接続機器に入力を切り換える(L1)

情報を表示する(➜16、50)

消去する(VHSを除く)
- 番組の消去や予約の取り消しなどができます。
VHS テープカウンターをリセットする(➜56)

色ボタンについて

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

例: 番組表の場合

画面に表示されている色に応じたリモコンの色ボタンを押すと、表示されている内容を実行することができます。

ふたを開けると

Gコード®予約(➜32)

HDD 録画する(➜19)

HDD 録画モードを選ぶ(➜19)

データ放送の画面を表示する(➜18)

音声を切り換える(➜17、50、55)

デジタル放送の3けた番号を入力する(➜15)

再生方法を設定する(VHSを除く)(➜52)

時間を指定して飛び越す(VHSを除く)(➜49)

チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する

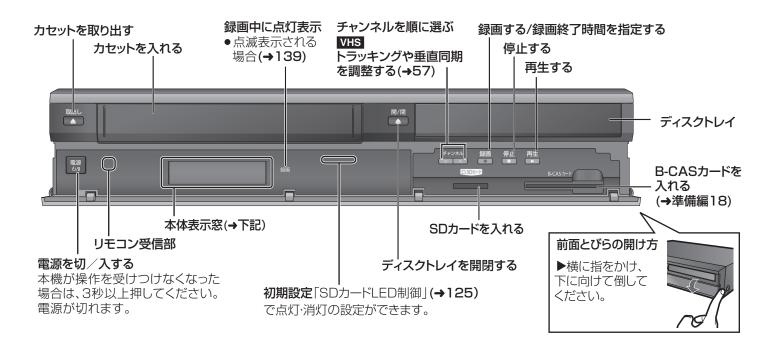
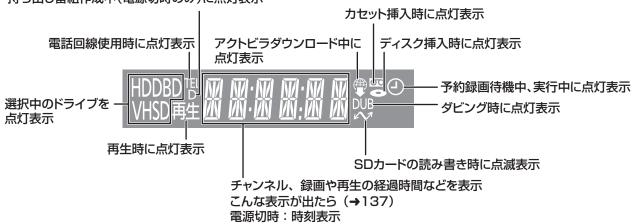
入力した数値などを取り消す

市販やレンタルのBDビデオやDVDビデオで使用するボタンについて

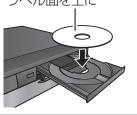
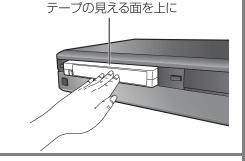
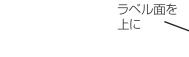
BDビデオ: 「ポップアップメニュー」→[録画一覧]

DVDビデオ: 「リターン」→[戻る]
「トップメニュー」→[録画一覧]
ボタンで操作します。

各部のはたらき(つづき)

本体(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

本体表示窓

チャンネル、録画や再生の経過時間などを表示
こんな表示が出たら(➜137)
電源切時：時刻表示
● 初期設定「本体表示窓の明るさ」(➜125)が「オート」のときやECOスタンバイ(➜126)が有効なときは表示されません。

ディスク・カセット・SDカードを入れる

ディスク	**開/閉 [▲] を押してトレイを開き、ディスクを入れる** ●もう一度押すと、トレイが閉まります。 ●電源が切れていても取り出せます。ただし、電源「入」になります。 ラベル面を上に **お知らせ** ●両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできません。 **●カートリッジ付きディスクについて** ・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。 （カートリッジからディスクを取り出しても使えません） ・DVD-RAM や 8 cmのディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。**(➜下記)**（TYPE1 は使えません） 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。
カセット	**テープが見える面を上にして、ゆっくり入れる** ●自動的に電源が入ります。 **カセットを取り出すには** 【本体】 取出し [▲] を押す 【リモコン】 電源「入」状態で「VHS」選択中、 [■停止] を約3秒以上押す ●VHSのダビング中などは働きません。 テープの見える面を上に
SD カード	**1 本体前面のとびらを開ける** **2 カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む** ラベル面を上に 角がカットされた側を右に **3 本体前面のとびらを閉じる** **カードを取り出すには** 上記手順 2 で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す **お知らせ** **本体表示窓の" "(➜8)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。** ●miniSDカード、microSD カードや microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。 例)

ディスクやカセット、SD カードを入れると、入れたメディアに合わせて自動的にドライブを切り換えます。
それぞれ取り出すと、HDD に切り換わります。
●カセットは HDD 録画中に入れても切り換わります。

カートリッジ付きディスクの取り出しかた例

カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

（図 1） （図 2） （図 3）

ロックピン
（左右 2 ヵ所）

先のとがった硬いものでロックピンを取り除く

先のとがった硬いものでくぼみを押す

開閉ふた

そのまま引き下げる

SIDE A

はじめに

記録できるブルーレイディスクについて

本機で記録できるブルーレイディスクは?

※1 DLも含みます。
ブルーレイディスクの「DL」とは
片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。
※2 LTH typeも含みます。

■BD-REに関してのお知らせ

本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。
(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
Blu-ray Disc Rewritable Format Version 2.1に準拠したBD-REをお使いください。

ブルーレイディスクに記録すると…

ブルーレイディスクは、従来のDVDに比べて記録容量が大幅に多くなりました。

例えば

ブルーレイディスク(片面2層 50 GB)と
DVD(4.7 GB)では…

2時間映画だと…(SPモードで記録時)

ブルーレイディスクは、デジタル放送の高画質·高音質のハイビジョン映像を放送されたそのままの状態で
記録することができます。

放送された映像を
そのままの画質で記録できます
(DRモードで記録時)

放送された映像を
そのままの画質では記録できません
(DRモードでは記録できません)

放送されたデータを圧縮してハイビジョン画質で
記録することはできます。(HG、HX、HE、HL、HMモードで記録時)

ブルーレイディスクの特徴は?

記録できる放送は?	地上・BS・CS デジタル放送　地上 アナログ放送
記録できる画質は?	ハイビジョン画質　標準画質　(➜152「デジタルハイビジョン」)
記録できる録画モードは? (➜38「録画モードについて」)	すべての録画モード
予約録画は?	できる(予約は1番組のみ)
BD機器での再生は?	BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応した機器で再生できます。 ●LTH type の BD-R に記録した場合、LTH type に対応していないと再生できないときがあります。 ●片面2層(50 GB)のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。 ・2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。 ●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、BD-RE(Ver.2.1)、BD-R に対応していないため、再生できません。 ●HG、HX、HE、HL、HMモードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)は、再生できない場合があります。

こんなとき
どうしたらいいの?

BD-REとBD-Rのどちらのディスクを使えばいいですか?

ディスクは繰り返し
使いたい

繰り返し録画用

ディスクには1度しか
記録しない
保存用として使う

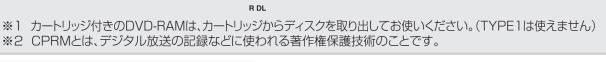
1回録画用

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/bd/index.html)

記録できるDVDディスクについて

本機で記録できるDVDディスクは?

デジタル放送を記録するには…
CPRM※2対応の
ディスクか確かめて
ください。

※1 カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
※2 CPRMとは、デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

DVDディスクに記録する前に…

本機では、3種類の記録方式があります。
記録する放送やディスクの用途により記録方式を決めてください。

AVCREC方式? VR方式? ビデオ方式?

それぞれの記録方式の特徴は?

	AVCREC方式	**VR方式**	**ビデオ方式**
	ハイビジョン番組をハイビジョン画質でDVDに記録できる方式です。	(DVDビデオレコーディング規格) DVDにテレビ放送などを記録・編集するために作られた方式です。	(DVDビデオ規格) 市販されているDVDビデオと同じ方式です。
記録できる放送は?	地上・BS・CS デジタル放送	地上・BS・CS デジタル放送 地上 アナログ放送	地上 アナログ放送
対応ディスクは?	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL (DVD-RW ×)	DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	(DVD-RAM ×) DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW
記録できる画質は?	ハイビジョン画質 (➜152「デジタルハイビジョン」)	標準画質	標準画質
記録できる録画モードは? (➜38「録画モードについて」)	HG、HX、HE、HL、HM	XP、SP、LP、EP、FR	XP、SP、LP、EP、FR
予約録画は?	できる (予約は1番組のみ)	できる (予約は1番組のみ)	できない
DVD機器での再生は?	記録したディスクのAVCREC方式の再生に対応している必要があります。 対応機器には AVCREC™ が付いています。 対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 -R -R DL はファイナライズ(➜115)が必要です。	記録したディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。(➜81) • デジタル放送の番組の場合、その機器がCPRMに対応している必要があります。	記録後、ファイナライズ(➜115)をすれば、DVD機器で再生できます。

記録方式を選ぶには(➜112)　・フォーマットをして選びます。

お客様の使いかたに合わせてDVDディスク、記録方式を選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**
  - たくさん記録したい（標準画質） → CPRM対応の DVD-R DVD-R DL **VR方式**

アナログ放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - 二ヵ国語放送を記録したい → DVD-RAM DVD-RW **VR方式**
  - DVD機器で再生したい → DVD-RW **ビデオ方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - 二ヵ国語放送を記録したい → DVD-R DVD-R DL **VR方式**
  - DVD機器で再生したい → DVD-R DVD-R DL **ビデオ方式**

ハイビジョンビデオカメラのハイビジョン動画（AVCHD）を記録 → DVD-RAM DVD-R DVD-R DL **AVCREC方式**

お知らせ

ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（http://panasonic.jp/support/bd/index.html）

テレビ放送を見る

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

暗証番号の入力画面が表示されたら（➜121「制限項目設定」）

電源を切るには

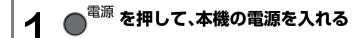
電源 を押す

本体表示窓　例）

お知らせ

- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 録画中に放送 / 入力やチャンネルを切り換えることはできません。

BS デジタル　CS デジタル

- 雨や雷、雪などの天候のときは、一時的に映像や音声が止まったり、受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

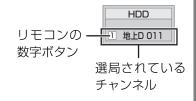
本体表示窓　例）

10:05 または（表示なし）
➜ HELLO
➜ D 011　チャンネル表示

2 を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

3 1 〜 12（ふた内部）または チャンネル ∧∨ を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は（➜15）

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局（➜120）

数字ボタンで選べる放送局を変更するには
（➜準備編 34 〜 36）

[チャンネル ∧,∨] で選べる放送局を変更するには
地上アナログ（➜準備編 35）
地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル
（➜121 放送設定「選局対象」）

本体表示窓でのチャンネル表示について

本体表示窓では、現在選んでいるチャンネルが下記のように表示されます。

放送	表示	放送	表示
地上デジタル放送 例）011	D 011	地上アナログ放送 例）1	A 1
BSデジタル放送 例）101	BS 101	外部入力 例）L1	L 1
CS1 例）001	C1 001		
CS2 例）100	C2 100		

その他の選局方法

番組表から選局

1 [番組表]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で放送中の番組を選び、[決定]を押す

別の放送の番組表(Gガイド)を見るには
[アナログ][デジタル][BS][CS]を押す

3 [◀][▶]で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

例）全チャンネル表示

番組表(Gガイド)の表示設定(➜25)

お好みチャンネルから選局

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく1つのリストに登録できるため、よく見るチャンネルを登録しておくと、選局時に便利です。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

1 テレビ画面表示中に、[10秒戻し/お好みチャンネル]を押す

2 [▲][▼]で放送局を選び、[決定]を押す

お好みチャンネル			
LOGO	地上D	011	○○○○○
LOGO	地上D	021	○○○○○
LOGO	地上D	041	○○○○○
LOGO	地上D	061	○○○○○
LOGO	地上D	071	○○○○○
LOGO	地上D	081	○○○○○
LOGO	地上D	101	○○○○○
LOGO	BS	101	○○○○○
LOGO	BS	102	○○○○○
LOGO	BS	103	○○○○○
LOGO	BS	141	○○○○○

項目選択　決定　登録・取消　戻る

放送局のロゴは表示されない場合もあります。

チャンネルの登録	① 登録したい放送局を視聴中に、[10秒戻し/お好みチャンネル]を押す ② [サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「登録」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す ●登録した放送局は、お好みチャンネルの一番下に登録されます。(最大48チャンネル)
チャンネルの取り消し	① [10秒戻し/お好みチャンネル]を押す ② [▲][▼]で取り消したい放送局を選び、[サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「取消」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

●お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
●かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

お好みチャンネルのお買い上げ時の設定
・地上デジタル/BSデジタル：リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(➜120)
・CS1/CS2　：設定なし

3けたチャンネル番号を入力して選局

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

1 [3桁入力](ふた内部)を押す

●押すごとに選局対象の放送が切り換わります。CS1とCS2は「CS」で選んでください。

2 [1]～[10](ふた内部)を押して、チャンネルを入力する

例）103の場合…[1]→[10]→[3]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには
地上デジタル(➜17「枝番選局」)

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

1 サブメニュー S を押す

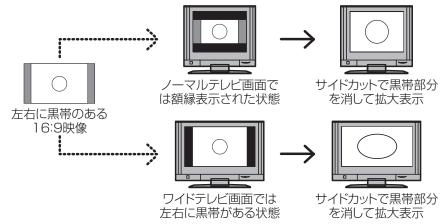
●ビエラリンク (HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

画面モード切換
デジタル放送メニュー
HDD/BD/SD/VHS
サブメニュー 決定 戻る

2 [▲][▼]で「画面モード切換」を選び、決定 を押す

3 [◀][▶]で画面モードを選ぶ

ノーマル :通常の出力となります。

サイドカット :16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。

ズーム :4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

お知らせ

●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切/入

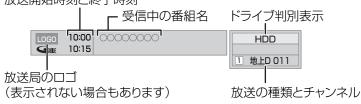
● BD-V DVD-V 「サイドカット」は効果がありません。

●**初期設定**「TVアスペクト」(➜126)を「4:3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

例)「HDD」選択中、地上デジタル放送を見ているとき

情報表示を消すには

[画面表示] を数回押す

放送内容などの設定

（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

番組視聴中に、

1 サブメニュー（S）を押す

- ビエラリンク (HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、（決定）を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、（決定）を押す（➜ 下記へ）

例）
デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局
項目選択 決定 戻る

- 視聴している番組により表示される項目が変わります。

項目	内容
視聴制限一時解除	「制限項目設定」(➜121)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◄][►]で設定する** ●番組により、選べる項目が変わります。 ●設定内容が 1つしかないときは切り換えできません。 ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され再生時に切り換えできません。
アンテナレベル	アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。
枝番選局（地上デジタル）	枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、3けたチャンネル番号に追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」、「011-2」) 3けたチャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **[▲][▼]で放送局を選び、[決定] を押す** **3けたチャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには** [▲][▼]で主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す

信号切換画面：
信号切換
マルチビュー 主番組
映像 映像1
音声 日本語
二重音声 主
データ データ1
字幕 オン オフ
字幕言語 日本語 英語
項目選択 設定変更 戻る

音声を切り換える

音声切換（ふた内部）を押す

- 押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

例）二重放送

二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →（二重L(主)に戻る）

例）マルチ音声放送

- 録画中に音声を切り換えても、記録される音声に影響はありません。
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜123)が「入」のときのアナログ放送や、**初期設定**「XP時の記録音声モード」(➜125)が「LPCM」の場合に録画モード「XP」を選択しているときは、音声の切り換えはできません。

データ放送を見る

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**
  録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

お知らせ

- データ放送のサービスの種類によっては電話回線の接続が必要です。**(➜準備編 13)**
- 電話回線での通信中は、本体表示窓に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。
- 電話回線の使用時には、回線接続料がかかります。

1 データ放送のある番組を選局し、[データ] (ふた内部)を押す

- 表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 見たい項目を選び、[決定] を押す

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには

[データ] を押す

- 画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。**(➜17)**

録画する

HDD

この操作では HDDにのみ録画できます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

ディスクに録画するには（➜23）

お知らせ

- ディスクへは録画できません。
  ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- VHS へは録画できません。
- 予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約したB-CASカードを挿入してください。契約したB-CASカードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。

必要に応じて

- 録画モードについて ➜38
- 記録の制限について ➜40
- 多重音声の記録について ➜42
- 録画中にできる操作 ➜132

1 [HDD] を押す

2 [アナログ] [デジタル] [BS] [CS] を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

3 [1] ～ [12]（ふた内部）または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ

その他の選局方法は（➜15）

4 [録画モード]（ふた内部）を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
  （[決定] を押すと、早く切り換えることができます）

例）

録画モード
DR 残量 29:00
HG 残量 52:00
HX 残量 80:00
HE 残量 120:00
HL 残量 160:00
HM 残量 232:00
XP 残量 71:00
SP 残量 142:00
LP 残量 284:00
EP 残量 566:00

※ デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画すると、ダビング画面ではハイビジョン画質の番組と同じく、HD が表示されますが、画質は標準画質です。

5 [録画]（ふた内部）を押す

- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 番組表（Gガイド）（➜24）に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

6 録画を止めるときは、[■停止] を押す

録画する(つづき)

録画中のいろいろな操作

録画を止める	**[■停止] を押す** ●停止した位置までを1番組として記録します。 **予約録画を止めるには(➜34)**
一時停止する	**[II一時停止] を押す** ●もう一度押す、または [**録画●**] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません) ●録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。
録画の終了時間の指定(終了時間予約録画)	**本体の [録画●] を押す** ●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。 **録画経過時間→30分後→1時間後→1時間30分後** **↑── 4時間後←── 3時間後←── 2時間後 ←┘** 録画経過時間 30分後停止 お知らせ ●リモコンの[**録画●**]ではできません。 ●ぴったり録画(**➜21**)や予約録画では指定できません。 ●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。 **終了時間の設定を取り消すには** 本体の[**録画●**]を数回押し、"録画経過時間"を選ぶ (録画は続けられます)

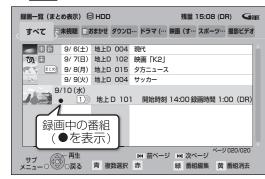
録画しながら再生する

追っかけ再生　:HDD録画中に、HDD 録画中の番組を先頭から再生します。
同時録画再生　:HDD録画中やディスク予約録画中に、録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 [HDD] または [BD/DVD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

2 [録画一覧] を押す

3 [▲][▼][◄][►] で番組を選び、[決定] を押す

例）HDD

録画一覧画面を消すには
[録画一覧] を押す

再生を止めるには
[■ 停止] を押す

HDD からダビング時にディスク容量ぴったりになるように録画する

ぴったり録画　:録画した番組を新品のDVD (4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」〜「EP」の中から自動的に最適な画質でHDDに録画します。(➜38「FR」)

1 チャンネルを選ぶ(➜ 19 ページ手順 1 〜 3)

2 [スタート] を押す

3 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、[決定] を押す

5 [▲][▼]で「HDD に録画」を選び、[決定] を押す

6 [▲][▼][◄][►]で"時間"または"分"を選び、録画時間を設定する

最大録画時間
EP(8 時間) モードで計算した残量時間

●8時間を超えて設定することはできません。

7 [◄][►]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で [決定] を押す

●録画中にぴったり録画はできません。

録画を止めるには
(➜20)

録画せずに画面を消すには
[戻る] を数回押す

録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す

例）

録画の残り時間

予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

VHS には予約録画できません。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

●番組表(Gガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表(Gガイド)のデータを受信する必要があります。
(詳しくは ➔ 準備編 30)
●電源の入/切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

必要に応じて

●録画モードについて ➔38
●記録の制限について ➔40
●多重音声の記録について ➔42
●録画中にできる操作 ➔132

番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する

1 [番組表] を押す

2 番組を選ぶ

例)全チャンネル表示

別の放送の番組表(Gガイド)を見るには
[アナログ][デジタル][BS][CS] を押す
(お好み番組表の場合)
① [サブ メニュー] を押す
② 「放送切換」で「お好み」を選び、[決定] を押す

番組表(Gガイド)の見かた(➔24)

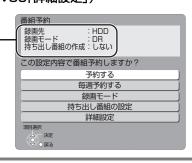
3 [決定] を押す

[決定] の代わりに [赤] を押すと、
現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
([予] が表示されます)
● 手順4~5の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

5 項目を選び、[決定] を押す

予約する	:予約を登録
毎週予約する	:毎週同じ曜日に予約を登録
録画モード	:録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)
持ち出し番組の設定	:モバイル機器へ持ち出すための番組を作成 **(➔106)**
詳細設定	:録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(変更後、「予約を登録する」を選んで予約を登録してください) **(➔30「詳細設定」)**

予約内容を確認してください。

番組表(G ガイド)を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます

DVDにデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

カートリッジ付きのディスクについて

- BD-REは使えません。
- DVD-RAM はカートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)

DVD に予約録画する記録方式を選ぶには

記録方式を選ぶには、フォーマット(➜112)する必要があります。

AVCREC方式

ハイビジョン画質で記録できます。(デジタル放送のみ可能)

- -RW では選べません。

VR方式

標準画質で記録するため、長時間記録できます。

ビデオ方式

予約録画できません。

AVCREC 方式のディスクについて

他の機器で再生する場合、再生するディスクの AVCREC方式に対応している必要があります。

対応機器には

AVCREC™

が付いています。

対応機器以外で使用しないでください。ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

-R -R DL はファイナライズ(➜115)が必要です。

1 ディスクを入れる

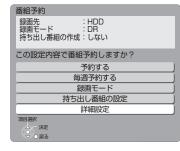
- 右記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例) BD-RE

BD-RE
かんたんダビング

2 22 ページの手順 1 ～ 4 を行う

- 22 ページの手順3では、[決定] を押してください。

3「詳細設定」を選び、決定を押す

4 録画先を「BD」にする

- DVDの場合は、「BD」を選んでください。

5「録画モード」を設定する

- ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

BD-RE BD-R	:すべての録画モード
RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	:「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	:「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」

録画モードについて(➜38)

6「予約を登録する」を選び、決定を押す

- フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

録画

予約録画する

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)の見かた

新聞のテレビ欄のような一覧表から番組を選ぶことができます。
この機能を使うには、**番組表(Gガイド)の受信が必要です。(➜準備編 30)**

番組表(G ガイド)について

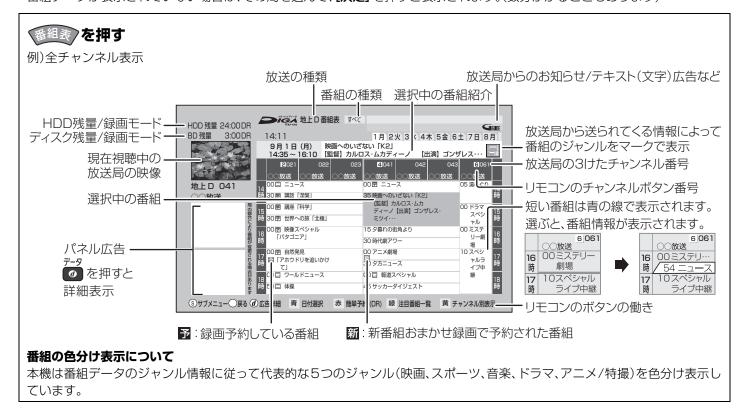
(地上アナログ)
●Gガイド地域一覧表(**➜準備編 50**)に登録されていない放送局は、見ることはできても番組表(G ガイド)には表示されません。

(地上デジタル)
●番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]** を押すと表示されます。(数分かかることもあります)

番組表 を押す

例)全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

番組表(G ガイド)の表示設定

別の放送の番組表(G ガイド)を表示

を押す

別の日の番組表(G ガイド)を表示
●全チャンネル表示時のみ

1 [青]を押す

2 [▲][▼][◀][▶]で日付を選び、[決定]を押す

お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をネットワークに接続し、**放送設定**「通信によるGガイド受信」(**➜準備編 31**)を「オン」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。(2009年9月現在、1ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOWのみです)

選択した日付のおすすめ番組を表示
(1ヵ月の番組表取得時のみ)

チャンネル別の番組表(G ガイド)を表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

1 [▲][▼][◀][▶]で表示したいチャンネルの番組を選ぶ

2 [黄]を押す

全チャンネル表示に切り換えるには
[黄]を押す

●1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

別のチャンネルを表示

チャンネル別表示中に

1 [青]を押す

●次ページのチャンネルを表示させる場合は、もう一度[青]を押してください。

2 [▲][▼]でチャンネルを選び、[決定]を押す

チャンネル選択 1／3ページ
地上D 011 ○○○○○
地上D 021 ○○○○○
地上D 031 ○○○○○
地上D 041 ○○○○○
地上D 051 ○○○○○
地上D 061 ○○○○○
地上D 071 ○○○○○
地上D 101 ○○○○○
青 次ページ
項目選択
決定
戻る

予約録画する(つづき)

番組表(G ガイド)の表示設定(つづき)

1 サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で項目を選ぶ(➜下記へ)

●表示される内容は放送によって異なります。

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、録画したい番組を検索します。(➜28) **[決定] を押す**
録画モード	録画モードを変更します。(➜38) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
放送切換	別の放送の番組表(Gガイド)を表示します。(お好み番組表を含む) **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** **お好み番組表について** ●「お好みチャンネル」(➜15)で登録されている放送局が表示されます。 ●お好み番組表に切り換えた場合、切り換える前に視聴していた放送局が現在視聴中の番組になります。そのため、登録していない放送局が番組表に表示されるときがあります。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1 画面に表示する日数を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す**
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	(デジタル放送の番組表のみ) 番組表(Gガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]で設定し、[決定] を押す** ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo 1～36までのチャンネルを表示 ●番組表(Gガイド)の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表(Gガイド)上で明るく表示します。 ① [▲][▼] でメインジャンルを選び、[決定] を押す ② [▲][▼] でサブジャンルを選び、[決定] を押す **ジャンル別の表示をやめるには** ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「全ジャンル表示」を選び、[決定] を押す ●別の放送の番組表(Gガイド)を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	(デジタル放送の番組表のみ) 「制限項目設定」(➜121)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	(デジタル放送の番組表のみ) 選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する 地上デジタル BS デジタル CS デジタル

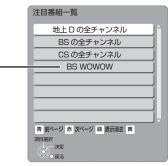
放送局がおすすめする番組を一覧表示することができます。

番組表(G ガイド)表示中に

1 [緑] を押す

2 [▲][▼] で放送を選び、[決定] を押す

●地上 D、BS、CS の全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。

ネットワークに接続し、**放送設定「通信によるGガイド受信」(➜準備編 31)**を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。(2009年9月現在、注目番組の情報を取得できる放送局は WOWOW のみです)

3 [ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局(2009年9月現在、WOWOWのみ)を選んだときのみ]
[▲][▼] でカテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[赤] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

カテゴリー

4 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

他のカテゴリーを表示するには
① [青] を押す
② [▲][▼] でカテゴリーを選び、[決定] を押す

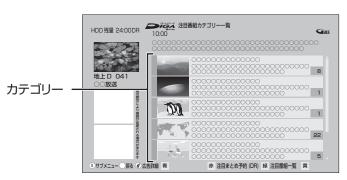
放送を変更するには
[緑] を押す(➜ 手順 2 へ)

録画モードを変更するには
① [サブ メニュー] を押す
② [◀][▶] で録画モードを選び、[決定] を押す

カテゴリー

5 [◀][▶] で「番組予約へ」を選び、[決定] を押す

(➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 5)
(➜33「録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)」手順 3)

放送中の番組を視聴するには
[◀][▶] で「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

予約録画する(つづき)

番組を検索して予約録画する

番組表(G ガイド)表示中に

1 サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「番組表の検索」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼]で検索方法を選び、(決定)を押す
(➜下記へ)

複数の検索条件で検索 ― フリーワード検索
「ドラマ」「スポーツ」などのジャンルで検索 ― ジャンル検索
「キーワード」で検索 ― キーワード検索
出演者から検索 ― 人名検索

複数の検索条件から登録・検索する
フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。
●登録できる検索条件は5件までです。
●英数で文字入力した場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

検索条件を登録する

4 (緑)を押す

5 [▲][▼]で検索方法を選び、(決定)を押す

●「ジャンル」「出演者」は、表示される一覧から検索する条件を選んでください。
●「フリーワード」は、文字を入力し(➜117)、登録してください。
上記手順 4 ～ 5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録した検索条件を変更するには
(フリーワードで登録した検索条件のみ可能)
① [▲][▼]で検索条件を選び、[決定]を押す
② [▲][▼]で「フリーワード編集」を選び、[決定]を押す
③ 文字を入力する(➜117)

登録した検索条件を削除するには
① [▲][▼]で検索条件を選び、[黄]を押す
② [◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

検索する

4 検索する放送種別を変更する場合:

① **(赤)を押す**

② **[▲][▼][◀][▶]で検索したい放送を「入」に設定し、(決定)を押す**

5 (青)を押す

別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択してください。

6 [▲][▼] で番組を選び、(決定)を押す

7 [◀][▶] で「番組予約へ」を選び、(決定)を押す
(➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 5)

「ジャンル」などから検索する
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

4 [▲][▼]で検索条件を選び、(決定)を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには
[アナログ] [デジタル] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に、[青] を押して日付を選択してください。

5 [▲][▼] で番組を選び、(決定)を押す

6 [◀][▶] で「番組予約へ」を選び、(決定)を押す
(➜22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 5)

放送中の番組を視聴するには
[◀][▶] で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

お知らせ

●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
●ネットワークに接続し、**放送設定**「通信による G ガイド受信」(➜**準備編 31**)を「オン」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➔22 手順 4)表示中に

1 [◀][▶]で「関連情報」を選び、決定を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定を押す

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには
[アナログ][デジタル][BS][CS]を押す

別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に、[青]を押して日付を選択してください。

例)

3 [▲][▼]で番組を選び、決定を押す

4 [◀][▶]で「番組予約へ」を選び、決定を押す

(➔22「番組表(G ガイド)を使って HDD に予約録画する」手順 5)

放送中の番組を視聴するには
[◀][▶]で「今すぐ見る」を選び、[決定]を押す

新番組を自動で予約録画する 地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16番組まで自動で予約することができます。

●番組表(Gガイド)のデータ受信時に新番組を探して自動で予約します。
●録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。

設定方法

1 スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「新番組おまかせ録画」を選び、決定を押す

4 [▲][▼]で設定したい項目を選ぶ

5 [◀][▶]で「入」または「切」を選ぶ

新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ (地上D)	入	切
夜ドラマ (BS)	入	切
アニメ (地上D)	入	切
アニメ (BS)	入	切

"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
●録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
●HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
項目選択 設定変更 戻る

●「夜ドラマ」は 18 時〜 23 時 59 分の間に開始時刻が含まれる新番組のドラマが対象になります。
●契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。
●「入」に設定した場合、HDDの残量にお気をつけください。

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

予約内容を修正するには(➔34)
「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。
(すでに新番組以外の予約が 128 番組ある場合は、修正できません)

新番組 自動で予約された番組
不要な場合は、[黄] を押してください。
●番組表(Gガイド)上では、新 が表示されています。

予約が重なったときは?

●**通常の番組予約と重なったときは?**
新番組の予約は行われません。
●**新番組同士が重なったときは?**
以下の優先順位で予約されます。
① 開始時刻の早い番組を優先
② 新番組の開始時刻が同じときは、
まず地上デジタルと BSデジタルでは、地上デジタルの番組を優先
さらに同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

お知らせ

●新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
●予約を取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。

予約録画する(つづき)

番組表(Gガイド)予約の変更をする

22 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

録画先などの予約内容の変更 詳細設定

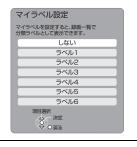
1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する(➜ 下記へ)

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定]を押してください。

2 設定が終了したら、

[▲][▼]で「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

項目	内容
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。(DVD の場合は、「BD」を選んでください)
録画モード	録画モード(➜38)を設定します。
毎週予約設定	① **[◀][▶]で「毎週予約」を設定する** ●押すごとに、以下のように変わります。 しない ⟷ 毎週同じ曜日 ⟷ 毎週(月)～(金) ⟷ 毎週(月)～(土) ⟷ 毎日 ⟷ しない 録画する曜日によって表示内容は変わります。 **自動更新を設定するには** [◀] [▶]で「自動更新」を「入」にする 「入」を選ぶと、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 **曜日ごとに設定するには** [◀] [▶]でそれぞれの曜日を「する」または「しない」にする 設定を変更すると、「毎週予約」の項目が「曜日指定」になります。 ② **[決定] を押す**
持ち出し番組の設定 HDD	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜106) ① **[▲][▼]で「持ち出し番組の作成」を選び、[◀][▶]で「する」を選ぶ** ② **[▲][▼]で「かんたん転送の登録」を選び、[◀][▶]で「する」または「しない」を選ぶ** ●「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜108)で自動的にSDカードへ転送することができます。 ③ **[決定] を押す** ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜107)
イベントリレー (地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 別に予約した番組と放送時間が重なった場合、一方の番組が録画されないときがあります。 例) 時間 8:00～12:00 A局 野球中継(放送終了時間まで)、12:00～13:00 B局 野球中継(延長部分) 引き続き録画 ●毎日･毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が"BD"の場合、延長部分はHDDに代替録画されます。

録画先などの予約内容の変更（つづき） 詳細設定	信号設定 （地上デジタル） （BS デジタル） （CS デジタル）	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する** ② **[戻る]を押す** ●「DR」以外の録画モードで録画する場合、音声や字幕などは設定された内容で録画され、再生時に切り換えできません。 ●選べる設定項目は、予約時点で放送局から送られる番組情報に基づいています。そのため、実際に放送された番組の内容が予約時点での番組情報と異なり、予約で設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。 ●有料番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CAS カードを挿入してください。
	マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定しておくと、録画一覧(➜45)で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(➜60) **[▲][▼]でラベルを選び、[決定]を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 **(➜46「分類ラベル設定」)**
	時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 **➜33「時間指定予約」へ** ●番組追従(➜36)は行えません。 ●「信号設定」は反映されません。
予約番組が重なっているとき (22 ページ手順 5 などのあと)	予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。 予約重複確認 予約が重複しています。 予約重複確認画面を表示しますか？ はい　いいえ 項目選択　決定　戻る **☞ 重複している予約を確認するには** **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●「予約重複確認」画面が表示されます。 例） 「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。 **☞ 予約の重複を修正するには** ① **[▲][▼]で番組を選び、[決定]を押す** ② **[◀][▶]で修正方法を選び、[決定]を押す** **修正**　：予約時間などを修正します。 **(「番組予約」の場合は➜30「詳細設定」へ)** **(「時間指定予約」の場合は➜33「時間指定予約」へ)** **取り消し**　：予約を取り消します。 **予約実行切**：予約の実行をやめます。	

予約録画する(つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

お知らせ

●本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
(➜準備編 38「時刻合わせ」)

● -RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) には G コード予約できません。

前の画面に戻るには

戻るを押す

画面を消すには

戻るを数回押す

予約録画を止めるには(➜34)

予約の確認や取り消し、修正をするには(➜34)

予約番組が重なっているときは(➜31)

予約一覧画面の表示マークについては(➜150)

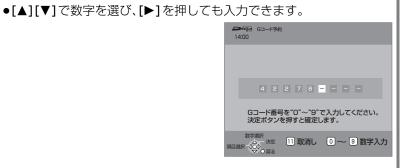
暗証番号に関する表示が出たとき(時間指定予約)
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号の入力が必要です。 ●番組の視聴制限(視聴可能年齢)(➜121)を登録していない場合は、「暗証番号登録」画面が表示されます。暗証番号を登録すると「無制限」に設定されます。(「無制限」の場合、以降「暗証番号登録」画面は表示されなくなります) ●視聴可能年齢(➜121)に制限をかけている場合は、設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード®入力を使って予約録画する 地上アナログ

テレビ番組欄に記載されている数字を入力するだけで予約できます。

1 Gコード(ふた内部)を押す

2 1～10(ふた内部)でGコード番号を入力する

●[▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

Gコード番号を間違えたときは

●[◀]で戻り、再度入力する

●[11/ 取消し]を押すと、入力した番号を取り消します。

3 決定を押す

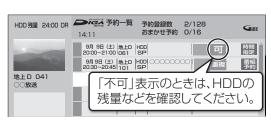
●予約内容を確認してください。

予約内容を変更するには(➜33「時間指定予約」)

「放送種別/チャンネル」の項目が「地上A G――」になっているときは

ガイドチャンネルが正しく設定されていません。「放送種別 / チャンネル」が選ばれている状態で、[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。**(➜準備編 35)**

●予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

録画時間を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 緑 **を押す**

3 予約内容を設定する

（➜下記「時間指定予約」へ）

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力 L1」を選んでください。

時間指定予約	○○放送
録画日	9月 9日(土)
毎週予約設定	しない
放送種別／チャンネル	地上D 061
開始時刻　9月 9日	20:00
終了時刻　――	――
録画先	HDD
録画モード	SP
持ち出し番組の設定	
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	

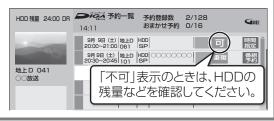
項目選択 設定変更 戻る

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

予約内容の変更

時間指定予約

1 [▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する

（➜ 下記へ）

- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」を選んだあと、[決定]を押してください。

2 設定が終了したら、
上記手順4へ

時間指定予約	○○放送
録画日	9月10日(日)
毎週予約設定	しない
放送種別／チャンネル	地上D 061
開始時刻　9月10日	17:00
終了時刻　9月10日	17:30
録画先	HDD
録画モード	SP
持ち出し番組の設定	
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	

項目選択 決定 戻る

項目	内容
録画日	日付を指定できます。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。(➜30「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると15分単位で変更できます。 ●[決定]を押すと、[1]～[10]でも設定できます。
終了時刻	
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。 ●DVD の場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード(➜38)を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。(➜30)
番組名入力	●文字入力について(➜116) ●入力しなくても、番組表(Gガイド)にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(➜31)

予約録画する（つづき）

録画中の予約録画を止める

1 [■停止] を押す

2 [◀] [▶] で「はい」を選び、(決定) を押す

例）

予約録画停止
録画中 [地上D 041]
現在、ご覧のチャンネルを予約録画中です。
この予約録画を停止してもよろしいですか?
はい　いいえ
決定
戻る

予約一覧画面から予約録画を止めるには
[➜下記「予約の実行を止める（一時解除）」]

お知らせ

- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」マークが表示されます。
  毎日･毎週予約の場合は、次回からの予約を新たに追加登録します。

予約内容の確認、取り消し、修正など

(予約確認) を押す

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
- 実行される予約番組がない場合は、本体表示窓の“(時計)”が消灯します。

予約内容の変更を行う場合は、[▲][▼]で予約番組を選び、以下に進んでください。

項目	操作
予約の取り消し	① [黄] を押す ② [◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押す
予約の実行を止める（一時解除）	① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「予約実行切」を選び、[決定] を押す 例）サブメニュー：視聴制限一時解除／予約取り消し／予約実行切／Gコード予約へ／履歴一覧表示（項目選択 決定 戻る） ●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。 ●もう一度[サブ メニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。 ●録画中の番組を選んで操作を行うと、録画が停止します。予約時間内であれば、もう一度[サブ メニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、録画が再開されます。（ただし、別番組として録画されます）
視聴制限の一時解除	「制限項目設定」(➜121)の暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。 ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す ③ [1] ～ [10] で暗証番号を入力する
履歴一覧の表示	① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「履歴一覧表示」を選び、[決定] を押す ●不要な履歴がある場合は、履歴を選択して削除することができます。
履歴の削除	「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。 ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼] で「履歴削除」を選び、[決定] を押す ③ [◀] [▶] で「はい」を選び、[決定] を押す ●番組の履歴は「履歴一覧」からも確認できます。 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。
予約内容の修正	① [決定] を押す ② [◀][▶] で「修正」を選び、[決定] を押す （「番組予約」の場合は➜30「詳細設定」へ） （「時間指定予約」の場合は➜33「時間指定予約」へ） ●時間指定予約の場合、予約録画実行中の番組でも、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。
毎日･毎週予約の予約状況を確認	予約の重複などを確認できます。 ① [決定] を押す ② [◀][▶] で「毎週一覧」を選び、[決定] を押す ●予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。 予約の修正をしてください。(➜31)

前の画面に戻るには

(戻る) を押す

画面を消すには

(戻る) を数回押す

番組表(G ガイド)での予約の取り消し / 修正

予約取り消し	**[▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、赤を押す** ●「予」が消えます。 ●予約録画実行中の番組は、取り消しできません。
予約修正	**1 [▲][▼][◀][▶]で「予」が表示されている番組を選び、決定を押す** **2 [◀][▶]で「予約修正」を選び、決定を押す** ☞「番組予約」の場合は ➜30「詳細設定」 ☞「時間指定予約」の場合は ➜33「時間指定予約」

予約録画する(つづき)

予約録画の便利な機能

- 本機では番組を、128番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜下記)は1番組として数えます]
  [「新番組おまかせ録画」(➜29)は、通常の番組予約とは別に16番組まで自動で予約されます]
- ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜34)

まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面(➜45)でまとめて表示されるため、番組を探しやすくなります。
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

前回の番組を消去して録画するには(自動更新) HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

番組追従機能

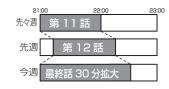
- 番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます

野球中継などの番組延長に対応
- デジタル放送のみ

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。
(3時間までの変更に対応)

- 「イベントリレー」(➜30) を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。(番組は分割されます)
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

毎日･毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

- 次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜33)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

(録画先を“BD”にして予約したとき)
ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合(➜143)は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- 代替録画した番組は、録画一覧画面上で「 」が表示されます。

予約録画に関する質問

Q (質問)	A (回答)
予約録画待機中に録画や再生はできる？	できます。 ただし、以下の場合は、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。 ●録画中：予約録画の開始時刻になったとき ●ディスク再生中：ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき ●AVCHD のディスク再生中：DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき ●BDビデオ再生中：DRモード以外の予約録画の開始時刻になったときまたは**初期設定**「BD-Liveインターネット接続」**(➜123)**が「有効」または「有効(制限付き)」時に予約録画の開始時刻になったとき ●VHS 再生中：アナログ放送で予約した番組の予約録画時刻になったとき
電源を入れたまま予約時間になった場合は？	電源の切/入にかかわらず、予約録画は始まります。 終了後も電源は入ったままになりますが、予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなる？	●前の予約の終わりの約１分が録画されません。 予約1 / 録画される / 予約2 / 録画される / 予約1の最後約1分が録画されない 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約(「BD」)の始めも、約１分が録画されません。 予約1 / 録画される / 予約2 / 録画される / 予約1の最後約1分が録画されない / 予約2の始め約1分が録画されない ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。
「新番組おまかせ録画」の予約を取り消すとどうなる？	取り消した新番組が、再び自動で予約されることはありません。ただし、「新番組おまかせ録画の設定」をいったん「切」にして再び「入」にした場合に、再び予約されることがあります。
予約時刻が重なっている番組はどうなる？	予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。 予約一覧で「重複」が表示

予約の重複について

開始時刻の早い１番組のみ録画されます。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

録画モードについて

録画モード	DR	HG•HX•HE•HL•HM	XP•SP•LP•EP	FR
特徴は？	**ハイビジョンモード** 放送そのままの画質で記録	**ハイビジョン長時間モード** 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにも ハイビジョン画質で記録	**標準画質モード** 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	**自動調整モード** ディスクの残量に合わせて XP ～ EP の中で画質を自動調整して記録
記録できる放送／入力は？	地上・BS・CS デジタル放送		地上・BS・CS デジタル放送 地上 アナログ放送 外部入力	
記録できる画質は？	放送画質 放送そのままの ハイビジョン画質※2	ハイビジョン画質 放送の画質を変換した ハイビジョン画質※2	標準画質	
記録できるディスクは？	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW	
画質と記録時間は？	高画質　長時間		高画質　長時間	—
サラウンドの番組の音声は？	放送そのままの サラウンド音声	放送そのままの サラウンド音声	ステレオ音声（ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声 ➜42）が含まれている番組は？ （二重音声が含まれている番組については ➜42）	複数の音声を すべて記録	音声は 1 つだけ記録※3		
複数の映像が含まれている番組は？	複数の映像を すべて記録	映像は 1 つだけ記録※3		
字幕情報が含まれている番組は？	再生時、字幕表示の 入／切ができる	再生時、字幕表示の入／切はできない※3		

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード
※ 2　デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。その場合、ハイビジョン画質の録画モードを選んでも、標準画質のまま録画されます。ただし、ダビング画面ではハイビジョン画質の番組と同じく、HD が表示されます。
※ 3　記録したい映像や音声、字幕表示の入／切などの内容を選びたい場合：
- ●**録画時**：「信号切換」（➜**17**）で選ぶ
- ●**予約録画時**：「信号設定」（➜**31**）で選ぶ
- ●**ダビング時**：**再生設定**「信号切換」（➜**52**）で選んだあと、「再生中番組の保存」（➜**74**）を行う

画質と記録時間について	スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（例：HE、HL、HM や EP）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や HG、XP など高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。

録画モードと記録時間の目安

記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）
- HDD：1000（持ち出し番組を含む）
  （長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)：99

録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD (320 GB)	BD-RE、BD-R	
					1層(25 GB)	**片面2層**(50 GB)
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 29 時間	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約58時間	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 40時間	約 3 時間	約 6 時間
ハイビジョン画質	HG			約 52 時間	約 4 時間	約 8 時間
ハイビジョン画質	HX			約 80 時間	約 6 時間	約 12 時間
ハイビジョン画質	HE			約 120 時間	約 9 時間	約 18 時間
ハイビジョン画質	HL			約 160 時間	約 12 時間	約 24時間
ハイビジョン画質	HM			約 232 時間	約 17 時間 20 分	約 35 時間
標準画質	XP			約 71時間	約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分
標準画質	SP			約 142時間	約 10 時間 30 分	約 21時間
標準画質	LP			約284時間	約 21時間	約 42時間
標準画質	EP			約566時間 （約426時間）	約42 時間 （約31時間 30 分）	約84 時間 （約63 時間）

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (片面2層) (8.5 GB)	DVD-RW (4.7 GB)
		片面(4.7 GB)	**両面**(9.4 GB)			
ハイビジョン画質	HG	約 42 分	約 1 時間 24 分	約 42 分	約 1 時間 20 分	—
ハイビジョン画質	HX	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分	約 2 時間	—
ハイビジョン画質	HE	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分	約 1 時間 40 分	約 3 時間	—
ハイビジョン画質	HL	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約4時間 10 分	—
ハイビジョン画質	HM	約 3 時間 15 分	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分	約 6 時間	—
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
標準画質	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
標準画質	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
標準画質	EP	約8時間 （約6時間）	約16時間 （約12時間）	約8時間 （約6時間）	約14時間20分 （約10時間45分）	約8時間 （約6時間）

- HDD 持ち出し番組を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- HDD 写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- RAM 両面ディスクの場合、連続記録・再生はできません。
- EPモードは**初期設定**「EP時の記録時間」(**➜123**)の設定で記録時間は異なります。[()内の時間はEP(6 時間)のとき]
  - ・「6時間」の方が高音質です。
  - ・RAM(VR) EP(8時間)モードで記録した場合、DVD-RAM再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6時間)モードで記録してください。

上記の表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DR モード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL では、特にその差が著しくなります）残量に余裕がある状態で記録してください。またHG、HX、HE、HL、HMモードの場合、番組の内容によっては DRモードで録画するよりも使用容量が大きくなることがあります。
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17 Mbps、BSデジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。

記録の制限について

ワイド放送など16:9映像の記録	**以下の記録をした場合、初期設定「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜123)の設定に従って記録されます。**※ ●**初期設定**「高速ダビング用録画」(➜123)が「入」のときに - アナログ放送や外部入力から録画 - ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)からHDDにダビング - VHSからHDDにダビングする ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) へ記録するとき ※ VHSからのダビングでは、「オート」の場合、4：3で記録されます。
デジタル放送の4:3映像の記録	「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」モードで記録すると、左右に黒帯のついた16:9映像として記録されます。
標準画質でのデジタル放送の記録	放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、容量が大きくなる場合があります。
音声多重放送の記録	設定やディスクによって、記録できる音声は異なります。(➜42)
ハイビジョン画質やサラウンド音声の記録	録画モードによって、記録できる内容は異なります。(➜38)
CATVなどからの録画とダビング	外部入力(L1)で接続したCATVなどから本機に録画する場合： ●コピー制限のある番組は、著作権保護の規定により BD-RE BD-R には直接録画やダビングはできません。

デジタル放送の録画とダビング

● 10 ～ 1 表示のある番組

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。(2009 年 6 月現在)

HDDに録画した番組のコピー制限が「ダビング10」の場合は 10 を、「1回だけ録画可能」の場合は 1 を表示します。（ディスクに録画した場合は × が表示され、HDDに番組のダビングはできません）

ブルーレイディスクの場合：

市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD の場合：

記録するディスクは、著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに

CPRM対応 の記載のある

ディスクを準備してください。

（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。

1 の番組をダビングまたは転送すると、HDD の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組･持ち出し番組ともにHDDから消去されます。
- VHS へのダビング時は消去されません。

- プロテクト設定(➜58)されている 1 の番組はダビングできません。
- ディスクからHDDへの移動はできません。
- 当社製のブルーレイディスクや CPRM対応の DVDのご使用をおすすめします。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

多重音声の種類

現在、主に放送されている多重音声には以下の種類があります。

- デジタル放送のマルチ音声：複数の音声が含まれる
- デジタル放送の二重音声
- アナログ放送の二重音声

（デジタル放送の二重音声・アナログ放送の二重音声）1つの音声の中に主音声と副音声が含まれる

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表（Gガイド）の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声
主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]**を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声	アナログ放送の二重音声
両方の音声を記録するには （こんにちは / Hello）	HDD ブルーレイディスク	DRモードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます	**「高速ダビング用録画」（➜123）**を「切」にして記録する
	DVD	両方の音声を記録することはできません。 ●記録する音声を選ぶには**（➜ 下記）**	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) を使う	RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使う ●予約時は、**「高速ダビング用録画」（➜123）**を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録するには （こんにちは） ●記録する音声を選ぶには**（➜ 下記）**	HDD ブルーレイディスク	HG、HX、HE、HL、HM、XP、SP、LP、EP、FRモードを選ぶ	― （両方の音声を記録します）	**「高速ダビング用録画」（➜123）**を「入」にして記録する
	DVD	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) を使う	― （両方の音声を記録します）	RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を使う ●予約時は、**「高速ダビング用録画」（➜123）**を「入」にしてください。 -R(V) -R DL(V) -RW(V) を使う

		デジタル放送のマルチ音声	アナログ放送の二重音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」（**➜17**）の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」（**➜31**）の「音声」	「二重放送音声記録」（**➜125**） ●**外部入力から二重音声を録画する場合** ・外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ・録画前に、「外部入力の音声」（**➜125**）で「二重音声」を選ぶ ●**VHS からダビングする場合** 設定どおりに正しく記録されない場合があります。 ・ダビング前に VHS 側で **[音声切換]** を押して、記録したい音声に切り換えておく
	ダビング時	**再生設定**「信号切換」（**➜52**）の「音声」で音声を選び、「再生中番組の保存」（**➜74**）でダビング	

再生する(HDD・ディスク)

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクを入れる。

1 HDD または BD/DVD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVDを再生するときは「BD」を選んでください。

2 ▶再生 を押す

HDD	:最後に停止した位置から再生
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW	:最初に記録された番組から再生
BD-V DVD-V	:ディスクが指定した位置から再生

- ただし、続き再生メモリー機能(➜48「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。
（BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります）
- 最後に停止した番組が、アクトビラからダウンロードした番組の場合、[▶ 再生] を押して再生できません。「録画一覧」から再生してください。

録画した番組を再生する

記録可能なディスクを入れると、下記の画面が表示されます。

例）RAM

[▲][▼]で「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、右記の手順3に進むことができます。

お知らせ

- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクでハイビジョン画質の番組を再生するには、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「切」にしてください。(➜123)

☞ **録画一覧について(➜45)**

1 HDD または BD/DVD を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVDを再生するときは「BD」を選んでください。

2 録画一覧 を押す

3 番組を選び、決定 を押す

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

お知らせ

- BD-V 市販の映画などが記録されたBDビデオは、以下の場合に再生することはできません。
  - ・DR モード以外で録画中
（再生中にDRモード以外の予約録画が始まると再生を終了します）
  - ・**初期設定**「BD-Liveインターネット接続」(➜123)が「有効」または「有効(制限付き)」時に録画中
（再生中に予約録画が始まると再生を終了します）

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

項目を選び、決定 を押す

☞ **メニュー画面を表示させるには**

BD-V 再生中: [サブ メニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧] を押す
DVD-V [録画一覧] を押す
([サブ メニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

☞ **ポップアップメニューを表示させるには**

BD-V 再生中: [録画一覧] を押す

再生する(HDD・ディスク)(つづき)

撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) を再生する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影し、ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクや SD カードを再生することができます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクまたはSDカードを入れる。

ディスクまたはSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
- 右記の手順 3に進みます。

SD カードを入れた場合:
① 「撮影ビデオ(AVCHD)」を選び、**[決定]** を押す
② 「撮影ビデオを見る」を選び、**[決定]** を押す
- 右記の手順 4に進みます。

1 スタート を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SDカード」を選び、決定を押す

3 「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定を押す

- 再生するディスクや SD カードのトップメニューが、
  - ・作成されている場合　　:トップメニュー画面を表示
  - ・作成されていない場合　:撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示※

  ※撮影した機器によっては、撮影ビデオ (AVCHD) 一覧画面を表示できない場合があります。

4 タイトルを選び、決定を押す

①選び
②決定する

トップメニューや撮影ビデオ(AVCHD)一覧が表示されないときは
「ダイレクト再生」(➜49)を使って再生してください。

お知らせ
- ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「入」にしてください。**(➜123)**
- 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- 録画中に再生する場合、DR モードで録画中のみ再生できます。
- 2倍速対応以下の DVDに記録された高画質(転送レート約 18Mbps 以上)の動画は、正しく再生できません。

映像が縦に引き伸ばされているとき(4:3映像で記録されているとき)
初期設定「TVアスペクト」**(➜126)**を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

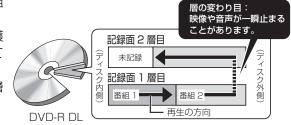
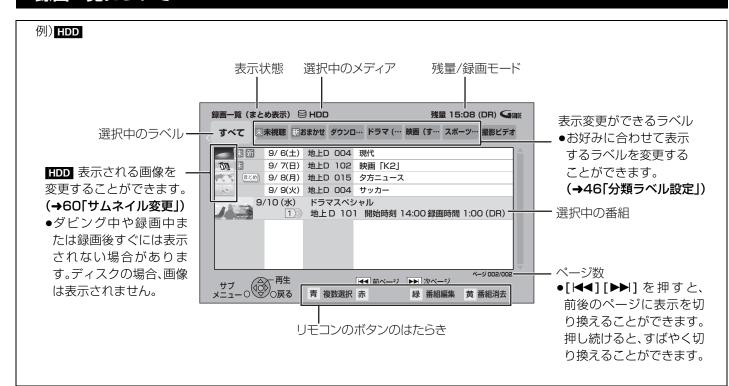
暗証番号の入力画面が出たとき
設定した暗証番号を入力し、**[決定]** を押してください。

お知らせ
- 持ち出し番組は、本機で再生することはできません。
- ディスクによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。
- 放送の内容によっては、DRモードで録画した番組の切り換わり部分や、番組の編集した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは **[■停止]** を押して停止させてください。
- -R DL 記録面が片面に 2層あります。1層目に収まらなかった番組は、2つの層にまたがって記録されます。**(➜右図「番組 2」)**
  通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

録画一覧について

例) HDD

録画した番組をラベルから探す

HDD

録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。また、お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。

[◀][▶]でラベルを選ぶ

ラベル	内容
すべて	すべての番組
未 未視聴	録画してまだ見ていない番組（未 が表示された番組） ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜29)で録画された番組（新 が表示された番組） ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
ダウンロード	アクトビラからダウンロードした番組(➜100)
映画、ドラマ、スポーツなどの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
マイラベル	「マイラベル設定」(➜31、60)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルはあらかじめ6個準備されています。マイラベルを新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。**(➜46「分類ラベル設定」)**
撮影ビデオ	ディスクやSDカードから取り込まれたハイビジョン動画（AVCHD）(➜86)

録画一覧について (つづき)

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

録画一覧画面上で

1 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、サブメニュー S を押す

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜45)を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す(➜ 下記へ)

録画一覧上での便利な機能

機能		説明
先頭から再生	HDD	続き再生メモリー機能(➜48)が働いているときに、番組を前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
つづきから再生	HDD	
番組消去		**消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。** 消去してよいか確認してから行ってください。[持ち出し番組も消去されます(アクトビラからダウンロードした番組を除く)] **[◀][▶]で「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認		番組名、録画日、チャンネル、ジャンル情報、視聴期限などの確認ができます。 **画面を消すには** [決定] を押す
分類ラベル設定 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません	HDD	録画一覧に表示するラベルを変更することができます。 **[▲][▼]で表示させたいラベルを選び、[決定]を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」を選択すると、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ①[▲][▼]で設定するマイラベルを選び、[決定]を押す ②[▲][▼] で「名称変更」を選び、[決定]を押す (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください) ③ラベル名を入力する(➜116)
全番組表示へ まとめ表示へ	HDD	全番組表示とまとめ表示を切り換えます。 **まとめ表示** 毎日・毎週予約などで録画した番組をまとめて表示 **全番組表示** すべての番組を一覧表示 まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

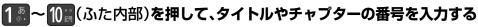
新 マークの番組の再生	「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止した場合、予約画面が表示されます。 下記の操作を行うと、新 の表示は消えます。 新番組の次回予約 新 きら・きら・りん 番組表から次回の番組を予約しますか？ 次回以降の番組は、この番組と1つのまとめ番組になります。 予約する　キャンセル 決定　戻る	
	引き続き予約する	**1 [◀][▶] で「予約する」を選び、決定 を押す** ●番組表（Gガイド）が表示され、次回放送分の番組が選ばれた状態になります。（番組によっては正しく選ばれない場合がありますので、予約したい番組が選ばれているか確認してください） **2 予約の操作を行う**（➜22 手順 2 へ） ●手順5の番組予約画面では、「毎週予約する」と「毎日予約する」の項目が表示されます。
まとめ 番組の再生 HDD	番組を選んで再生する	**1 [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、決定 を押す** **2 [▲][▼] で再生する番組を選び、決定 を押す** ●選んだ番組を再生します。
	番組を連続して再生する（まとめ再生）	**まとめ表示中に [▲][▼][◀][▶] で まとめ 番組を選び、再生 を押す** ● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。 ● まとめ 番組にアクトビラからダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。
まとめ 番組の番組名について HDD	「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。 まとめ表示　まとめ番組一覧 **「まとめ表示」での番組名を変更するには** 変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。**(➜58)** ●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。 ●番組名を変更しても まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。	
まとめ 番組の編集 HDD ●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます	録画一覧（まとめ表示）またはまとめ番組一覧上で **1 [▲][▼] で番組を選び、青 を押す** ● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。 **2 すべて選んだあと、サブメニュー S を押す** **3 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す**（➜ 下記へ）	
	まとめ番組の作成	選んだ番組を、1つにまとめます。 **[◀][▶] で「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
	まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **[◀][▶] で「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
	まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。（まとめ番組一覧表示のとき） **[◀][▶] で「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**
毎日・毎週予約していた連続ドラマが終了したとき	お知らせ画面が表示されます。 このまま予約を続けると、次の新しい番組も同じ まとめ 番組に入ります。 予約一覧画面で「シリーズ終了」マークがある予約を取り消すことをおすすめします。 予約番組のシリーズ終了のお知らせ 毎週予約で録画された番組名に 終 がありました。次回以降の番組名が変わり番組追従できないことがあります。新番組の予約に登録し直すことをお勧めします。 決定　戻る	

再生する(HDD・ディスク)(つづき)

再生中のいろいろな操作

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD

停止	[■停止]を押す	**続き再生メモリー機能** 止めた位置を一時的に記憶します。 [▶ **再生**]を押すと、止めた位置から再生します。 ●HDD:番組ごとに止めた位置を記憶しますので、前回見た続きから見ることができます。 ●ディスク:前回止めた位置のみを記憶します。 ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。 ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。 ●電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
一時停止(静止画)	[II一時停止]を押す	●もう一度押す、または[▶ **再生**]を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し(サーチ)	[巻戻し ◀◀ サーチ/スロー]または[早送り ▶▶ スロー/サーチ]を押す	押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階) ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ●早送り1速時のみ音声が出ます。 ●ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。 ●BD-V 早送り・早戻し中は、主映像のみ再生します。
スキップ	再生中または一時停止中に [スキップ I◀◀ 頭出し]または[スキップ ▶▶I 頭出し]を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(➜62)がある場合は、その場面に飛びます。 ●HDD 番組を飛び越しません。ただし、まとめ再生中(➜47)は、[まとめ]番組内の番組を飛び越します。
30秒先へ飛び越す	[30秒送り]を押す	押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。
10秒前へ戻す	[10秒戻し]を押す	押すごとに、約10秒前に戻して再生します。 ●BD-V DVD-V ディスクによっては正しく働かない場合があります。

	操作	説明
早見再生（1.3倍速）	[再生]**を約1秒以上押す**	通常よりも速い速度で再生します。 ●もう一度[▶ **再生**]を押すと、通常再生に戻ります。 ● -RW できません。（ファイナライズしたあとでも、できません） ●DR、HG、HX、HE、HL、HMモードの番組や BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) AVCHD の場合、映像がなめらかに再生されないときがあります。 ● BD-V 早見再生中は、主映像のみ再生します。
スロー再生	**一時停止中に** [巻戻し サーチ/スロー]**または**[早送り スロー/サーチ]**を押す**	押すごとに速度が速くなります。（5段階） ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD では、送り方向のみ働きます。 ●スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。（ BD-V DVD-V AVCHD 一時停止しません） ● BD-V スロー再生中は、主映像のみ再生します。
コマ送り/コマ戻し	**一時停止中に** [決定]**（左または右）を押す** （[◀❚❚]または[❚❚▶]を押す）	押すごとに1コマずつ送り（戻し）ます。 ●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。 ●[▶ **再生**]で通常再生に戻ります。 ● BD-V AVCHD コマ戻しはできません。 ● BD-V コマ送り中は、主映像のみ再生します。
ダイレクト再生 BD-V DVD-V AVCHD	停止中（右の画面表示中）はタイトルを、再生中はチャプターを再生します。 **[1]～[10]（ふた内部）を押して、タイトルやチャプターの番号を入力する** DVD-V 2けた入力　例）5：[10]➜[5]、15：[1]➜[5] BD-V AVCHD 3けた入力　例）5：[10]➜[10]➜[5]、15：[10]➜[1]➜[5] ● AVCHD 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。	
時間を指定して飛び越す（タイムワープ） ● BD-V DVD-V AVCHD できません	**1 [タイムワープ]（ふた内部）を押す** **2 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼]で飛び越す時間を設定し、[決定]を押す** ●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度[**タイムワープ**]を押してください。 ●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ（押し続けると10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。	

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

再生中のいろいろな操作（つづき）

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

☞ **操作方法**(➜16)

音声の切り換え

音声切換（ふた内部）を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

音声L → 音声R → 音声LR

BD-V DVD-V AVCHD

音声情報　1日　DD Digital 2/0ch

(➜52「言語」)

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示を押す

●押すごとに切り換わります。

例）HDD

再生中の番組名　○○○○○○○○　約５秒間表示

HDD　再生 ▶　1:44.09

- ドライブ判別表示
- 動作状態など
- 番組キープ中は「番組キープ●」と表示

地上D 011 録画● — 裏で録画中のときに表示

ダビング 5% — 高速ダビングの進行状況 / 別ドライブの動作表示

現在の再生位置　総再生時間

チャプターマーク位置を表示

↓

日付と現在時刻　9/ 6(水) 10:15.45

残量の目安（例：HDD 30時間15分）と現在の録画モード　■残量 HDD 30:15 DR　BD 2:00 SP

■T6 1:12.12 XP　■T7 0:02.23 DR

HDD　再生 ▶　地上D 011 録画●　1:44.09

再生中の番組番号/経過時間/録画モード

録画中の番組番号/経過時間/録画モード

→ 画面表示なし

●撮影日時が記録されたハイビジョン動画（AVCHD）を本機で記録した場合、画面の左下に撮影日時が表示されます。（1 倍速ダビング時を除く）ただし、撮影した機器によっては表示されない場合があります。

●**残量表示について**

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DRモードでは、特にそのばらつきが大きくなります）

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

準備 ●再生可能なディスクを入れる。

1 **を押す**

2 [▲][▼]で「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「プレイリストを見る」を選び、決定を押す

4 [▲][▼][◀][▶]でプレイリストを選び、決定を押す

☞ **前の画面に戻るには**

戻るを押す

☞ **画面を消すには**

戻るを数回押す

BONUSVIEW 対応の BD ビデオや BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむには

本機は、BD ビデオの再生機能である BONUSVIEW™ (BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile) や BD-Live (BD-ROM Profile 2)に対応しています。

- BONUSVIEW™　対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。
- BD-Live対応ディスクでは、BONUSVIEW™の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
  ブロードバンド環境でのご使用をおすすめします。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

副映像のあるディスクを楽しむ

例）

- 副映像の音声を出力する場合、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜124)**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
再生設定「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜52)**

- ただし、ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

- 1 GB 以上の残量がある SDカード(SDスピードクラスの CLASS 2以上)をお使いください。
- インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする**(➜ 準備編 14、準備編 24)**
- **初期設定**「BD-Live インターネット接続」**(➜123)**を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する

1 SD カードを入れる

- SDカードのメニュー画面が表示される場合は、**[戻る]** を押して画面を消してください。
- SDカードをフォーマット**(➜113)**してお使いになることをおすすめします。(フォーマットすると記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。すべて消去してよいか確認してから行ってください)

2 ディスクを入れる

- SDカードに記録された BDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BDビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜113、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

お知らせ

- 映像を SDカードにダウンロードしながら再生する場合、通信環境によっては再生が一時的に停止することがあります。またダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。
- BD-Live対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別IDをインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

再生する(HDD・ディスク)(つづき)

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

1 再生中に
[再生設定](ふた内部)を押す
●ディスクにより設定項目は異なります。
2 [▲][▼]でメニューを選び、[▶]を押す
3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す
4 [▲][▼]で設定を変える

例) DVD-V

メニュー	設定項目	設定内容	
ディスク	音声情報	1日	LPCM 48k 16b
再生	字幕情報	入	1日
映像	アングル		1
音声			

設定を終了するには
[再生設定]を押す

ディスク独自の機能の設定(ディスク)

音声情報	1日	Digital 2/0ch
字幕情報	入	1日
アングル		1

映像情報
● AVCHD 情報の表示のみ

音声情報※
● DVD-V AVCHD 音声や言語を選びます。
(➜下記「音声属性/言語」)
● HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
音声属性表示のみ

信号切換
[決定]を押して、さらに設定します。
● HDD (DR、HG、HX、HE、HL、HMモードの番組)
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)
DRモードの番組は映像や音声などを切り換えます。それ以外の録画モードの番組は表示のみ。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕(オン/オフ)
▶ 字幕言語(日本語/英語)
● BD-V
▶ 主映像
・映像情報
・音声情報
▶ 副映像
・映像情報(入 / 切)
・音声情報(入 / 切)

字幕情報※
● BD-V DVD-V AVCHD 字幕表示の入/切や、言語を選びます。(➜下記「言語」)
● HDD (XP、SP、LP、EP、FR モードの番組のみ)
RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW
入/切のみ
(他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます)

音声チャンネル
● HDD (XP、SP、LP、EP、FR モードの番組のみ)
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル
● BD-V ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル※
● BD-V DVD-V アングルを選びます。

※ ディスクに収録されているメニュー画面(➜43)でのみ切り換えできるものもあります。
●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法の設定(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
●繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
▶ **番組**:番組全体
▶ **タイトル**:タイトル全体
▶ **チャプター**:チャプター
▶ **プレイリスト**:プレイリスト
▶ **全曲**:ディスク全体
▶ **1曲**:選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)
●順不同に再生します。
▶ 切
▶ 入

自動CM早送り
● HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)
CMを自動的に飛ばして再生します。主に地上アナログ放送で音声が下記の場合に働きます。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図のCM部分が5分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
- DRモードの番組
- 外部入力から録画した番組
- マルチ音声の番組

〈音声属性〉
LPCM/Digital/Digital+/TrueHD/
DTS-HD MSTR/DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/
MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数
k:サンプリング周波数(kHz)
b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語
独:ドイツ語	伊:イタリア語	西:スペイン語
蘭:オランダ語	中:中国語	露:ロシア語
韓:韓国語	＊:その他	

お好みの画質の設定（映像） 画質選択 ノーマル HDオプティマイザー 入 プログレッシブ Auto	**画質選択** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD 再生時の画質を選びます。 映像によっては効果が得られない場合があります。 ▶ **ノーマル** ：標準 ▶ **ソフト** ：ざらつきの少ない柔らかな画質 ▶ **ファイン** ：輪郭の強調されたくっきりした画質 ▶ **シネマ** ：映画鑑賞向け（DR モードの番組には効果がありません） ▶ **ユーザー** ：さらに画質を調整 [▶]で「詳細画質設定」を選び、[**決定**]を押す ・**コントラスト**（白黒の強弱） ・**ブライトネス**（画面全体の明るさ） ・**シャープネス**（鮮やかさ） ・**カラー**（色の濃さ） ・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭） **HDオプティマイザー** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD 動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。	**プログレッシブ** 以下の場合に、プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。 ●**初期設定**「D端子出力解像度」(**➜126**)を「D2」にして録画した番組を再生、または DVD-V を再生するとき ●**初期設定**「HDMI映像優先モード」(**➜126**)が「切」のとき ●プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。 ▶**Auto（標準）**：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換 ▶**Video** ：Autoでぶれが生じるとき
お好みの音声効果の設定（音声） 音質効果 切 シネマボイス 切	**音質効果** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V CD AVCHD **リ.マスター** （サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ） デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。またHDMI端子またはデジタル音声出力端子に接続した AV アンプなどの機器がサンプリング周波数 88.2 kHz 以上の入力に対応している場合は、復元される高音域がさらに拡張されます。 **ナイトサラウンド** 夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。 ▶ **リ.マスター強** ▶ **リ.マスター標準** ▶ **ナイトサラウンド** ▶ **切**	●音声がひずむ場合、「切」にしてください。 ●再生する内容によっては、効果がない場合があります。 ●リ . マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。 ●リ . マスターの設定は HDMI 出力やデジタル音声出力時には、**初期設定**「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(**➜124**)（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声になります） **シネマボイス** ● HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -R DL -RW DVD-V AVCHD センターチャンネルを含む３チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍に大きくしてセリフを聞き取りやすくします。

再生する(VHS)

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- カセットを入れる。

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“OFF”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。

1 [/VHS SD] を押して、「VHS」を選ぶ

2 [▶ 再生] を押す

アナログ放送録画中または
外部入力から録画中は、
再生できません。

テープ残量を確認するには
[画面表示] を 2 回押す

<table>
<tr><td rowspan="1">S-VHS/D-VHS
カセットの再生</td><td colspan="2">SQPB(S-VHS 簡易再生)機能
●S-VHS方式で録画された S-VHS カセットは再生することができますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。
●D-VHS方式でデジタル録画された D-VHS カセットは再生できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">標準モード以外で
記録された
カセットの再生</td><td colspan="2">●他の機器で記録されたカセットを再生する場合、ノイズが出るときがあります。</td></tr>
<tr><td>5倍モードで
記録された
カセットの場合</td><td>●他の機器で記録されたカセットは、再生できません。
●一時停止やスロー再生時は、画面が乱れます。
●早送り / 巻き戻し再生時は、最高速にすると映像を見ることはできません。</td></tr>
<tr><td>プログレッシブ
対応テレビでの再生</td><td colspan="2">VHSの再生時にも、プログレッシブの映像でお楽しみいただけます。(プログレッシブ➜152)
●D端子(D4まで)と接続している場合 :
・480p で出力されます。
・初期設定「D端子出力解像度」(➜126)が「D1」のときは、プログレッシブでは出力されません。
●HDMI端子と接続している場合:
・初期設定「HDMI出力解像度」の設定に従って出力されます。(➜126)</td></tr>
</table>

再生中のいろいろな操作

停止	[■停止] を押す	
一時停止	[II一時停止] を押す	●もう一度押すと、再生を再開します。 ●音声は出ません。
早送り/巻き戻し	停止中に [◀◀ 巻戻し サーチ/スロー] または [▶▶ 早送り スロー/サーチ] を押す	●テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。 ●高速で行うため、動作音が大きくなります。 ●[■停止] を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
早送り/巻き戻し再生	[◀◀ 巻戻し サーチ/スロー] または [▶▶ 早送り スロー/サーチ] を押す (または押し続ける)	押すごとに速度が切り換わります。 標準モード　　:約9倍速⟷約13倍速 3倍·5倍モード:約27倍速⟷約43倍速 ●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●押し続けたときは、指を離すと通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。 ●最高速にすると映像が乱れることがあります。 ●テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
スロー再生	[II一時停止] を約2秒以上押し続ける	●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
コマ送り	一時停止中に [II▶] を押す	押すごとに1コマずつ送ります。 ●押し続けると、連続してコマ送りします。 ●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●コマ戻しはできません。
音声の切り換え	再生中の番組の音声を切り換えます。 [音声切換] (ふた内部)を押す	ステレオの番組: ステレオ音声(音声LR)→音声L→音声R→ノーマル音声(L+R)→(ステレオ音声(音声LR)へ戻る) 二重放送: 主音声+副音声→主音声→副音声→ノーマル音声(主音声)→(主音声+副音声へ戻る) モノラルの番組: 音声L+音声R→音声L→音声R→ノーマル音声(モノラル)→(音声L+音声Rへ戻る)
頭出し	[◀◀I スキップ 頭出し] または [▶▶I スキップ 頭出し] を押す	本機でカセットにダビングすると、ダビング開始点と番組の切り換わり時に頭出し信号が記録されます。これを使って頭出しすることができます。 押した回数だけ先の(前の)番組を再生します。 VHSテープ ▶▶ 02 / 4 地上A 4 → VHSテープ 再生 ▶

お知らせ

●最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
●頭出し信号どうしの間隔が短い場合は、正しく頭出しできないことがあります。記録は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

●テープとヘッドの保護のため、早送り/巻き戻し再生·スロー再生の場合は約10分以上、一時停止の場合は約5分以上続けると、その操作を停止します。

再生する(VHS)(つづき)

再生中のいろいろな操作(つづき)

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法(→16)

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

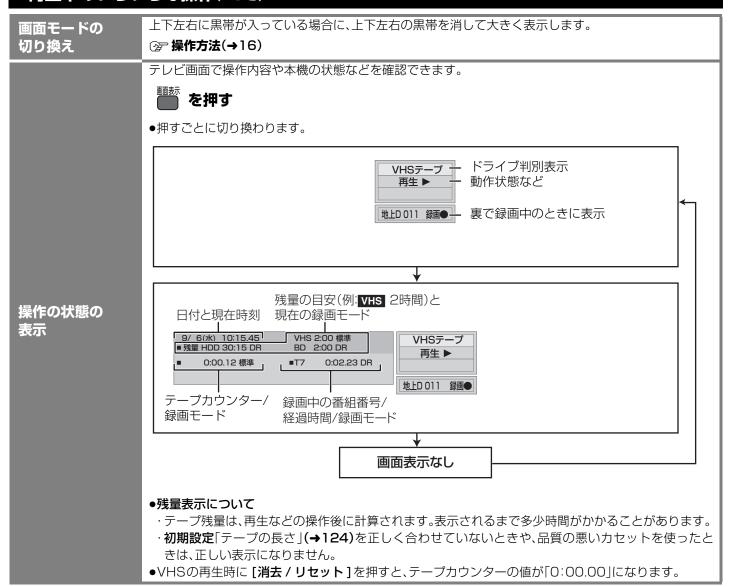
画面表示 **を押す**

●押すごとに切り換わります。

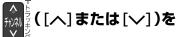
●**残量表示について**

・テープ残量は、再生などの操作後に計算されます。表示されるまで多少時間がかかることがあります。

・**初期設定**「テープの長さ」(→**124**)を正しく合わせていないときや、品質の悪いカセットを使ったときは、正しい表示になりません。

●VHSの再生時に [**消去 / リセット**] を押すと、テープカウンターの値が「0:00.00」になります。

再生画面のノイズを調整する

本機は、白い帯状のノイズが出るときなど自動的にトラッキングを調整します。
ただし、カセットによっては自動調整に時間がかかったり、調整できないことがあります。
このような場合、手動で調整してください。

トラッキングの調整	再生中に ([∧]または[∨])を **ノイズが消えるまで押し続ける**	●[チャンネル∧,∨]を同時に押すと、自動調整に戻ります。 お知らせ ●調整しすぎると、音声がノーマル音声に変わる場合があります。 ●カセットによっては、調整しきれない場合があります。 ●静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、スロー再生状態でトラッキング調整を行ってください。
静止画面が上下にゆれるとき	一時停止中に ([∧]または[∨])を **ゆれが止まるまで押し続ける**	静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。 ●[チャンネル∧,∨]を同時に押すと、元の状態に戻ります。

ビデオヘッドのクリーニング	再生中、テレビ画面に下図のような表示が出たときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。またこのとき、本体表示窓に"U11"が表示されます。 テレビ画面: ヘッドをクリーニングしてください 本体表示窓: U11 乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)(➜準備編 裏表紙)を入れ、 **1 [再生]を押して、再生する** **2 約10秒後に[■停止]を押す** ●テープカウンターは動きません。 ●このあと、記録済みのカセットを入れて再生してみてください。 ●3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

[ファイナライズしたディスクやハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクでは編集できません]

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- [HDD] または [BD/DVD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ。

1 を押す

2 番組を選び、緑 を押す

- [サブ メニュー] を押して、「番組編集」を選んでもできます。

例) HDD

複数の番組を選択するには

(「プロテクト設定 / 解除」「マイラベル設定」のみ可能)

番組を選び、[青] を押す操作を繰り返す

- ☑が表示されます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

3 項目を選び、決定 を押す(➜右記へ)

例) HDD

(➜60) 番組分割 / サムネイル変更 / マイラベル設定
(➜61) 録画モード変換
(➜107) 持ち出し番組の作成

番組名を付ける / 変更する

番組名編集

誤消去防止の設定/解除

プロテクト設定 / 解除

- -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

番組の不要な部分の消去

部分消去

- -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

2 つの番組を結合

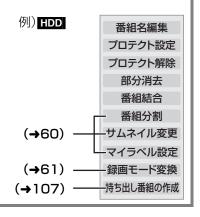
番組結合

HDD

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を押す

お知らせ

- 「録画モード変換」(➜61)が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「持ち出し番組の作成」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」「録画モード変換」はできません。「持ち出し番組の作成」(➜107)の設定を取り消すと実行できます。
- アクトビラからダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。
- 他の機器で作成したプレイリストがある場合、その元になる番組を編集すると、プレイリストは変更されます。
- **初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜125)が「入」の場合、録画一覧画面を表示中に、約10分以上本機の操作を何も行わなかったときは、録画一覧画面は消えます。
- BD-R -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) 編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集はHDD上で行い、そのあとにダビングすることをおすすめします。

☞ **文字入力については(➜116)**

● 新 の表示がある番組は変更できません。
●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

大切な記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

●プロテクト設定しても、持ち出し番組はプロテクト設定されません。

部分消去すると記録した内容が消え、元に戻すことができません。部分消去してよいか確認してから行ってください。

4 再生を押して、再生を始める

5 「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で決定を押す

6 再生を押して、再生を始める

7 「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で決定を押す

8 続けて別の不要な部分を設定する場合（20区間まで設定できます）
「次の区間設定へ」を選び、決定を押す(➜手順５へ)

●「次の区間設定へ」を選ぶと、すでに設定した区間の変更はできなくなります。

9 「消去開始」を選び、決定を押す

10 「実行」を選び、決定を押す

●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。
●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

HDDにある2つの番組を1つの番組に結合することができます。
以下の番組同士を結合することができます。
●DRモードの番組同士
●HG、HX、HE、HL、HMモードの番組同士
●XP、SP、LP、EP、FRモードの番組同士
●本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)同士
●本機に取り込んだ MPEG2 動画同士

4 [▲][▼] で結合したい番組を選び、決定を押す

5 [◀][▶] で「結合」を選び、決定を押す

お知らせ

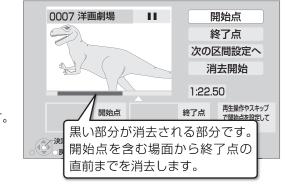
●結合した番組は以下のようになります。
・録画モード:画質の高いほうの録画モード(ただし、画質は向上しません)
・ダビングの残り可能回数:少ないほうの回数
・番組名:最初に選択した番組名
・チャプターマーク:結合した位置に作成(結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます)
・番組の結合部分:映像や音声が途切れることがあります。
・結合すると、持ち出し番組は消去されます。
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) **初期設定**「高速ダビング用録画」**(➜123)**を「入」で録画した番組でも、以下の番組と結合すると高速ダビングできなくなる場合があります。
・「切」で録画した番組との結合
・16:9 映像の番組と 4:3 映像の番組同士との結合
・録画モードが異なる番組や FR モードの番組との結合
●以下の番組は結合できません。
・アクトビラからダウンロードした番組
・2 つの番組の録画時間の合計が8時間を超える場合
・デジタル放送の番組とそれ以外の番組
・「録画モード変換」**(➜61)**が設定されている番組
・持ち出し番組の作成が終了していない番組

※編集したい場面をうまく選ぶために
① 早送りやスロー再生、タイムワープなど**(➜48、49)**を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で **[❚❚一時停止]** を押し、**[◀❚❚] [❚❚▶]** を押して場面を調整する

番組を編集する（つづき）

番組を2つに分割

番組分割

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ではできません

58 ページ手順 1 ～3で「番組分割」を選んだあとに操作します。

4 「分割」を選び、分割する場面※で 決定 を押す

分割する場面を確認するには

「プレビュー」を選び、[決定] を押す

・分割する場面の前後10秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すには

① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② 分割する場面で、[決定] を押す

5 「終了」を選び、決定 を押す

6 「分割」を選び、決定 を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、持ち出し番組は消去されます。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」で確認のうえ、実行してください。

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）の変更

サムネイル変更

HDD -R(V) -R DL(V) -RW(V)

-R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のトップメニュー画面で表示される画像を変更することができます。(➜115)

HDD 「サムネイル変更」の設定は、-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速ダビングを行ったときのみ保持されます。

58 ページ手順 1 ～3で「サムネイル変更」を選んだあとに操作します。

4 再生 を押して、再生を始める

5 「変更」を選び、お好みの場面※で 決定 を押す

場面を選び直すには

① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める

② お好みの場面で、[決定] を押す

6 「終了」を選び、決定 を押す

番組をお好みのマイラベルに分類

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

58ページ手順1～3で「マイラベル設定」を選んだあとに操作します。

4 [▲][▼] でラベルを選び、決定 を押す

5 [◀][▶] で「マイラベル設定」を選び、決定 を押す

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

●マイラベル名は変更することができます。(➜46「分類ラベル設定」)

マイラベル設定を解除するには

① 手順４で [▲][▼] で「設定解除」を選び、[決定] を押す

② [◀][▶] で「設定解除」を選び、[決定] を押す

※編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜48、49)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚一時停止] を押し、[◀❚❚] [❚❚▶] を押して場面を調整する

録画モードの変換

録画モード変換

HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、HDDの容量をおさえることができます。

(録画モードと記録時間の目安 ➜39)

- 変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
- 録画モードがEP、FRモードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)、録画モードのない番組では変換できません。

58ページ手順 1 ～3で「録画モード変換」を選んだあとに操作します。

4 [◄][►]で録画モードを選ぶ

5 [▼]で「開始方法」を選び、[◄][►]で開始方法を設定する

- **すぐに**　:「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源[切]後**　:電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

録画モード変換
選択された番組の録画モードを変換します。
録画モード ◄ HX ►
開始方法 電源〔切〕後
確定 キャンセル
戻る

6 [▲][▼][◄][►]で「確定」を選び、決定を押す

7 「すぐに」変換を開始する場合:

[◄][►]で「開始」を選び、決定を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る]を3秒以上押す

「電源[切]後」変換を開始する場合:

決定を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① 58ページ手順3で「録画モード変換」を選ぶ

② [◄][►]で「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定]を押す

・**設定変更**:設定を変更します。(➜手順4へ)

・**設定取消**:設定を取り消します。

録画モード変換が終了しているか確認するには

録画一覧画面で「○○(変換前の録画モード) → ○○(変換後の録画モード)」が表示されている場合、変換は終了していません。

お知らせ

- HDDの残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 複数の映像や音声などを含むDRモードの番組を変換する場合、変換後の映像や音声は1つだけになります。記録する映像や音声を選んで変換したい場合、以下のようにしてください。

① 番組を再生し、**再生設定**「信号切換」(**➜52**)で変換したい音声などを選ぶ

② 番組の再生を停止する

③ 上記手順 5 で、「すぐに」を選び、変換を開始する

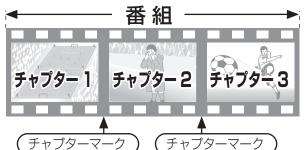
「電源[切]後」を選んで変換する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定で変換を実行します。

チャプターの作成・再生・編集

HDD（アクトビラからダウンロードした番組ではできません）

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは：チャプターマークで区切られた区間のことです。
番組のお気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、スキップ（➜48）したときに、その場面に飛ぶことができます。

チャプターマークで区切られた区間がチャプターになります。

最大チャプターマーク数
（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

HDD ：1 番組あたり約 999 個

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) ：ディスクあたり約 999 個

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ：1 番組あたり約 100 個

チャプターの自動作成について

- **初期設定**「自動チャプター」（➜123）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 自動 CM 早送り（➜52）が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。（1 番組あたり最大 98 個）
（主に地上アナログ放送での録画時に作成されます）
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜48）や「サムネイル変更」（➜60）ができなくなります。
- HDD 作成されたチャプターマークは、ダビングしても保持されます。ただし、最大チャプターマーク数を超えると、超えた分は保持されません。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

［チャプターマーク］を押す

チャプターマークを作成しました。

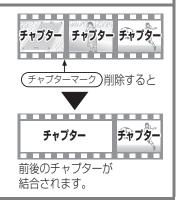
削除

一時停止中に

1 **［スキップ 頭出し ⏮］または［スキップ 頭出し ⏭］を押して、削除したい場面に飛ぶ**

2 **［チャプターマーク］を押す**

3 **［◀］［▶］で「はい」を選び、［決定］を押す**

前後のチャプターが結合されます。

お知らせ

- BD-R -R(VR) -R(AVCREC) -R DL(VR) -R DL(AVCREC) -RW(VR) 作成や削除を何度も繰り返すと、ディスクに記録や編集ができなくなる場合があります。

チャプターを再生・編集する

1 **を押す**

2 番組を選び、サブメニュー(S)を押す

3 「チャプター一覧へ」を選び、(決定)を押す

4 作成する：

[緑]を押す

(➜右記「チャプターマークの作成」へ)

再生する：

チャプターを選び、(決定)を押す

編集する：

チャプターを選び、サブメニュー(S)を押す

(➜ 手順5へ)

複数のチャプターを選択するには
(「チャプター消去」のみ可能)
チャプターを選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

5 編集する項目を選び、(決定)を押す

(➜右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

前の画面に戻るには

(戻る)を押す

画面を消すには

(戻る)を数回押す

チャプターマークの作成

「チャプター一覧」からチャプターマークの作成をすることができます。

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

[チャプターマーク]を押す

削除するには
1. 一時停止中に [|◀◀] [▶▶|] を押して、削除したい場面を選ぶ
2. **[/ チャプターマーク]** を押す
3. 「はい」を選び、**[決定]** を押す

チャプター部分の消去

チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

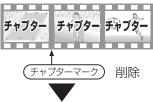
元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

「消去」を選び、(決定)を押す

チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- 持ち出し番組が作成されていた場合、消去されます。

チャプターの結合
(チャプターマークの削除)

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。
番組の録画内容が消去されることはありません。

前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、(決定)を押す

編集
チャプターの作成・再生・編集

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

消去すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクの番組を消去する場合は、ディスクを入れる。

消去後のディスクの残量について

- HDD BD-RE RAM -RW(VR)
  消去すると、消去した分、残量が増えます。
- -RW(V)
  最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

番組 1	番組 2	･･･	最後に記録した番組	残量

消去しても残量は増えません／消去すると残量が増えます

- BD-R -R -R DL
  消去しても残量は増えません。

- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。(アクトビラからダウンロードした番組を除く)

1 [HDD] または [BD/DVD] を押して、「HDD」または「BD」を選ぶ

- DVD の場合は、「BD」を選んでください。

2 を押す

例) HDD

3

1番組のみ消去する場合:

番組を選び、[黄] を押す

複数の番組を消去する場合:

1 番組を選び、[青] を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
  もう一度 [青] を押すと解除されます。

2 [黄] を押す

4 「消去」を選び、[決定] を押す

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

から
へ
- 難しい設定なしに、番組をダビングしたい
  ・・・**かんたんダビング(➔66)**
- お好みの設定でダビングしたい
  ・・・**詳細ダビング(➔70)**
- 再生中の番組をダビングしたい
  ・・・**再生中番組の保存(➔74)**

から
へ
詳細ダビング(➔70)

撮影した動画のダビング

(MPEG2)
から
(VR方式)
へ
ビデオ(MPEG2)取込(➔73)

(AVCHD)
から
(AVCREC方式)
へ
撮影ビデオ(AVCHD)を取込(➔86)

VHSのダビング

から
(VR方式、ビデオ方式)
へ
- 難しい設定なしに、番組をダビングしたい
  ・・・**おまかせダビング(➔75)**
- お好みの設定でダビングしたい
  ・・・**詳細ダビング(➔76)**

から
へ
詳細ダビング(➔76)

から VHS へ
詳細ダビング(➔70)

本機で作成した持ち出し番組を転送するには(➔108)

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられています。
本機ではそのような番組には、10 ～ 1 マークがついています。

10 ～ 1 マークの番組をディスクへダビングするには…

ブルーレイディスクの場合:
市販のディスクなら
お使いいただけます。

DVDの場合:
パッケージに CPRM対応 の記載のあるディスクを準備してください。
(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

CPRMとは?
デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術のことです。

- 番組をディスクにダビングしても、持ち出し番組は転送されません。

10 ～ 1 マークの番組をディスクへダビングすると…

10 ～ 1 の数字はダビングできる残り回数を表しています。

1 の番組をダビングすると
HDDから消去されます。
- 持ち出し番組も消去されます。

編集 ダビング 番組を消去する/番組のダビングについて

番組をダビングする

かんたんダビング

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

HDDにある番組をディスクにダビングします。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

ダビングを中止するには

戻る を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。

ダビング中にテレビの視聴やHDDの録画・再生をするには
（高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ）

決定 を押したあと、視聴や録画・再生の操作をする
- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。
- 「ダビング終了後自動電源［切］」が設定されている場合、設定を解除します。

お知らせ
- 1回にダビングできる番組は99番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が99番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定(➜58)されている 1 の番組はダビングできません。
- -RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」(➜115)を行ってダビングします。

必要に応じて
- ダビング速度について ➜80

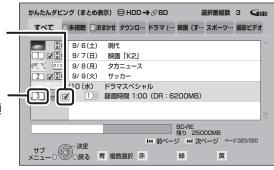
1 ディスクを入れる

2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

- RAM -R -R DL 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、[決定]を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

☑が表示されます。

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

例）

[▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

- **番組□の選択を取り消す:**
番組の選択を取り消します。(➜ 手順 3 へ)

- **画質を自動調整して容量を変更:**
・ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。
・ダビング速度は1倍速になります。
・自動調整を行っても、ディスクの容量が不足する場合はダビングできません。
また、ダビングする番組によっては画質の自動調整はできない場合があります。

4 「番組選択完了」を選び、(決定)を押す

例）

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

手順3で☑表示のある番組を選んだときのみ表示

☞ **他の番組も選択する場合:**
「続けて他の番組を選択する」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順 3 へ)
- 手順 3 で [青] を押しても、他の番組を選択することができます。

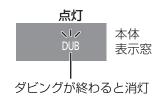
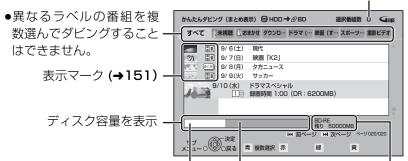
☞ まとめ **番組内の番組を選択する場合:**
「まとめ番組内を選択する」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順 3 へ)

☞ **番組の選択を取り消す場合:**
「この選択を取り消す」を選び、[決定] を押す
(➜ 手順 3 へ)
- 手順 3 で [青] を押しても、選択を取り消すことができます。

5 「ダビング開始」を選び、(決定)を押す

- ダビング終了後に自動で電源を切ったり、ファイナライズを行う設定をする場合、「オプション設定変更」を選び、[決定]を押してください。(➜69)

6 「はい」を選び、(決定)を押す

- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。
またDVDの場合、ダビング番組に応じて、記録方式が自動的に設定されます。
(➜68「未フォーマットのディスクの自動フォーマット 」)

点灯

本体表示窓

ダビングが終わると消灯

ダビングする画質について

HD 表示のある番組:
- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)
- 以下のディスクには標準画質でのダビングになります。
RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW

HD 表示のない番組:
- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。

かんたんダビングの画面の見かた

選択中の番組数

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

表示マーク (➜151)

ディスク容量を表示

ディスクの記録済みの容量と選択中番組の容量の合計

ディスクの空き容量

ダビング先のディスク / ディスクの空き容量

番組をダビングする（つづき）

かんたんダビング（つづき）

未フォーマットのディスクの自動フォーマット（記録方式の設定）

未フォーマットのディスクは自動的にフォーマットします。
また DVDの場合、以下のように記録方式を設定します。

ダビングする画質	ダビングする番組とディスク		設定される記録方式
標準画質	●-R -R DL -RW にダビングするとき、ダビングするすべての番組に 10 ～ 1 が表示されていない	➡	ビデオ方式
	●ダビングする番組に 10 ～ 1 が表示されている番組を 1 つでも含んでいる	➡	VR 方式
ハイビジョン画質		➡	AVCREC 方式

ダビング時の動作

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。
高速ダビング時の録画モードは、ダビングする番組と同じです。

HD 表示のある番組が、DR や HG、HX、HE、HL、HM モードで記録したハイビジョン番組です。

ダビングする番組	ダビング先ディスク	ダビング時の動作
HD 表示のある番組	BD	高速
	DVD (AVCREC 方式)	高速 ●DRモードの番組は、HGモードで 1 倍速ダビング
	DVD (VR 方式、ビデオ方式※)	1 倍速 ●XPモードでダビング
HD 表示のない番組	BD	1 倍速 ●MPEG2 動画や録画モードのない番組は、SP モードでダビング ●FRモードの番組は、録画された画質に近い録画モードでダビング
	DVD (AVCREC 方式)	ダビングできません
	DVD (VR 方式、ビデオ方式)	高速 ●ビデオ方式の場合 ・「高速ダビング用録画」を「切」でHDDへ録画した番組は 1 倍速ダビング ・MPEG2 動画や録画モードのない番組は、SPモードで 1 倍速ダビング ・FRモードの番組は、録画された画質に近い録画モードでダビング

※ -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）やコピー制御信号が加えられていない（10 ～ 1 表示のない）番組のみダビングできます。

ダビングの便利な機能

番組の内容や並び替えなど

かんたんダビング
詳細ダビング

かんたんダビング画面(➜66 手順 3)上または詳細ダビングのリスト作成画面(➜70 手順 4)上で

1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す(➜ 下記へ)

項目	説明
内容確認	●選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。 (詳細ダビングの場合、番組に ☑ が付いているときはできません)
画質変更 かんたんダビング	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更することができます。変更すると1倍速ダビングになります。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定 かんたんダビング	**[▲][▼]で項目を選び、[◀][▶]で設定する** ●ダビング終了後自動電源[切]:ダビング終了後に電源を切るかどうかの設定をします。 ●ダビング終了後自動ファイナライズ: -R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) ダビング終了時に、ファイナライズを行うかどうかの設定をします。再生専用になり、記録や編集はできなくなります。
視聴制限一時解除	●ダウンロード番組視聴制限(➜124)で設定された視聴制限を解除します。画面の指示に従って暗証番号(4 けた)を入力してください。 (番組に ☑ が付いているときはできません)
並び替え HDD ●全番組表示時のみ	●表示順を変更します。(番組に ☑ が付いているときはできません) ●かんたんダビングでは、画面を消すと取り消されます。 ●詳細ダビングでは、画面を消すか、リスト登録画面の「リスト作成」に戻ると取り消されます。
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	●まとめ表示と全番組表示を切り換えます。 (番組に ☑ が付いているときはできません)

リスト登録時の便利機能

詳細ダビング

項目	説明
登録されたリストや設定を一度に取り消す すべて取消し	詳細ダビング画面上で ① **[▲][▼][◀][▶]で「すべて取消し」を選び、[決定]を押す** ② **[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す** ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 ・ダビング元で番組や写真の記録、消去などをしたとき ・ディスクトレイを開ける、電源を切る、SDカードを取り出したとき
リスト項目の入れ替え	リスト登録画面上で ① **[▲][▼]で番組や写真を選び、[決定]を押す** ② **[▲][▼]([◀][▶])で新たに登録したい番組や写真を選び、[決定]を押す**

リスト登録画面上で

1 [▲][▼]で番組や写真を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す
(➜ 下記へ)

項目	説明
リスト全消去	リストに登録されている番組や写真をすべて消去します。
追加	選んだ項目の上に新しい項目を追加します。 **[▲][▼]([◀][▶])で追加する番組や写真を選び、[決定]を押してください。**
消去	選んだ項目を消去します。
移動	選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。 **[▲][▼]で移動先を選び、[決定]を押してください。**(「写真」ではできません)

番組をダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング方向:

HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW VHS

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD VHS

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ダビング可能なディスクまたはカセットを入れる。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜112)(デジタル放送をDVDにダビングする場合、VR方式またはAVCREC方式にフォーマットしてください)
- VHSにダビングする場合、カセットのダビング開始点で停止しておく。

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

4 項目を選び、[▶]を押す(➜右記へ)

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

6 「はい」を選び、決定を押す

本体表示窓

点灯

DUB

ダビングが終わると消灯

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中にテレビの視聴や再生、HDDの録画をするには

(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)

決定 を押したあと、視聴や再生、HDDの録画の操作をする

- [画面表示]を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

例)

チャンネルが表示されたら録画や再生ができます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
(➜79「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

何から何にダビング?

1 ダビング方向

ダビング素材の設定/録画モードの設定

2 素材・モード

- 録画モードについて (HDD/ディスク ➜38 VHS➜78)

ダビングする番組を選ぶ

3 リスト作成

ファイナライズ

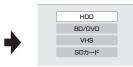
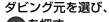
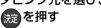
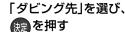
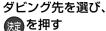
4 詳細設定

(-R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) へダビングするときのみ)

[◄]を押す（➜70 手順4へ戻る）

「ダビング元」を選び、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

●ダビング先とダビング元をHDDにすると番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は1回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は1回になります）
・1 表示のある番組、アクトビラからダウンロードした番組の複製はできません。

[◄]を押す（➜70 手順4へ戻る）

「ダビング素材」を選び、決定を押す

「ビデオ」を選び、決定を押す

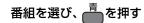
「録画モード」を選び、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

●ディスクによって選べる録画モードは異なります。
（➜79「高速でダビングできない場合は？」）
●ダビング先が「VHS」のときは、録画モードは「標準」、「3倍」、「5倍」が選べます。

表示マーク（➜151）

[◄]を押す（➜70 手順4へ戻る）

「新規登録」を選び、決定を押す

番組を選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
●挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す

すべてを選んだあと、決定を押す

ダビングの便利な機能（➜69）

●高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
●高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
● RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。

[◄]を押す（➜70 手順4へ戻る）

「ファイナライズ」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

●「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（➜152）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

お知らせ

●**ダビングリスト容量について**（ダビング先に記録される容量）
・1倍速の場合は、録画モードによって変化します。
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
●当社製DVDビデオカメラで撮影した映像をHDDにダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。
●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。（VHSへのダビングを除く）
●アクトビラからダウンロードした番組は、VHSにはダビングできません。

番組をダビングする(つづき)

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。
一度 HDD にディスク内容をダビングすれば編集することができます。

ダビング方向: DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V)、+R、+ R DL、+RW) ➡ HDD VHS

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

ダビング中、不要な番組などはスキップ(➜48)で飛び越すことができます。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクを入れる。
- VHS にダビングする場合、カセットのダビング開始点で停止しておく。

お知らせ
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。(VHS へのダビングを除く)

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには

戻る を3秒以上押す

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(➜70)をご覧ください。

1 ダビング方向 BD/DVD → HDD
2 素材・モード DVD-Video XP
3 ダビング時間 切

以下のように設定してください。
- **「ダビング方向」**:「ダビング元」➜「BD/DVD」
- **「素材・モード」**:「ダビング素材」➜「DVD-Video」
  :「録画モード」を選ぶ
  (「高速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「FR」は選べません)
- **「ダビング時間」**:ダビング時間を設定する(➜73)

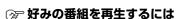
5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

終了するまでが1番組になります。
(8時間を超える場合は、8時間ごとに1番組になります)

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定] を押す

好みの番組を再生するには
① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[決定] を押す

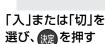
ディスクの再生が始まらない場合は
① [▶ 再生] を押す
② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、[決定] を押す

ダビング時間の設定

ダビング時間

(72 ページ手順４のあと)

「時間設定」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す

“時間”または“分”を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

「時間設定」を「切」にしたときは
ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

SDカードのMPEG2動画をダビングする

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を SDカードからダビングできます。

ダビング方向：SD (MPEG2) ➡ HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●DVDにダビングする場合、DVDを入れる。
●DVDにダビングするには、フォーマットをして記録方式を VR 方式にしてください。(➜112)

●ダビングすると、撮影した日付単位で１番組になります。
●SDカードにあるMPEG2動画をそのまま本機で再生することはできません。
●ダビング中は、録画や再生はできません。
●SDカードのMPEG2動画はBDには直接ダビングできません。いったんHDDにダビングしてから、BDにダビングしてください。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を３秒以上押す

(➜79「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

1 SD カードを入れる

2 「ビデオ(MPEG2)取込」を選び、決定を押す

3 項目を選び、[▶]を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜70)をご覧ください。

以下のように設定されているかご確認ください。
・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「SDカード」
・**「素材・モード」**：「ダビング素材」➜「ビデオ」
・録画モードは自動的に「高速」になり、変更はできません。

●SDカード内にあるMPEG2動画は、自動的にダビングリストへ登録されます。

4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

5 「はい」を選び、決定を押す

ダビング

番組をダビングする（つづき）

番組をダビングする（つづき）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中に、その番組だけをディスクへダビングすることができます。
●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。
ダビング方向: HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

準備
- ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
- ●ダビング可能なディスクを入れる。
- ●フォーマットをして記録方式を設定してください。**(➜112)**（デジタル放送をDVDにダビングする場合、VR方式またはAVCREC方式にフォーマットしてください）

お知らせ
- ●1倍速でダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

ダビング中にテレビの視聴や HDDの録画・再生をするには（高速ダビング時のみ）

決定 を押したあと、視聴や録画・再生の操作をする
- ●**[画面表示]**を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す
(➜79「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

基本操作　①選び　②決定する

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の映像や音声、字幕情報を含んでいる DRモードの番組を BD-RE BD-R 以外にダビングする場合、**再生設定**「信号切換」**(➜52)**でダビングする音声などを選んでからダビングしてください。

2 サブメニュー S を押す

- ●ビエラリンク (HDMI)**(➜102)**をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

3 「再生中番組の 保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

再生中番組の保存時の動作

ダビングする番組	ダビング先ディスク	ダビング時の動作
DR、HG、HX、HE、HL、HM モードの番組	BD	**高速** ●ディスク容量を超えてダビングする場合、残量に合わせて HG、HX、HE、HL、HM モードで 1 倍速ダビング
	DVD (AVCREC 方式)	**高速** ●DR モードの番組の場合、残量に合わせて HG、HX、HE、HL、HM モードで 1 倍速ダビング
	DVD (VR 方式、ビデオ方式※)	**1 倍速** ●FR モードでダビング
XP、SP、LP、EP、FR モードの番組	BD	**1 倍速** ●再生中番組の録画モードでダビング ●ディスク容量を超えてダビングする場合、FR モードでダビング
	DVD (AVCREC 方式)	ダビングできません
	DVD (VR 方式、ビデオ方式)	**高速** ●ビデオ方式の場合、「高速ダビング用録画」を「切」でHDDへ録画した番組は 1 倍速（再生中番組の録画モード）でダビング ●ディスク容量を超えてダビングする場合、FR モードで 1 倍速ダビング

※ -R(V) -R DL(V) -RW(V) HDDに取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）やコピー制御信号が加えられていない（10 ～ 1 表示のない）番組のみダビングできます。

VHS からダビングする

おまかせダビング

ダビング方向: VHS ➔ BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)
カセットに録画されている部分だけを、1 倍速(録画モード「FR」)でダビングします。

準備
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- カセットを入れる。
- ダビング可能なディスクを入れる。

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
新品などの未フォーマットのディスクは、**自動的にフォーマット(➔152)**を行います。
DVD にダビングする場合、記録方式は以下のようになります。
- RAM :VR 方式
- -R -R DL -RW :ビデオ方式

-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングする場合、**自動的にファイナライズ(➔152)**を行います。
DVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集はできなくなります。

-RW(VR) ファイナライズ後のディスクでも、自動的に「ファイナライズ解除」**(➔115)**を行ってダビングします。

1 スタート **を押す**

2 「VHS」を選び 決定 を押す

3 「ダビングする」を選び、決定 を押す

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- ダビング前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。(このとき、画面の背景が黒くなります)ダビング開始までに、時間がかかることがあります。

お知らせ
- 市販のビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- VHS から RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。
- ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
- VHS からダビングする場合、画質が悪くなる場合があります。
- ダビングを開始すると、約2分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビング中の映像が乱れるときには (➔57)

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
(➔79「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる?」)

VHS からダビングする(つづき)

詳細ダビング

ダビング開始時のテープの停止位置からダビングします。
●テープの始端から終端まで全部をダビングする場合は、録画モード「FR(自動調整)」で「時間設定」を「切」にします。
ダビング方向： VHS ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(VR) -RW(V)

準備
●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●ディスクにダビングする場合、ダビング可能なディスクを入れる。
●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜112) (DVD にダビングする場合は、VR 方式またはビデオ方式にフォーマットしてください)
●カセットを入れる。

1 スタート を押す

2 「ダビングする」を選び、決定を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

4 項目を選び、[▶] を押す(➜右記へ)

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

6 「はい」を選び、決定を押す
●ダビングしたい番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。ただし、テープの終端になるか、ダビング先の残量がなくなると、自動的にダビングを終了します。

本体表示窓
点灯
DUB
ダビングが終わると消灯

前の画面に戻るには

戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す
●ファイナライズ中は中止できません。
(➜79「ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？」)

何から何にダビング？
1 ダビング方向

録画モードの設定
2 素材・モード
●録画モードについて
(HDD/ディスク➜38)

ダビング時間の設定
3 ダビング時間

ファイナライズ
4 詳細設定
(-R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビングするときのみ)

お知らせ
●市販のビデオソフトのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
●VHS から RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。
●ダビング中は、録画、再生または予約録画の実行はできません。
●VHS からダビングする場合、画質が悪くなる場合があります。
●ダビングを開始すると、約 2 分間ダビングの進行状況の画面が表示されます。

「ダビング元」を選び、決定を押す

「VHS」を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

[◄]を押す(➔76 手順4へ戻る)

「録画モード」を選び、決定を押す

録画するモードを選び、決定を押す

FR(自動調整) : ディスクの容量を使い切るようにXP ～ EP モード相当の画質に調整してダビングします。ダビングしたディスクは残量がなくなる場合があります。

[◄]を押す(➔76 手順4へ戻る)

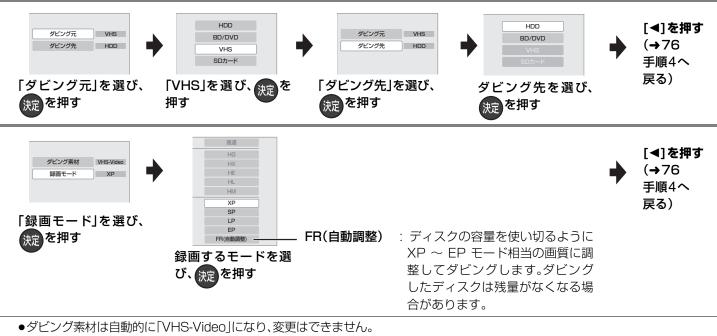
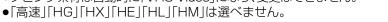
●ダビング素材は自動的に「VHS-Video」になり、変更はできません。
●「高速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」は選べません。

「時間設定」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

左記で「入」を選んだときは、「録画時間」を選び、決定を押す

"時間"または"分"を選び[▲][▼]で設定し、決定を押す

[◄]を押す(➔76 手順4へ戻る)

●時間設定は、[1]～[10/0]も使えます。
●25時間を超えて設定することはできません。

「時間設定」を「切」にしたときは
●録画モードを「FR(自動調整)」以外に設定している場合、テープの終端になるか、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

「ファイナライズ」を選び、決定を押す

「入」または「切」を選び、決定を押す

[◄]を押す(➔76 手順4へ戻る)

●「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➔152)を行います。DVD機器でも再生できるようになりますが、記録や編集をすることはできなくなります。

カセットに録画されている部分だけをすべてダビングするには

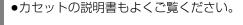
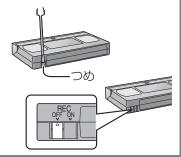
録画モード:「FR(自動調整)」/「時間設定」:「切」にしてください。
●カセットの記録時間を計算するため、ダビング前に、自動的にテープを終端まで早送りしてから始端まで巻き戻します。この計算でディスクの残量が足りなかった場合は、ダビングは開始されません。
●テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します。

番組を分割せずに 1 番組になるようにダビングするには

「時間設定」:「入」にしてください。
●カセットのダビング開始点から、設定した録画時間分だけを(未記録部分も)ダビングします。
●番組分割はしません。ただし、頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(➔62)が作成されます。

VHSを含んだダビングについて

本機では、VHS、S VHS、D VHSマークの付いたカセットにダビングできます。

VHS の録画モードについて	**標準**：カセットに表示されている時間の記録ができます。 **3 倍 /5 倍**：標準に対してそれぞれ 3 倍、5 倍の記録ができます。 ●5 倍モードでダビングしたカセットは、他のビデオでは再生できません。 カセットのラベルに「5 倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。 ●5倍モードでダビングした番組を、再びHDDやディスクにダビングすると、ノイズが入る場合があります。 ●他のビデオで再生したり、保存を目的とするときは、標準モードでダビングすることをおすすめします。標準モード以外の場合、他のビデオで再生すると、ノイズが出る場合があります。
記録済みの番組を誤って消さないために	**カセットにある「つめ」を折る、またはつまみタイプのカセットはつまみを"OFF"にしてください。** ●折った部分にセロハンテープを二重にはる、またはつまみタイプのカセットはつまみを"ON"に戻すと、再び記録できます。 ●カセットの説明書もよくご覧ください。
頭出し信号の書き込みと番組分割	**HDD/ ディスクから VHS へダビングすると、1つの番組ごとに頭出し信号が自動的に書き込まれます** [ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）からダビングする場合を除く] ダビング後は、番組を頭出し(➔55)して探すことができます。 **VHSからHDD/ディスクへダビングすると、テープの頭出し信号を検出するごとに、番組を分割して記録します** 番組分割しないでダビングしたいときは、「時間設定」を「入」にしてダビングしてください。(➔76「ダビング時間」)頭出し信号を検出するごとにチャプターマーク(➔62)が作成されます。 ●約 15 分（5 倍モード時は約 25 分）以内の番組は、正しく分割されない場合があります。 ●頭出し信号の数によっては、記録時間が実際よりも多少長くなる場合があります。 ●分割動作をする際、テープの巻き戻し画面になる場合があります。
HDD へダビングするときは	HDD へダビングした番組を、あとで HDD から -R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速モードでダビングしたい場合は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にしておく必要があります。 （お買い上げ時の設定は「入」です）
デジタル放送の番組のダビング	カセットにダビングする場合は複製できます。（ダビングできる残り回数は減りません） ただし、コピー制御信号が合わせて記録されます。再度、HDDやディスクへダビング（複製）するときは、コピー制御信号が記録された部分はダビング（複製）されません。 ●マクロビジョン（著作権保護技術）信号により正常にダビングできないことがあります。

カセットに関する質問

Q（質問）	A（回答）
S VHSやD VHS、S VHS C、VHS C カセットは使えるか？	●S VHS、D VHS使用できますが、記録は VHS方式になります。 ●S VHS C、VHS C カセットアダプター（別売）を使えば使用できますが、記録は VHS方式になります。 ●S-VHS方式で記録されたカセットは、再生はできますが、S-VHS本来の高画質にはなりません。 ●デジタル（D-VHS）方式で記録されたD VHSは再生できません。
海外で録画したカセットを再生できるか？	●NTSC方式のSP（標準）、またはEP（3倍）で録画されたものならできます。

ダビングに関する質問

<table>
<tr><th>Q(質問)</th><th>A(回答)</th></tr>
<tr><td>ダビング実行中に、ダビングを中止するとどうなる？</td><td>例)番組A･B･Cの順にダビングして
番組Cの途中で中止した場合
番組 A | 番組 B | 番組 C
ダビング完了 | ダビング完了
中止

高速 番組A･Bのみダビングされます。
番組 C はダビングされません。

1 倍速 番組A･Bと番組Cの途中までがダビングされます。
ただし
●HDDからディスクへのダビングで、番組Cがコピー制限のある番組
･番組Cはダビングされず、HDDに残ります。
●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) にダビング /VHS から DVD へダビング※
･HDDに一時的に複製中: 番組A･B･Cはダビングされません。
･DVDに高速ダビング中: 番組 C はダビングされません。
※ VHS からのダビングの場合、HDD に複製された番組が残ります。

BD-R -R -R DL 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。</td></tr>
<tr><td>HDD/ ディスクへ複数の番組をダビングしたあと、再生するには？</td><td>[録画一覧] を押して番組を選んで再生してください。</td></tr>
<tr><td>ディスクに高速でダビングしたいときは？</td><td>●デジタル放送は、以下のようにダビングすると高速ダビングすることができます。
･DR モードの番組: BD-RE BD-R にダビング
･HG、HX、HE、HL、HMモードの番組: BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にダビング
･XP、SP、LP、EP、FRモードの番組 : RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビング
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) アナログ放送や外部入力は、初期設定「高速ダビング用録画」(➜123)を「入」にしてHDDに録画すると、ディスクに高速ダビングできます。</td></tr>
<tr><td>高速でダビングできない場合は？</td><td>以下の場合、1 倍速でのダビングになります。
●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」モード以外の番組を BD-RE BD-R にダビング時
●DR モードの番組を DVD にダビング時
● -R(V) -R DL(V) -RW(V) に以下のダビング時
･初期設定「高速ダビング用録画」(➜123)を「切」にして、HDDに記録した番組を含むダビング
･HDD内のSDカードからダビングした MPEG2 動画
●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にする
● VHS へのダビング、VHS からのダビング
● RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW (AVCREC方式以外のディスク)に以下の番組をダビング時
･HG、HX、HE、HL、HMモードの番組　･HDDに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)
● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) DVD-V からHDDにダビング時
●ディスクに取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)をHDDにダビング時
●ディスクの記憶容量を超えてダビングするとき</td></tr>
<tr><td>高速ダビング時の動作音が気になる場合は？</td><td>高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、初期設定「DVDの高速ダビング速度」(➜123)を「高速モード」または「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。</td></tr>
<tr><td>-R(V) -R DL(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングする場合は？
VHS から DVD にダビングする場合は？</td><td>1 倍速で番組をHDDに一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。
以下の場合、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去(➜64)してからダビングしてください。
●HDDの残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります)
●HDD 内の番組数とダビングする番組数の合計が 1000 を超えるとき</td></tr>
</table>

ダビング速度について

本機では、ダビングする番組、ディスク、設定によって、高速でダビングできる場合と１倍速でのダビングになる場合があります。

	高速ダビング	１倍速ダビング
特徴	ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、画質(録画モード)を変えずにダビングします。	ダビングする番組の記録時間と同じ時間、またはそれ以上の時間をかけてダビングします。ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。
「サムネイル変更」の保持	○	×
「チャプターマーク」の保持	○※1	○※1
ダビング中の録画・再生	○(HDD の番組のみ)※2	×

※１ チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(ディスクあたり:約 999 個 / １番組あたり: -R(V) -R DL(V) -RW(V) 99個、BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 100個)を超えると、超えた分は保持されません。

※２ ファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG2動画をダビング中、撮影ビデオ(AVCHD)の取込中はできません。
・追っかけ再生などはできません。
・写真の再生はできません。

高速でのダビング所要時間の目安(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	2X高速記録対応 BD-RE(片面2層) 所要時間	倍速	2X高速記録対応 BD-RE(1層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 BD-R(1層) 所要時間	倍速
DR※	1時間	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約5分20秒	約11倍	約5分20秒	約11倍
HG		約12分	約5倍	約12分	約5倍	約4分	約15倍	約4分	約15倍
HX		約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約2分43秒	約22倍	約2分43秒	約22倍
HE		約5分	約12倍	約5分	約12倍	約1分49秒	約33倍	約1分49秒	約33倍
HL		約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約1分24秒	約43倍	約1分24秒	約43倍
HM		約3分	約20倍	約3分	約20倍	約1分	約60倍	約1分	約60倍

※ 地上デジタル(約17 Mbps)の場合

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	倍速	16X高速記録対応 DVD-R 所要時間	倍速	8X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	倍速	6X高速記録対応 DVD-RW 所要時間	倍速
HG	1時間	約14分	約4倍	約8分30秒	約7倍	約18分30秒	約3倍	―	―
HX		約10分	約6倍	約6分	約10倍	約12分	約5倍	―	―
HE		約6分40秒	約9倍	約3分20秒	約18倍	約8分35秒	約7倍	―	―
HL		約5分	約12倍	約2分20秒	約25倍	約6分30秒	約9倍	―	―
HM		約4分	約15倍	約2分	約30倍	約5分	約12倍	―	―
XP		約12分	約5倍	約6分	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍
SP		約6分	約10倍	約3分	約20倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍
LP		約3分	約20倍	約1分30秒	約40倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍
EP(6時間)		約2分	約30倍	約1分	約60倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍
EP(8時間)		約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍

●HDDに録画した１時間番組を、表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。
ディスクの書き込み位置や特性などの条件により時間や速度が変わります。
●ディスクの倍速表示にかかわらず、DVD-R は最大 12X、DVD-R DL は最大 4X、DVD-RWは最大4X にしかなりません。
●HGモードでは、4.7 GB の RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ最大約 42 分までしか記録できません。上記は、比較のため算出したものです。
●ダビング中にHDDの録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

デジタル放送を記録したDVDを他の機器で再生するには?

著作権保護のため、デジタル放送を記録するには、記録するディスクや記録方式などに条件があります。
そのため、そのディスクもすべての機器で再生できるわけではありません。
お使いの機器が以下の①〜③に対応しているかご確認ください。

再生機器

① 記録したディスクの再生に対応していますか?

に対応している必要があります。

② 記録したディスクの記録方式の再生に対応していますか?

それぞれのディスクの

VR方式 AVCREC方式 に対応している必要があります。
（-RWは除く）

③ CPRM(デジタル放送の記録などに使われる著作権保護技術)
に対応していますか?

CPRMに対応している必要があります。

例えば

DVD-RのVR方式の再生に対応している必要があります。

- 機器によっては、DVD-Rの再生には対応していても VR方式の再生には対応していない場合があります。 その場合は、再生できません。

- 再生する機器が対応しているかは、その機器の説明書をご覧ください。
- -R(VR) 2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーで再生できます。（2009年6月現在）
  当社製のDVDプレーヤーなどでは、以下の機器で再生できます。（2009年6月現在）
  DVD-S50/DVD-LX87/DVD-LX88/DVD-LX89/DVD-LX97/DVD-LS80/DVD-LS81/DVD-LS83/DVD-LS91/NV-VP70/DMP-BV100/DMP-BD60
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 以下の当社製機器で再生できます。（2009年6月現在）
  DMP-BV100/DMP-BD60

他のビデオやビデオカメラからダビングする

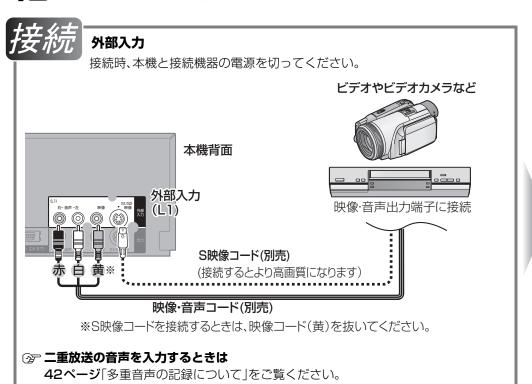
接続

外部入力

接続時、本機と接続機器の電源を切ってください。

※S映像コードを接続するときは、映像コード(黄)を抜いてください。

二重放送の音声を入力するときは
42ページ「多重音声の記録について」をご覧ください。

外部機器の音声出力端子がモノラルのときは
ステレオ←→モノラルの映像･音声コード(別売)をお使いください。

お知らせ

- 「外部入力(L1)取込」中は
  - ･予約録画が始まると、ダビングを中断します。
  - ･追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- ディスクにダビング中に停電などが発生した場合は、ダビング中の映像･音声はすべて記録されません。
- RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) へはダビングできません。

接続した機器を再生してダビング

HDD

外部入力(L1)取込機能を使ってダビング

外部入力(L1)取込

BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -RW(VR) -RW(V)

- 外部入力 (L1) 端子に接続したときのみ

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 入力切換(リモコン下部)を押して、外部機器を接続した端子(L1)を選ぶ

2 録画モード(ふた内部)を押して、録画モード(➜38)を選ぶ

●「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「FR」は選べません。

3 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、録画(ふた内部)を押す

録画を一時停止するには

一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

■停止 を押す

ぴったり録画をする(➜21)

準備 ●本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます)

1 スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「ぴったり録画」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]で「ディスクに録画」を選び、決定 を押す

●録画準備のため、次の画面が表示されるまでに数十秒かかる場合があります。

5 [◀][▶]で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する

●[1]〜[10]も使えます。

6 接続した機器で再生を始め、[◀][▶]で「録画開始」を選び、決定 を押す

録画の残り時間を確認するには

画面表示 を押す

録画を止めるには

■停止 を押す

前の画面に戻るには

戻る を押す

●FRモードで録画します。
ディスクの残量に合わせてできるだけぴったり録画するよう自動で画質を調整するため、番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

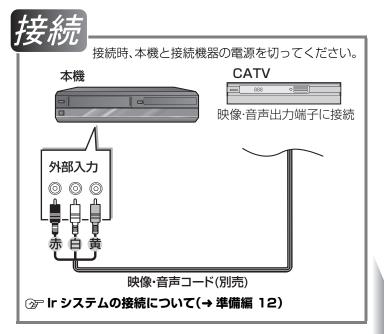
● -R -R DL 手順4あるいは記録や編集を約30回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。

● -R(V) -RW(V) ダビング後にファイナライズ(➜115)を行うと、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する

本機とホームターミナル / セットトップボックス（以下、CATV と表記）を接続して、CATV で受信した番組を録画することができます。

接続

Ir システムの接続について（→ 準備編 12）

- Irシステムを使って予約録画をする場合、以下のように設定することをおすすめします。
  - ･本機側との予約が重ならないように設定する
  - ･番組の先頭部分が録画されない場合があるため、録画開始時間を多少早めに設定しておく
- Irシステムで連動予約をする場合、以下のことにお気をつけください。
  - ･他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。
  - ･録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。録画中に本機の電源を切らないでください。
- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。
- BD-RE BD-R 外部入力端子（「L1」）に接続したCATVからコピー制限のある番組を録画する場合、著作権保護の規定があるため、直接録画できません。また、HDDに録画した番組をダビングすることもできません。
  CPRM対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。

1 [入力切換](リモコン下部)を押して、CATVを接続した端子(「L1」)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ

2 [録画モード](ふた内部)を押して、録画モード(➜38)を選ぶ

3 [録画](ふた内部)を押す

録画を一時停止するには

[一時停止] を押す
- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[停止] を押す

ぴったり録画をする(➜21)

- 本機の予約録画が始まると、録画は中断します。

1 CATV 側の設定をする

- 「リモコン種別」の「DVDレコーダー(1、2…)」を本機が動作する番号に合わせてください。

2 本機の設定をする

連動予約のとき

① [HDD]を押して、「HDD」を選ぶ
② [入力切換](リモコン下部)を押して、接続した外部入力端子「L1」を選ぶ
③ [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ(➜38)
④ 本機の電源を切る

タイマー予約のとき

- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に"ACCEPT"が表示されます。
- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜34)

予約時刻になると、録画が実行されます。

- 本機が動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
- お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

連動予約時のみ

- 本機の予約一覧には登録されません。
- 本機の予約録画が始まると、録画は中断されます。
- ビエラリンク(HDMI)を使用している場合、**初期設定**「ビエラリンク録画待機」(➜126)を「入」にしてビエラのチャンネルを切り換えると、本機のチャンネルも自動的に切り換わるため、予約録画が正しく実行されないときがあります。設定を「切」にして予約してください。

- CATV側で予約設定したあと、「時間指定予約」で予約してください。(➜33)
  ·「放送種別 / チャンネル」は「外部入力 L1」に設定してください。

ハイビジョンビデオカメラからの動画の取り込み

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD) を取り込むことができます。

●ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクの場合、**初期設定**「AVCHD優先モード」を「入」にしてください。(➜123)

ダビング方向:

AVCHD (AVCHDが記録されたディスク) ➡ **HDD**

SD (AVCHDが記録された SD カード) ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** **-R DL(AVCREC)**

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

●ディスクまたはSDカードを入れる。

ディスクまたはSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) **SD**

ディスクを入れた場合:

●右記の手順 **3** に進みます。

SD カードを入れた場合:

① 「撮影ビデオ(AVCHD)」を選び、**[決定]** を押す

② 「撮影ビデオを取り込む」を選び、**[決定]** を押す

●右記の手順 **4** に進みます。

お知らせ

●取り込み中は録画、再生または予約録画の実行はできません。

●録画や再生中に取り込みはできません。

●1つのタイトルに99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。

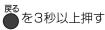
・**HDD** 99シーンごとに分けて取り込んだ場合は、まとめ 番組として表示されます。

●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。ただし、撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル(日付に「-1」、「-2」などを表示)となる場合があります。詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。

●高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。

取り込みを中止するには

を3秒以上押す

1 スタート を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオ(AVCHD) を取込」を選び、決定 を押す

4 **SD** から取り込む場合: 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

5 タイトルを選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには

タイトルを選び、**[青]** を押す

6 すべてを選んだあと、決定 を押す

7 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ディスクに取り込んだ動画を他の機器で再生するには

●SDカードから直接取り込んだDVDの場合は、機器がそのディスクのAVCREC方式に対応している必要があります。

●他の機器で再生できない場合は、一度 HDD に取り込んだあと、詳細ダビング(➜70)で録画モードを「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」にしてディスクにダビングしてください。ただし、画質は標準画質になります。

写真(JPEG)を再生する

HDD BD-RE RAM CD SD

- CD 写真(JPEG)を記録したCD-R、CD-RW が再生できます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- ディスクまたは SDカードを入れる。

ディスクまたはSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例)

ディスクを入れた場合:
- 右記の手順 3に進みます。

SD カードを入れた場合:
「写真」を選び、[決定] を押す
- 右記の手順 3に進みます。

お知らせ

- JPEG 以外の写真は再生できません。
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

再生を止めるには

 を押す

- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。ただし、以下の場合は解除されます。
  - · CD SD 電源を切る、または取り出したとき
  - · BD-RE RAM 取り出したとき

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

1 スタート を押す

2 BD-RE RAM CD SD 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「写真を見る」を選び、決定 を押す

HDD BD-RE RAM

表示方法を切り換えるには

本機では、SDカードから写真を取り込んだ場合、日付別にまとめて表示します。この中から好きな写真をアルバムにまとめて表示することができます。

① [サブ メニュー] を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定] を押す

CD SD 「写真一覧」が表示されます。(➜ 手順 5 へ)

- RAM 他の機器で記録した写真の場合、「写真一覧　日付別表示」に表示されない場合があります。そのときは、「写真一覧 アルバム表示」を表示してください。

4 日付またはアルバムを選び、決定 を押す

例) HDD

- [決定] の代わりに [▶ 再生] を押すとスライドショーが始まります。

5 写真を選び、決定 を押す

例) HDD

写真(JPEG)を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

フォルダの切り換え
(本機で表示されるフォルダ構造例➜153)

BD-RE RAM (「写真一覧 アルバム表示」表示時に、上位フォルダに異なる対応フォルダがある場合のみ)

1 「写真一覧 アルバム表示」中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

3 [◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

CD

1 「写真一覧」表示中に、サブメニュー(S)を押す

2 [▲][▼]で「フォルダ選択」を選び、(決定)を押す

3 [▲][▼][◀][▶]でフォルダを選び、(決定)を押す

☞ **前の画面に戻るには**
[戻る] を押す

画像の回転、縮小
●スライドショー再生中はできません

1 写真を再生中に、サブメニュー(S)を押す

●ビエラリンク(HDMI)(➜102)をお使いの場合は、「再生操作パネル」が表示されます。もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

2 [▲][▼]で項目を選び、(決定)を押す

☞ **回転を元に戻すには**
[サブ メニュー] を押して逆方向の回転を選び、[決定] を押す

☞ **縮小を元に戻すには**
[サブ メニュー] を押して「拡大」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●以下の場合、写真の回転の情報は保持されません。
- ・CD の写真
- ・プロテクトがかかったディスクやカード
- ・他の機器での再生時
- ・写真のダビング時

●写真一覧画面表示中にSDカードを取り出すと、回転の情報が正しく保持されない場合があります。
●縮小の情報は保持されません。

写真情報の表示

写真を再生中に、[画面表示] を2回押す

☞ **情報表示を消すには**
[画面表示] を押す

例) HDD

情報がない場合「----/--/--」と表示されます。

再生中に前後の写真を見る

[◀][▶]を押す

写真を連続して再生（スライドショー）

HDD BD-RE RAM :「写真一覧 日付別表示」または「写真一覧 アルバム表示」
CD SD :「写真一覧」
で操作します。

1 HDD BD-RE RAM [▲][▼][◄][►]で日付またはアルバムを選ぶ

2 サブメニュー Ⓢ を押す

- HDD BD-RE RAM [サブ メニュー] の代わりに[► 再生] を押してもスライドショー再生が始まります。

3 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、決定を押す

スライドショーの設定を変更する	
	上記手順 2 のあと ① [▲][▼]で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す ② [▲][▼] で設定する項目を選ぶ(➜ 下記へ) ③ 設定終了後、[▲][▼][◄][►]で「確定」を選び、[決定] を押す
表示間隔 表示間隔	**[◄][►]で表示間隔を選ぶ** 画素数が大きい写真は、次の写真表示までが長くなったり、設定を変更しても、短くならない場合があります。
写真の表示方法の設定 表示変化	スライドショー再生中の写真の表示方法を設定します。 **[◄][►]で表示方法を選ぶ** ●**フェード** :フェードアウト･フェードインして切り換わります。 ●**モーション**:写真を拡大･縮小したり、上下に移動しながら、フェードアウト･フェードインして切り換わります。 ●**ランダム** :「モーション」に加えて、さまざまな方法で次の写真に切り換わります。
リピート再生 リピート再生	**[◄][►]で「入」または「切」を選ぶ**

☞ **スライドショーを終了するには**

戻る を押す

写真(JPEG)を編集する

HDD BD-RE RAM SD

- 写真単位、日付単位またはアルバム単位で編集することができます。
- CD-R、CD-RWに記録された写真は編集できません。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

日付単位またはアルバム単位で編集する

HDD BD-RE RAM

1 を押す

2 BD-RE RAM
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定を押す

3 「写真を見る」を選び、決定を押す

表示方法を切り換えるには
① [サブ メニュー]を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

4 日付またはアルバムを選び、サブメニュー S を押す

複数の日付またはアルバムを選択するには
（「この日付の写真消去」「アルバム消去」「プロテクト設定 / 解除」のみ可能）
日付またはアルバムを選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

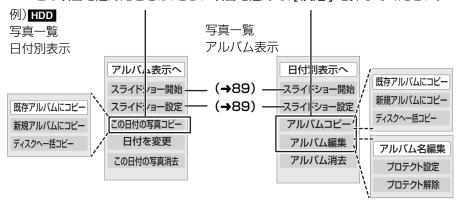
5 項目を選び、決定を押す（➜右記へ）

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定] を押してください。

例）HDD
写真一覧
日付別表示

写真一覧
アルバム表示

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

既存のアルバムに写真をコピー

既存アルバムにコピー

新しいアルバムを作成し写真をコピー

新規アルバムにコピー

日付またはアルバム内の写真をすべてHDDまたはBD-REやDVD-RAM へコピー

ディスクへ一括コピー

HDD

HDD へ一括コピー

BD-RE RAM

消去

この日付の写真消去

アルバム消去

日付を変更

日付を変更

- 写真一覧 日付別表示のときのみ

アルバム名を付ける

アルバム名編集

- 写真一覧 アルバム表示のときのみ

誤消去防止の設定/解除

プロテクト設定 / 解除

- 写真一覧 アルバム表示のときのみ

選択した日付またはアルバムを既存のアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定を押す

7 コピー先のアルバムを選び、決定を押す

●プロテクト設定されたアルバムにはコピーできません。

選択した日付またはアルバムを新しいアルバムにコピーします。

6 「コピー開始」を選び、決定を押す

7 コピー終了後
決定を押す

8 「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

「はい」のときには
アルバム名を付けます。(➜116)

「いいえ」のときには
アルバムの 1 枚目の写真の撮影日が、自動的にアルバム名になります。
(撮影日情報がない場合は、「撮影 : ---- 年 -- 月 -- 日」になります)

「コピー開始」を選び、決定を押す

コピー先について
●「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」の写真はコピー先でもそれぞれ「写真一覧 日付別表示」「写真一覧 アルバム表示」にコピーされます。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

「消去」を選び、決定を押す

● BD-RE RAM 日付やアルバム内にDCF規格以外のファイルがある場合や下位フォルダがある場合は、その日付やアルバム自体は消去されません。

6 年月日を選び、[▲][▼] で設定する

7 決定を押す

●変更元の日付は残ります。不要な場合は、消去してください。
●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。

文字入力については(➜116)

●入力したアルバム名は、他の機器では表示されないことがあります。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
●プロテクトの設定は、他の機器では解除されることがあります。

お知らせ

●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。
●上位フォルダに「既存アルバムにコピー」、「新規アルバムにコピー」を実行することはできません。

写真(JPEG)を編集する(つづき)

写真単位で編集する

HDD BD-RE RAM SD

1 **を押す**

2 BD-RE RAM SD
「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定を押す

3 **「写真を見る」を選び、決定を押す**

HDD BD-RE RAM
表示方法を切り換えるには
① [サブ メニュー]を押す
② 「日付別表示へ」または「アルバム表示へ」を選び、[決定]を押す

SD 「写真一覧」が表示されます。
(➜ 手順 5 へ)

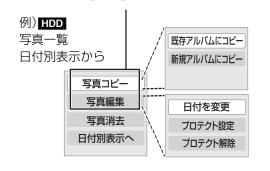
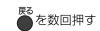
4 HDD BD-RE RAM
日付またはアルバムを選び、決定を押す

5 **写真を選び、サブメニュー S を押す**

複数の写真を選択するには
写真を選び、[青] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。
もう一度 [青] を押すと解除されます。

6 **項目を選び、決定を押す**(➜右記へ)

この項目を選んだときは、さらに項目を選んで、[決定]を押してください。

例) HDD
写真一覧
日付別表示から

項目	説明
既存のアルバムに写真をコピー 既存アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を既存のアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜90)**
新しいアルバムを作成し写真をコピー 新規アルバムにコピー HDD BD-RE RAM	選択した写真を新しいアルバムにコピーします。 **操作方法は(➜90)**
日付を変更 日付を変更 HDD BD-RE RAM ●写真一覧 日付別表示のときのみ	●変更した日付が、既存の日付の場合、その日付に写真を移動します。 ●変更した日付が、新規の日付の場合、新しい日付を作成し、写真を移動します。 **操作方法は(➜90)**
消去 写真消去	**操作方法は(➜90)**
誤消去防止の設定 / 解除 プロテクト設定 / 解除	**操作方法は(➜90)**
プリンターや写真店でプリントする枚数の設定 DPOF プリント設定 SD	カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶]で枚数を選び、決定を押す** ● が表示されます。 ●設定は他の機器で表示されない場合があります。 ●設定すると、他の機器での設定は解除されます。 **設定を解除するには** 「0枚」に設定する

前の画面に戻るには
 を押す

画面を消すには
 を数回押す

お知らせ
●コピー中や、「日付を変更」を実行中は予約録画は実行されません。

写真(JPEG)を取り込む

SD ➡ HDD

取り込んだSDカードの情報を保持しているため、同じカードから、複数回取り込むと、新たに追加された写真(JPEG)のみを取り込みます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
- SDカードを入れる。

SD

SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

以下の操作を行うと、右記の手順4に進むことができます。
①「写真」を選び、[決定]を押す
②「写真を取り込む」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- JPEG 以外の写真は取り込みできません。
- 同じ写真をもう一度取り込みたい場合は、詳細ダビング(➜94)を行ってください。
- SD カードの情報の最大保持数
  ・カード枚数:30 枚
  ・1枚のカードあたりの写真枚数:12,000枚
  上記以上になると古い情報から削除します。
- プリント枚数の設定(DPOF)は取り込みされません。
- HDD の容量や、ファイルやフォルダの数(➜156)が最大数になった場合は、途中で取り込みを中止します。
- 取り込み中は予約録画は実行されません。
- 録画や再生中に取り込みはできません。

前の画面に戻るには
戻る を押す

取り込みを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押す

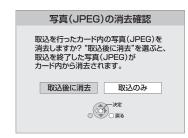
1 スタート を押す

2 「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「写真おまかせ取込」を選び、決定 を押す

4 「取込開始」を選び、決定 を押す

- **誤消去防止設定(プロテクト)を**
  していた場合　:取り込みを始めます
  していない場合:手順 5 へ

5 「取込後に消去」または「取込のみ」を選び、決定 を押す

取込後に消去:取り込みの終わった写真を SD カードから消去します。(プロテクト設定された写真は消去しません)
取込のみ　:写真は消去しません。

- 取り込んだ写真は、「写真一覧　日付別表示」に撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は作成された日を使用して分類されます。
- 「写真一覧　日付別表示」で、新たに追加された写真のある日付には、NEW を表示します。

写真(JPEG)をダビングする

HDD BD-RE RAM SD

●CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

準備

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●BD-RE、DVD-RAMまたはSDカードを入れる。

ディスクまたはSDカードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)
[戻る] を押して、画面を消してください。

例) SD

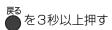
お知らせ

●ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(→156)が最大数になった場合は、途中でダビングを中止します。
●(アルバム単位のダビングの場合)ダビング元のアルバム名が入力されていないとき、ダビング先ではアルバム名の番号が変わることがあります。ダビング前にアルバム名を入力することをおすすめします。
(→90「アルバム名編集」)
●プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
●SD からダビングする場合、写真は撮影日時に基づいて日付別に分類されます。撮影日時のデータがない写真は、作成された日を使用して分類されます。
●ダビング中は予約録画は実行されません。

前の画面に戻るには

を押す

ダビングを実行中に中止するには

を3秒以上押す

詳細ダビング

ダビング方向: HDD → BD-RE RAM SD、 BD-RE RAM → HDD SD、
SD → HDD BD-RE RAM

1 スタート **を押す**

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す(→95 へ)

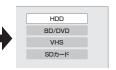
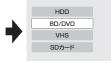
5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●HDD → BD-RE RAM 、BD-RE RAM → HDD
[写真単位(アルバム)のダビングの場合]
別のアルバムをダビング先に指定できます。

① 「アルバム選択」を選び、**[決定]** を押す
② アルバムを選び、**[決定]** を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビング先について

●HDD → BD-RE RAM 、BD-RE RAM → HDD
・[写真単位(日付)、日付単位のダビングの場合]
ダビング先:写真一覧 日付別表示
・[写真単位(アルバム)、アルバム単位のダビングの場合]
ダビング先:写真一覧 アルバム表示
●SD → HDD BD-RE RAM
ダビング先:写真一覧 日付別表示

何から何にダビング？ 1 ダビング方向	「ダビング元」を選び、決定を押す → ダビング元を選び、決定を押す → 「ダビング先」を選び、決定を押す → ダビング先を選び、決定を押す
ダビング素材の設定 2 素材・モード	「ダビング素材」を選び、決定を押す → 「写真」を選び、決定を押す ●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。
ダビングする写真を選ぶ 3 リスト作成	(下記参照)

「ダビング元」を選び、決定を押す

ダビング元を選び、決定を押す

「ダビング先」を選び、決定を押す

ダビング先を選び、決定を押す

「ダビング素材」を選び、決定を押す

「写真」を選び、決定を押す

●録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

HDD **BD-RE** **RAM**
「ダビング選択」を選び、決定を押す

HDD **BD-RE** **RAM**
ダビングする単位を選び、決定を押す

「新規登録」を選び、決定を押す

ダビングする写真、日付、アルバムを登録する
(➜ 下記へ)

● **SD** からダビングする場合は、「ダビング選択」はできません。写真単位で登録します。

写真単位(日付 / アルバム)で登録するときは

写真を選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。

すべてを選んだあと、決定を押す

HDD **BD-RE** **RAM** **別の日付/アルバムの写真を選ぶには**

① [サブ メニュー]を押す
② 「日付選択」または「アルバム選択」を選び、[決定]を押す
 · **BD-RE** **RAM** 上位フォルダを切り換えるには
 (➜ 下記)
③ [▲][▼][◄][►]で日付またはアルバムを選び、[決定]を押す

HDD **BD-RE** **RAM** **日付単位 / アルバム単位で登録するときは**

日付またはアルバムを選び、青を押す

●☑が表示されます。操作を繰り返します。

すべてを選んだあと、決定を押す

●別々の日付やアルバムの写真を同じリストに登録することはできません。
●登録後は、ダビングする単位を切り換えることはできません。

ダビングの便利な機能(➜69)

[◄]を押す
(➜94 手順4へ戻る)

上位フォルダを切り換えるには	
BD-RE **RAM**(本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ) ●アルバム表示のときのみ	① [サブ メニュー]を押す ② 「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す ③ [◄][►]でフォルダを選び、[決定]を押す ●上位フォルダの異なるアルバムを同じリストに登録することはできません。

音楽 CD を再生する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

音楽CDを入れる

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

[▲][▼]で再生したい曲を選び、[決定]を押す

画面を消すには

戻る を数回押す(画面を消すと、音楽の再生は停止します)

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

再生中の曲(♪を表示)

音楽 CD　曲一覧　▶ 0.09　4.09　トラック1

曲数 10曲/総演奏時間 44分24秒

No	曲名	演奏時間
♪ 01	トラック1	4分 9秒
02	トラック2	3分58秒
03	トラック3	3分56秒
04	トラック4	4分53秒
05	トラック5	4分52秒
06	トラック6	4分51秒
07	トラック7	5分 4秒
08	トラック8	4分45秒
09	トラック9	4分 5秒
10	トラック10	3分55秒

再生 戻る 青 写真を表示

お知らせ

●ダビング中は再生できません。
●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜125)が「入」の場合、再生中に、約10分以上本機の操作を行わなかったときは、写真のスライドショー画面が表示されます。([戻る] を押すと、元の画面に戻ります)

再生中のいろいろな操作

操作	方法	備考
停止	[■停止] **を押す**	
一時停止	[II一時停止] **を押す**	●もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。
早送り・早戻し	[◀◀ 巻戻し サーチ/スロー] **または** [▶▶ 早送り スロー/サーチ] **を押す**	●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。 ●音声は出ません。
スキップ	再生中または一時停止中に [I◀◀ スキップ 頭出し] **または** [▶▶I スキップ 頭出し] **を押す**	●押した回数だけ曲を飛び越します。
リピート ランダム	**操作方法**(➜52)	
リ.マスター ナイトサラウンド	**操作方法**(➜53)	

写真のスライドショーの表示

音楽再生中に、[青]を押す

●スライドショーが始まります。
●写真の表示間隔は一定になり、リピート再生します。

スライドショーを停止するには
[戻る]を押す
（音楽を停止したときも、停止します）

表示させる写真の変更

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ内蔵されているサンプル写真または HDD の「アルバム」の写真から選ぶことができます。
「アルバム」はアルバム編集で作成する必要があります。(➜90)

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー]を押す**
② **[▲][▼]で「写真アルバム選択」を選び、[決定]を押す**
③ **[▲][▼]でアルバムなどを選び、[決定]を押す**

HDD の「アルバム」を表示
●写真が 1 枚もないアルバムは表示されません。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

1 音楽再生中に、[サブメニュー S]を押す
2 [▲][▼]で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定]を押す

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなりますので、操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るようにしてください。

acTVila（アクトビラ）を利用する

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト(http://actvila.jp/)**をご覧ください。**
また、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/actvila/)**でも紹介しています。**(2009 年 6 月現在)

acTVilaとは
- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビのしくみです。
- 本機は「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」「アクトビラ ビデオ・ダウンロード」のコンテンツをお楽しみいただけます。
- アクトビラのポータルサイトの利用条件については、別途ポータルサイト(➜ 下記手順 1)にてご確認ください。
- アクトビラでは、テレビ向けのコンテンツ(情報やデータ)を見ることができます。
- **アクトビラ機能を使用するためには、ブロードバンド環境が必要になります。**
- 予約録画の開始時刻になると、アクトビラは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

準備
- ネットワーク接続と設定をする。(➜ 準備編 14、準備編 24)
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)

1 アクトビラ を押す

- アクトビラのポータルサイト画面が表示されます。
- 初めてお使いになるときや、長期間ポータルサイトを使用しなかったときは、アクトビラのご案内画面が表示されます。画面の指示に従ってお使いください。(送信される情報には、郵便番号や本機の識別 ID が含まれます)

例) ポータルサイトの画面例

2 見たい項目を選び、決定 を押す

- この操作を繰り返して、見たい情報のホームページを表示させてください。

ポータルサイトに戻るには

 を押す

アクトビラを終了するには

 を押す

■ ホームページへの情報登録について

アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

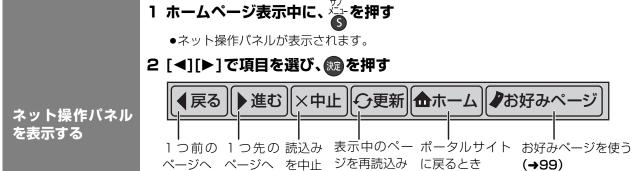
ネット操作パネルを表示する

1 ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す

- ネット操作パネルが表示されます。

2 [◀][▶]で項目を選び、決定 を押す

ネット操作パネルの表示を消すには

サブメニュー S を押す

お好みページを使う	気に入ったホームページを「お好みページ」に登録する	**1 登録したいホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、決定を押す** **3 青を押す** **4 内容を確認し、決定を押す** タイトル:○○○○○○ URL:http:○○○○○○○○○○○○○ をお好みページに登録しました。 確認 ●「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。
	登録したホームページを見る	**1 ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、決定を押す** **3 [▲][▼] でタイトルを選び、決定を押す** ●登録したホームページが、提供者の都合によりなくなったり、アドレスが変更された場合には、表示できません。
	「お好みページ」を削除する	**1 ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す** **2 [◀][▶]で「お好みページ」を選び、決定を押す** **3 [▲][▼] で削除したいタイトルを選ぶ** **4 黄を押す** **5 [◀][▶]で「はい」を選び、決定を押す** ●「お好みページ」は削除されます。

お知らせ

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
制限機能を使用する場合は、放送設定「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[スタート]**を押す
② **[▲][▼]** で「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
③ **[▲][▼]** で「放送設定」を選び、**[決定]**を押す
④ **[▲][▼]** で「デジタル放送·再生」を選び、**[決定]**を押す
⑤ **[▲][▼]** で「制限項目設定」を選び、**[決定]**を押す
⑥ **[1]** ～ **[10]** で暗証番号を設定する
⑦ **[▲][▼]** で「ブラウザ制限」を選び、**[◀][▶]** で「する」を選ぶ

●アクトビラを利用するには、手順⑥で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila（アクトビラ）を利用する（つづき）

アクトビラの動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。
●動画コンテンツ購入の課金方法はアクトビラのページでご確認ください。

動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロード中に点灯

●電源切時でもダウンロードは実行されます。（本体表示窓に が点灯）
また、本機から動作音がしたり、内部冷却用ファンが回ったりしますが、故障ではありません。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・ネットワークを利用する機能を使用中　など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。
●ダウンロード後は、番組の情報 (視聴期限など) を確認してください。(➜46「内容確認」)

ダウンロードを中断するには
ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。
① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「ダウンロード設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「ダウンロード一時停止」を選び、[決定] を押す
④ [◀][▶] で「一時停止」を選び、[決定] を押す
●ダウンロードを再開するには、手順③で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は
ダウンロード履歴を確認してください。(➜118「ダウンロード履歴」)

ダウンロードした番組を再生する

1 [録画一覧] を押す

2 [◀][▶] で「ダウンロード」ラベルを選び、[▲][▼] で番組を選び、[決定] を押す

ダウンロードした番組が表示されない場合
初期設定「ダウンロード番組視聴制限」(➜124) が「無制限」以外に設定されている場合、表示されない番組があります。以下の操作で表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「ダウンロード設定」を選び、[決定] を押す
③ [▲][▼] で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
④ 暗証番号 (➜124) を入力する

3 視聴期限のある番組の場合：
[◀][▶] で「再生する」を選び、[決定] を押す

暗証番号の入力画面が表示されたら（➜124 初期設定「ダウンロード番組視聴制限」）
再生中のいろいろな操作（➜48）
再生中に音声を切り換えるには（➜52 再生設定「音声情報」/「信号切換」）

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から数えられます。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●ダウンロード中の番組を再生する場合、ダウンロードが終了していない場面に追いつくと、再生を終了します。（ダウンロードを一時停止中の番組は再生できません）
●番組によっては、番組の先頭などでスキップや早送りを禁止している番組もあります。
●再生中に字幕の切り換えはできません。
●番組は自動的にプロテクト設定され、編集などはできません。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする	アクトビラからダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。 ●番組によっては、ダビングできるディスクに制限のある場合やダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。 **かんたんダビング**(➜66)**や詳細ダビング**(➜70)**でダビングを行う** ☞ **ダウンロードした番組が表示されない場合** **初期設定**「ダウンロード番組視聴制限」(➜124)が「無制限」以外に設定されている場合、表示されない番組があります。以下の操作で表示することができます。 ① [サブ メニュー] を押す ② [▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す ③ 暗証番号(➜124)を入力する ●DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。 ●ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。

アクトビラに関する質問

Q(質問)	A(回答)
アクトビラに料金はかかる?	アクトビラのご利用には料金はかかりません。ただし、一部有料のサービスもあります。また、光ファイバー(FTTH) などの回線利用料やプロバイダーとの契約･使用料は別途必要です。
ホームページアドレスを入力して、ホームページを見ることはできる?	本機ではできません。
アクトビラでEメールは使える?	本機ではできません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
- 本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています。
  ビエラリンク (HDMI)Ver.4 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2008 年 12 月現在）

接続

本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ（ビエラ）をHDMIケーブルで接続する（➜準備編 4）
☞ **アンプと接続する場合は（➜準備編 10）**
- 当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  品番：RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

設定

① **初期設定「ビエラリンク制御」（➜126）を「入」にする**（お買い上げ時の設定は「入」）
② **初期設定「ビエラリンク録画待機」（➜126）を「入」にする**
- **初期設定**「クイックスタート」（**➜122）**は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作をすばやく行えます。
  (待機時消費電力は増えます)

③ **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する**
④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

☞ **ビエラリンク (HDMI) を使わない場合は**
初期設定「ビエラリンク制御」（**➜126**）を「切」にする

お知らせ
- **初期設定**「ビエラリンク録画待機」**（➜126）**が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。そのため、本機の電源を切って 10 分以上たってもテレビの電源が自動的に切れないときがあります。

ビエラリンク (HDMI) に関する質問

Q (質問)		A (回答)
お使いのテレビやアンプがビエラリンク(HDMI)対応かわからないときは？		機器にビエラリンク (HDMI)のロゴマーク(➜右記)が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。 VIERA Link
テレビ(ビエラ)側から録画(「見ている番組を録画」など)や録画予約、番組キープをしたとき		
	録画モードや録画先は？	●録画(「見ている番組を録画」など)： ・本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画します。 ●録画予約 / 番組キープ： ・デジタル放送：HDDに「DR」モードで録画 ・アナログ放送：HDDに「SP」モードで録画 ●録画モードや録画先を変更して予約したい場合は、本機のスタート画面から予約してください。
	録画予約の登録の方法は？	●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に "ACCEPT" が表示されます。 ●本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。
	録画予約を取り消すときは？	●「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。
	録画ができないときは？	●すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。 ●本機に契約されたB-CASカードが挿入されていないとき。
ビエラリンク(HDMI)が働かなくなった場合は？		●設定を確かめてください。[➜148「ビエラリンク (HDMI) が働かない」]

ビエラリンク (HDMI) のバージョンでの違い

本機と接続したテレビ(ビエラ)のビエラリンク (HDMI) のバージョンによって、できる機能とできない機能があります。
●テレビやアンプのバージョンについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続したテレビ / 機能	ビエラリンク (HDMI) に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.2 に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.3 に対応	ビエラリンク (HDMI) Ver.4 に対応
自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える	○	○	○	○
自動的に本機の電源を切る	○	○	○	○
テレビのリモコンで本機の操作	○	○	○	○
テレビの電源を切って音楽の再生を続ける ●ビエラリンク (HDMI) 対応のアンプと接続時	×	○	○	○
自動的に適したサウンドにする [番組ぴったりサウンド(オートサウンド連携)] ●ビエラリンク (HDMI)Ver.3以降対応のアンプと接続時	×	×	○	○
番組の視聴を一時停止する (番組キープ)	×	×	○	○
テレビから設置情報を取り込む	×	○	○	○
テレビの電源を切っている間、本機の待機電力を少なくする (ECO スタンバイ)	×	×	×	○

●詳しい操作方法は **104 ～ 105 ページ**をご覧ください。

ビエラリンク (HDMI) を使う（つづき）

表示マークについて

（本機のリモコン）：本機のリモコンで操作できます。
（テレビのリモコン）：テレビのリモコンで操作できます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える

●テレビの電源が待機状態のときのみ

（本機のリモコン）

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時	▶ 再生							
本機電源切時								

自動的に本機の電源を切る

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
（ダビング、ファイナライズ、消去、**[録画●]**を押して録画などの実行中は切れません）
ECO スタンバイ(**➜105**)が有効な場合、自動的に本機の電源が切れると本体表示窓はすべて消灯します。
ビエラリンク (HDMI)に対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。
●ビエラリンク（HDMI）Ver.4 対応のビエラと接続している場合、テレビ側の「こまめにオフ」の設定が有効なとき、テレビの入力を本機と接続した HDMI 入力以外に切り換えると、自動的に本機の電源が切れます。（詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください）

テレビのリモコンで本機の操作

（テレビのリモコン）

テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビのリモコンを使って、ディーガのスタート画面を表示させる

●テレビによって、ディーガの**スタート画面**を表示させる方法や画面は異なります。（「ディーガの操作一覧」を選んで表示させる場合もあります）
●自動的に本機の電源も入ります。

☞ **スタート画面について(➜158)**

スタート画面

2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、[決定] を押す

「再生操作パネル」を使って操作する

「再生操作パネル」表示中はテレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。

[サブ メニュー] を押す

●「再生操作パネル」が表示されます。
●**[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]** で操作することができます。

再生操作パネル
例）番組再生時
30 秒送り / ◀◀早戻し / 一時停止 / 早送り▶▶ / ■停止 / サブメニュー / 表示終了

●音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

☞ **音楽の再生を止める**
[戻る] を数回押す
テレビのリモコンにディーガの**停止ボタン**がある場合は、ディーガに向けて**停止ボタン**を押して再生を止めることができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）

☞ **操作方法(➜97)**

☞ **テレビのリモコンで操作できるボタンは？**
[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]と色ボタン
●ビエラリンク（HDMI）Ver.4 対応のビエラと接続している場合、上記以外のボタンでも操作することができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

自動的に適したサウンドにする[番組ぴったりサウンド(オートサウンド連携)] 本機のリモコン テレビのリモコン	ビエラリンク (HDMI)Ver.3 以降対応のビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。 ●以下の場合に働きます。 ・デジタル放送の番組を視聴中または再生中(RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) を除く) ・ BD-V DVD-V CD を再生中 ●他の機器で記録したディスクでは働きません。 **設定を有効にするには** ●**初期設定**「オートサウンド連携」**(➜126)**を「入」にする ●接続したテレビでは以下の設定が必要です。 ・テレビの音声がアンプから出るようにする ・サウンドを番組情報に応じて自動的に切り換えるモードにする [操作例: **[サウンド]**を押し、「オート」(自動的に切り換えるモード)にする] 詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。
番組の視聴を一時停止する(番組キープ) テレビのリモコン	ビエラリンク (HDMI)Ver.3 以降対応のビエラと接続している場合、視聴中の番組を一時停止して、あとから続きを視聴することができます。 テレビの操作はテレビの取扱説明書をご覧ください。 **1** 視聴を一時停止したいとき **テレビのリモコンを使って、「番組キープ」を実行する** ●テレビによって、「番組キープ」を実行させる方法は異なります。 例) を押す ●テレビの入力は、HDMI 入力に切り換わります。 ●番組キープ中は、番組を HDD に一時的に記録します。(番組キープ終了後は削除されます) **2** 続きを見るとき **「再生操作パネル」表示中に、[決定](再生)を押す** ●一時停止したところから再生が始まります。 ●**[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]**で操作することができます。 **「再生操作パネル」が表示されていないときは** **[サブ メニュー]** を押す **番組キープを終了するには** ① 「再生操作パネル」表示中に、**[▼]**(停止)を押す ② **[◀][▶]** で「はい」を選び、**[決定]** を押す **お知らせ** ●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。 ●以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。 ・予約録画開始時刻になったとき ・番組キープが8時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき ●本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。 ●本機に放送会社と契約した B-CAS カードが挿入されていない場合、番組キープすることはできません。 ●早送り再生中に、再生位置が現在放送中の場面に追いつくと通常再生に戻ります。 ●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」**(➜125)**が「入」の場合、一時停止中に、約10分以上操作を行わなかったときは、スクリーンセーバーが表示されます。(**[戻る]** を押すと、元の画面に戻ります)
テレビの電源を切っている間、本機の待機電力を少なくする(ECO スタンバイ) テレビのリモコン	ビエラリンク (HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。 ●ビエラの電源「切」時には待機時消費電力を少なくし、ビエラの電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態に設定します。[**初期設定**「クイックスタート」**(➜122)**が「入」時] **設定を有効にするには** ●**初期設定**「ECO スタンバイ」**(➜126)**を「入」にする ●接続したテレビの「ECO スタンバイ」の設定を有効にする ・詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

記載していない機能については、接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

本機では、HDD に録画した番組を SD カードに転送して、携帯電話などのモバイル機器で楽しむことができます。
モバイル機器へ持ち出す流れは以下のようになります。

作 成

モバイル機器へ持ち出すための番組を作成します。
作成方法は2種類あります。

- **予約録画時に作成（➜ 下記）**
- **録画した番組から作成（➜107）**

➡

転 送

SDカードへ持ち出し番組を転送します。
転送方法は2種類あります。

- **かんたん転送（➜108）**
- **持ち出せる番組一覧から転送（➜108）**

➡

再 生

モバイル機器で再生します。

- 再生方法については、モバイル機器の説明書をご覧ください。

対応機器については（➜131）

持ち出し番組について

- 持ち出し番組は、通常の番組に付属しており、持ち出し番組だけを作成することはできません。
- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（アクトビラからダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
- 通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（アクトビラからダウンロードした番組を除く）
- 本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

持ち出し番組を作成する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定

HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。録画する放送や入力によって、作成方法は異なります。

- **地上デジタル放送：**
  通常の番組の録画時に、ワンセグ放送（➜152）の番組を同時に録画して持ち出し番組を作成します。
  ワンセグ放送が行われていない場合は、電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。
- **BS・CS・地上アナログ放送や外部入力：**
  通常の番組の録画終了後、本機の電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。

番組予約画面（➜22 手順 5）、詳細設定画面（➜30 手順 1）、または時間指定予約画面（➜33 手順 3）で

1 [▲][▼]で「持ち出し番組の設定」を選び、決定を押す

2 [▲][▼]で「持ち出し番組の作成」を選び、[◀][▶]で「する」に設定する

3 [▲][▼]で「かんたん転送の登録」を選び、[◀][▶]で設定する

- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜108）で自動的に転送することができます。

お知らせ

- ワンセグ放送を同時に録画して持ち出し番組を作成する場合、以下のような理由で、持ち出し番組が正しく作成されない場合があります。「録画した番組から作成する」（➜107）で作り直すことをおすすめします。
  - ・地上デジタル放送と放送内容が異なる
  - ・地上デジタル放送と開始時刻や終了時刻が多少ずれる
- 地上デジタル放送の場合、連続録画時間が8時間を超えると、超えた分の持ち出し番組は録画終了後に作成します。
- 複数の音声や字幕を含む番組から持ち出し番組を作成する場合、「信号設定」（➜31）で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成

HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

1 [録画一覧]を押す

2 [▲][▼][◄][►]で作成する番組を選び、[緑]を押す

3 [▲][▼] で「持ち出し番組の作成」を選び、[決定]を押す

●すでに持ち出し番組が作成されている場合、「作り直す」を選び、次に進んでください。(この場合、作成済みの持ち出し番組は消去されます)

4 [▲][▼] で「かんたん転送の登録」を選び、[◄][►] で設定する

●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(➜108)で自動的に転送することができます。

持ち出し番組の作成
選択された番組の持ち出し番組を作成します。
かんたん転送の登録 ◄ する ►
開始方法 電源[切]後
作成する キャンセル
戻る

5 [▲][▼] で「開始方法」を選び、[◄][►] で設定する

●**すぐに**：下記手順7の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●**電源 [切] 後**：電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

6 [▲][▼][◄][►]で「作成する」を選び、[決定]を押す

7 「すぐに」作成を開始する場合：

[◄][►]で「開始」を選び、[決定]を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を3秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

[決定]を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順3のあと、[◄][►] で「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す
・**設定変更**：設定を変更します。(➜手順4へ)
・**作成取消**：設定を取り消します。

お知らせ

●アクトビラからダウンロードした番組から持ち出し番組を作成する場合：
・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
・「かんたん転送の登録」を「する」または「開始方法」を「電源[切]後」に設定して作成することはできません。
・ネットワークに接続した状態で作成してください。
●ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
●持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
・二重音声　：「二重放送音声記録」(➜125)
・マルチ音声：**再生設定**「信号切換」の「音声」(➜52)
・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
・字幕　　　：**再生設定**「信号切換」の「字幕」(➜52)
(「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の**再生設定**「信号切換」の設定に従い作成されます)

作成が終了しているか確認するには

持ち出せる番組一覧(➜108)で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（つづき）

持ち出し番組を転送する

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）

かんたん転送

あらかじめ「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
かんたん転送に登録されている番組は、持ち出せる番組一覧（➔ **下記**）で確認することができます。

●「かんたん転送」の登録は、予約時（➔**22**、**30**、**33**）、作成時（➔**107**）、作成後（➔**109**）に行うことができます。

1 SD カードを入れる

2 [▲][▼]で「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す

●転送を開始します。
●以下の場合、右記のような画面が表示されます。
・ダビングできる残り可能回数が 1 回の番組が含まれる場合
・転送先の容量が不足している場合
・転送先の番組数が 99 を超える場合
[◄][►]で「確認する」を選び、[決定] を押すと、転送する番組の一覧を表示します。

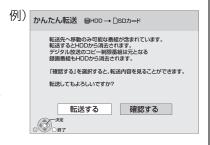
転送内容を変更するには
[◄][►] で「転送内容を変更する」を選び、[決定] を押す
（番組の取り消しは [黄] を押して行うことができます）

例）

持ち出せる番組一覧から転送する

1 SD カードを入れる

2 [▲][▼]で「持ち出し番組」を選び、決定を押す

3 [▲][▼]で「持ち出し番組を転送する」を選び、決定を押す

SDカード
写真
撮影ビデオ(AVCHD)
ビデオ(MPEG2)取込
持ち出し番組
持ち出し番組のかんたん転送

4 [▲][▼]で番組を選び、青を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

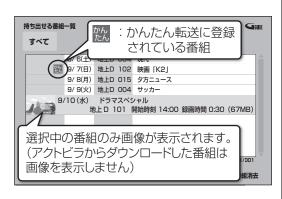
選択を取り消すには
[▲][▼] で番組を選び、[青] を押す

5 すべてを選んだあと、決定を押す

6 [◄][►] で「転送を開始する」を選び、決定を押す

転送内容を変更するには
[◄][►] で「転送内容を変更する」を選び、[決定] を押す
（番組の取り消しは [黄] を、番組の並び替えは [緑] を押して行うことができます）

転送を中止するには

戻る を 3 秒以上押す

持ち出し番組の確認と編集	「持ち出せる番組 一覧から転送する」(➜108)手順 3 のあと **1 [▲][▼] で番組を選び、サブメニュー(S)を押す** **2 [▲][▼] で項目を選び、(決定)を押す**(➜ 下記へ)	
	転送	番組を転送します。(➜108 手順 6 へ)
	番組消去	番組を消去します。
	かんたん転送の設定	「かんたん転送」(➜108)の登録をします。 (かんたん が表示されます)
	かんたん転送の解除	「かんたん転送」(➜108)の登録を解除します。
	視聴制限一時解除	●ダウンロード番組視聴制限(➜124)で設定された視聴制限を解除します。画面の指示に従って暗証番号(4けた)を入力してください。

記録可能時間の目安

SDカード								
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
約 41 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間 39 分	約 5 時間 20 分	約 10 時間 51 分	約 21 時間 19 分	約 43 時間 24 分	約 87 時間 20 分	約 175 時間 12 分

本機では、情報量の多い番組(ビットレート 412 kbps) を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数:99** [ハイビジョン動画(AVCHD) 以外の動画を含む]

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

●通常の番組のダビング残り可能回数分だけ、持ち出し番組を転送することができます。通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。

● 1 表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組·持ち出し番組はHDDから消去されます。

ダビングの残り可能回数は**同じ**

●「かんたん転送」または持ち出せる番組一覧から転送した番組は、「かんたん転送」の登録は解除されます。

●選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。

●転送中は以下のようになります。
- ·通常の番組の再生はできません。
- ·録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。

●ディスクに予約録画中は、転送できません。

●録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。

●転送した番組は、再生停止位置(➜48「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(➜62)を通常の番組から引き継ぎます。
- ·アクトビラからダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
- ·ワンセグ放送の番組を同時録画して作成した持ち出し番組は転送時のチャプターマークを、それ以外の持ち出し番組は作成時のチャプターマークを引き継ぎます。
- ·位置は多少ずれる場合があります。また、再生機器によっては、正しく働かない場合があります。

●再生する機器によっては、字幕の表示ができない場合があります。

●通常の番組がプロテクト設定(➜58)されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（つづき）

転送した番組を確認・消去する

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
●SD カードを入れる。
右記画面が表示されます。
以下の操作を行うと下記の手順 4 に進むことができます。
①[▲][▼] で「持ち出し番組」を選び、[決定] を押す
②[▲][▼] で「持ち出し番組を確認する」を選び、[決定] を押す

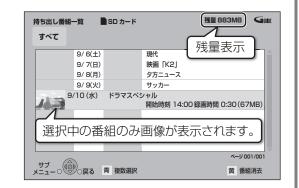
1 [スタート] を押す

2 [▲][▼]で「SD カード」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「持ち出した番組を確認」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で番組を選ぶ

番組の内容を確認するには
① [サブ メニュー] を押す
② [▲][▼] で「内容確認」を選び、[決定] を押す

持ち出し番組を消去するには
① [黄] を押す
② [◀][▶] で「消去」を選び、[決定] を押す
●本機以外で記録された持ち出し番組には、プロテクト設定されている場合があります。その場合、本機では消去できません。

●残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。

自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンまたはブラウザ機能を持つテレビで、本機の遠隔操作ができます。

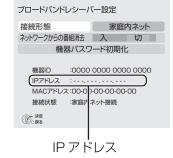
携帯電話や外出先のパソコンから操作したいときは(➜ 準備編 42)
同こんのチラシをご覧ください。

準備 ●ネットワーク接続と設定をする。(➜ 準備編 14、準備編 24)
●ブロードバンドレシーバーの設定をする。(➜127)
・「接続形態」は「家庭内ネット」または「インターネット」にしてください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機のIPアドレス(➜ 準備編 42、手順 5 で確認)をアドレス欄に入力する

●ログイン画面が表示されます。
●ブラウザ機能を持つテレビ(アクトビラ)でのIPアドレス入力については、ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

IP アドレス

ログイン画面が表示されないときは (Internet Explorer® 6.0 の場合)
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。
以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

機器パスワードを忘れたときは
(➜147「機器パスワードを忘れた」)

3 操作内容を選ぶ

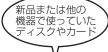
●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
●消去する場合は、**初期設定**「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。(➜127)
●ブラウザ機能を持つテレビ(アクトビラ)では、番組名入力はできません。

レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など

ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

フォーマットする

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できる
ようになります。

DVD の場合：
フォーマットすることによって、ディスクの記録方式を設定できます。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む)
すべて消去してよいか確認してから行ってください。
(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます)

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

●デジタル放送を記録した DVD を他の機器で再生する場合は、フォーマットする前に **81 ページ**をご覧ください。

ディスクは？	記録方式は？	フォーマットが必要か？	備考
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。 どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	— (ディスクによる)	市販のディスクでフォーマット済みの場合は、フォーマットを行わずに記録できます。 ●フォーマットが必要な場合は、「標準画質で記録(VR 方式)」を選んで、フォーマットしてください。
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-R -R DL	VR 方式	必要	「標準画質で記録(VR 方式)」
	ビデオ方式	不要	フォーマットせずに記録できます。
	AVCREC 方式	必要	「ハイビジョン画質で記録(AVCREC 方式)」
-RW	VR 方式	必要	「VR 方式」
	ビデオ方式	必要	「ビデオ方式」
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

それぞれの記録方式の特徴は？(➜12)

お知らせ

● -R -R DL 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(**➜114**)を行うと記録方式を変更できません。
● RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
●CD-R/RW、記録済みのBD-R、DVD-R、DVD-R DL はフォーマットできません。
● HDD フォーマットは、**初期設定**「HDD のフォーマット」(**➜124**)で行ってください。

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW SD

準備 ●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(「HDMI」など)
●ディスクまたはSDカードを入れる。

1 スタート を押す

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「BD 管理」、「DVD管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R、-R DL を入れた場合、下記「DVD-R のフォーマット」手順 4 へ

4 フォーマットの項目を選び、決定 を押す
(➜下記へ)

例) RAM

BD-RE

BD-RE の フォーマット

BD-R

●未使用のディスクのみ

BD-R の フォーマット

5 「はい」を選び、決定 を押す

6 「実行」を選び、決定 を押す

DVD-RAM

DVD-RAM の フォーマット

ディスクのフォーマット
記録方式を選択してください。
ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)
標準画質で記録(VR方式)
キャンセル

5 記録方式(➜112)を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

7 「実行」を選び、決定 を押す

DVD-R
DVD-R DL

●未使用のディスクのみ

DVD-R の フォーマット

ディスクのフォーマット
記録方式を選択してください。
ハイビジョン画質で記録(AVCREC方式)
標準画質で記録(VR方式)
標準画質で記録(ビデオ方式)

4 記録方式(➜112)を選び、決定 を押す

5 「はい」を選び、決定 を押す

6 「実行」を選び、決定 を押す

●フォーマットせずに記録した場合、記録方式はビデオ方式になります。

DVD-RW

DVD-RW の フォーマット

5 記録方式(➜112)を選び、決定 を押す

6 「実行」を選び、決定 を押す

SD カード

カードの フォーマット

5 「はい」を選び、決定 を押す

6 「実行」を選び、決定 を押す

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

お知らせ

●フォーマットには通常は数分(RAM 最大約70分)かかります。
RAM -RW(VR) 2分以上かかる場合のみ [戻る] を押すと中止できます。
●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がかかったり、できない場合があります。
●SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SDカードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。

前の画面に戻るには

画面を消すには

ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

●テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。（「HDMI」など）
●ディスクを入れる。

1

を押す

2 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定を押す

3 「BD 管理」または「DVD管理」を選び、決定を押す

4 操作したい項目を選び、決定を押す
（➜下記へ）

例）RAM

ディスクに名前を付ける

ディスク名入力
BD-RE BD-R RAM -R -R DL -RW

文字入力については（➜116）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

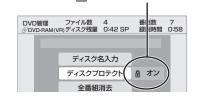
-R(V) -R DL(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

5 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組の消去

全番組消去
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR) -RW(VR)

実行すると元に戻すことはできません。

例）RAM

全番組消去
ディスクに録画されている番組をすべて消去します。
全番組消去を行いますか?
はい　いいえ

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
●プロテクトを設定した番組がある場合は、消去できません。
●BD-RE RAM 写真は消去されません。
●BD-R -R(AVCREC) -R(VR) -R DL(AVCREC) -R DL(VR)
消去しても残量は増えません。

前の画面に戻るには

を押す

画面を消すには

を数回押す

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機で記録したディスクを他の機器で再生する場合

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

114ページ手順1～4のあとに操作します。

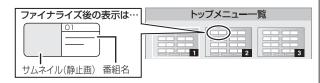
メニュー画面の背景の設定

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

5 お好みの背景を選び、決定を押す

●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(➜60「サムネイル変更」)

再生の始まりかたの設定

ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

5 「トップメニュー」または「タイトル1」を選び、決定を押す

トップメニュー :番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル1 :先頭の番組から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

BD/DVD機器で再生できるようにする

他のDVD機器再生(ファイナライズ)

-R -R DL -RW

他のBD機器再生(ファイナライズ)

BD-R

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

●ファイナライズは、数分から最大約60分かかります。(実行中は中止できません)
●高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大約4倍)

他のDVD機器再生(ファイナライズ)
ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになります。
ファイナライズ後は再生専用となり、録画や編集等ができなくなります。
ファイナライズを行いますか?
はい いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

●再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
・-RW(V) フォーマット(➜112)すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
・-RW(VR)「ファイナライズ解除」(➜ 下記)を行うと、記録や編集ができます。

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。

ファイナライズの解除

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。
●-RW(V) は解除できません。
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

5 「はい」を選び、決定を押す

6 「実行」を選び、決定を押す

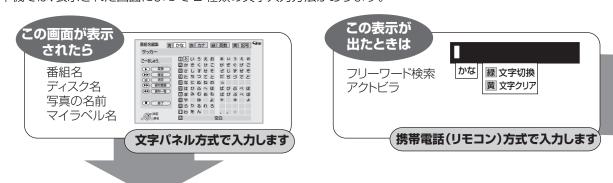
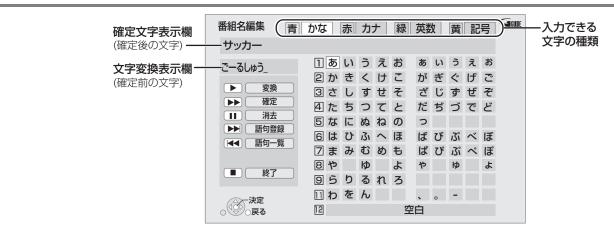
前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する（番組名、ディスク名、マイラベル名、写真の名前を入力するとき）

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選び、決定 を押す
- 漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

2 [▲][▼][◀][▶]で入力する文字を選び、決定 を押す
- この手順を繰り返し、文字を入力します。

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 [◀][▶]で「保存」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]、[12]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

1 **[3]を押す**
- 「さ」行に移動します。

2 **[3]を2回押し、[決定]を押す**
- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する	[▶▶] を押す
ひらがなを漢字変換する	[▶ 再生] を押して[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す ●[戻る]を押すと、入力画面に戻ります。 ●JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能
文字を消す	[❚❚ 一時停止] を押す
よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去	**語句を登録する** ① 語句を入力したあと、[▶▶❘] を押す ② [◀][▶] で「登録」を選び、[決定]を押す **語句を呼び出す** ① [❘◀◀] を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[決定]を押す **語句の消去** ① [❘◀◀] を押す ② [▲][▼][◀][▶] で語句を選び、[サブ メニュー]を押す ③ [▲][▼]で「語句消去」を選び、[決定]を押す ④ [◀][▶] で「消去」を選び、[決定]を押す

●**入力できる文字数について（➜157）**

携帯電話(リモコンボタン)方式で文字入力する(フリーワード検索、アクトビラで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)

1 [1]～[12](ふた内部)で文字を入力する

例)「えいが」と入力するとき

[1]	▶	[1]	[2]	[10]
4回押す(え)	1回押す	2回押す(い)	1回押す(か)	1回押す(゛)

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜ 下記)

漢字に変換するには

[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
潁娃が
英が
瑛が

2 [決定]を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ― カーソル

3 [◀][▶]で「登録」を選び、[決定]を押す

文字の種類を変換する	[緑]を押して文字の種類を選び、[決定]を押す ●[緑]を押すごとに、(かな → カナ → 英数 → 数字)に切り換わります。 ●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。
同じボタンで続けて入力する	[▶]でカーソルを右に移動させる 例)「あい」と入力する場合：[1][▶][1][1]の順に押す
文節を分けて変換する	例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合： ① 「えいが」と入力して、[▼]を押す(映画) ② [◀]を押して「えい」だけを選ぶ(えいが) ③ [▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す(映が)
記号を入力する	① “きごう”と入力する ② [▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す
文字を追加する	[◀][▶]でカーソルを移動させたあと、文字を入力する (カーソルの左に文字が追加されます)
文字を消す	[◀][▶]でカーソルを移動させたあと、[黄]を押す(カーソルの文字が削除されます)

携帯電話方式での入力文字一覧表

ボタン ＼ 入力モード	かな	カナ	英数	数字
[1]	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ˜ _ 1	1
[2]	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
[3]	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
[4]	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
[5]	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
[6]	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
[7]	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
[8]	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
[9]	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
[10]	、 。 ? ! ・ ( ) 0	、 。 ? ! ・ ( ) 0	ー , ; ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
[11]	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
[12]	改行	改行	改行	#

●ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。(例:「い」を入力するときは [1] を 2 回押す)
●フリーワード検索では、英数で文字入力した場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
●濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

●入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
●BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

いろいろな情報を見る(メール/情報)

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール/情報の基本操作

1 [スタート] を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で項目を選び、[決定]を押す

メール/情報
放送メール
ダウンロード履歴
双方向通信一覧
B-CASカード
ID表示
ボード
決定
戻る

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[戻る] を数回押す

項目	内容
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ(最大31通まで保存)や、本機の機能向上のためのダウンロード情報(最新の1通のみ保存)などがあります。 **[▲][▼]で確認したいメールを選び、[決定]を押す** ●ダウンロード情報が届いたときは、画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約5分前には、電源を切っておいてください。 ※ ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行われます。 **新情報のダウンロード方式を設定するには(➜準備編 39)** ●ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。 ●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。 ●メールの送信や返信はできません。
ダウンロード履歴	アクトビラでダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。 **表示される履歴の種別** ●「取得失敗」 :ダウンロードに失敗した番組(アクトビラで再度ダウンロードの操作が必要です) ●「未取得」 :HDD の番組数がいっぱいでダウンロードできなかった番組 ●「消去済」 :録画一覧から消去された番組 **履歴を削除するには** ① [▲][▼]で番組を選び、[サブ メニュー]を押す ② [▲][▼]で「履歴削除」を選び、[決定] を押す **表示されていない番組を表示するには** ① [サブ メニュー]を押す ② [▲][▼]で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す ③ 暗証番号(**➜124 初期設定「ダウンロード番組視聴制限」**)を入力する
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。
B-CASカード	契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CASカードの番号が必要な場合に使用します。
ID表示	本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。 **その他の情報を見るには** ●[青]: 本機のソフト情報を表示 ●[赤]: データ放送時のルート証明書情報を表示
ボード	110度CSデジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 ① [▲][▼]で「CS1ボード」または「CS2ボード」を選び、[決定]を押す ② [▲][▼]で確認したい情報を選び、[決定]を押す ボード CS1 ボード CS2 ボード

放送設定を変える（放送設定）

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [◀][▶]で設定内容を変更する

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送・再生
ソフトウェア更新設定
放送設定リセット
決定
戻る

前の画面に戻るには

戻る を押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

画面を消すには

戻る を数回押す

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
かんたん設置設定	かんたん設置設定（➜準備編 43）	→[決定]を押して、さらに設定します。
放送設置	受信対象設定 使わない放送を操作できないようにします。 ●地上デジタルは設定できません。	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ /BS/CS	▶使う　▶使わない
	チャンネル設定（➜準備編 34～36）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ/地上デジタル/BS/CS1/CS2	
	番組表設定（➜準備編 31）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Gガイド地域設定	▶札幌～沖縄
	Gガイド受信確認	Gガイド受信スケジュールを確認できます。
	通信によるGガイド受信	▶オン　▶オフ
	地域設定（➜準備編 36）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	▶東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――（郵便番号）
	地域設定削除	▶はい　▶いいえ
	受信設定（➜準備編 32 ～ 33）	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アッテネーター	▶オン　▶オフ
	物理チャンネル選択 物理チャンネル（➜準備編 32）を指定してアンテナレベルを確認します。	▶物理チャンネル入力　－－ CH
	衛星	→[決定]を押して、さらに設定します。
	アンテナ電源	▶オン　▶オフ 「オン」にした場合、テレビ側の衛星アンテナ電源も「入（オン）」にしてください。
	アンテナ出力 本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶オン　:常に信号を出力します。 （通常は「オン」のまま使用してください） ▶オフ　:本機の電源「切」時に信号を出力しないため、テレビなどで、BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
	トランスポンダ選択	BS-1～BS-15、CS-2～CS-24
	衛星周波数	――.―――― GHz （放送局からの案内がない限り、変更しないでください）

放送設定を変える(放送設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置(つづき)	**電話設定(➜準備編 37)**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	▶自動 ▶プッシュ ▶ダイヤル 20 ▶ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜上記)が「自動」以外のときに設定できます。	▶する ▶しない
	内線設定	ーーーーーーーー(内線番号)
	電話テスト	ーー
	発信者番号通知	▶指定なし ▶通知する ▶通知しない
	電話会社設定	ーーーーーーーー(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜上記)を設定したときのみ設定できます。	▶解除する ▶解除しない
	B-CASカードテスト(➜準備編 39)	ーー
デジタル放送・再生	**字幕の設定** デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 録画モード「DR」以外で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。	→[決定]を押して、さらに設定します。 字幕の設定 字幕 オン オフ 字幕言語 日本語 英語 文字スーパー オン オフ 文字スーパー言語 日本語 英語 ●放送に設定した内容が含まれていない場合は設定通りに表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。
	字幕	▶オン ▶オフ
	字幕言語	▶日本語 ▶英語
	文字スーパー	▶オン ▶オフ
	文字スーパー言語	▶日本語 ▶英語

リモコンの数字ボタンに割り当てられた放送局(2009年6月現在)

●地上アナログ放送(➜準備編 46)

●地上デジタル放送(➜準備編 48)

● BSデジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHKハイビジョン
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ
9	191	WOWOW
10	200	スター·チャンネル
11	211	BS11 デジタル
12	222	TwellV

● CS1(スカパー! e2)

番号	チャンネル	放送局名
1		
2		
3		
4		
5	055	ショップチャンネル
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

●CS2(スカパー! e2)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	e2 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3		
4	147	CS 日本番組ガイド
5		
6	160	C-TBSウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ739
9	194	インターローカルテレビ
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	SKY·STAGE
12	238	スター·クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
デジタル放送・再生(つづき)	**制限項目設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 － － － － 青 赤 緑 黄 1文字削除 1～10 番号入力 戻る **画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号(4けた)を入力する** ●10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないでください。 ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。 お知らせ **●暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。**
	視聴可能年齢 ●視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。 ●年齢制限を超える番組は、番組表(Gガイド)などで「･･･」と表示されます。	▶ **無制限** ▶ **4才～19才(1才刻み)**
	ブラウザ制限 「アクトビラ」を利用するとき(**[アクトビラ]**を押したとき)、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。	▶ **する** :暗証番号の入力が必要 ▶ **しない** :暗証番号の入力は不要
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「ブラウザ制限」の設定は残ります。
	暗証番号削除	●「視聴可能年齢」と「ブラウザ制限」の設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
	設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 暗証番号を入力してください。 － － － －	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で**[チャンネル∧,∨]**を押して順送りできるチャンネルを設定できます。	▶ **設定チャンネル** :チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネル ▶ **テレビ** :テレビ放送(映像＋音声) ▶ **ラジオ** :ラジオ放送(音声) ▶ **データ** :データ放送 ▶ **すべて** :受信できるすべてのチャンネル
ソフトウェア更新設定	**ダウンロード予約(➜準備編 39)** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	▶ **自動** :電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ▶ **手動** :情報が届いた場合、メールで知らせます。 **(➜118「放送メール」)**
放送設定リセット	**設定項目リセット** 「アンテナ電源」「アンテナ出力」**(➜119)**と「電話設定」**(➜120)**をお買い上げ時の設定に戻します。	→[決定]を押して、さらに設定します。 ▶ **はい** ▶ **いいえ**
	個人情報リセット 時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。 また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶ **はい** ▶ **いいえ** お知らせ ●双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。 ●HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、**初期設定**「HDDのフォーマット」**(➜124)**を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

初期設定の基本操作

1 スタート を押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 [▲][▼]で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 [▲][▼]でメニューを選び、決定 を押す

5 [▲][▼]で設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、決定 を押す

初期設定
設置
HDD／ディスク／テープ
映像
音声
画面設定
テレビ/機器/ビエラリンクの接続
かんたんネットワーク設定
ネットワーク通信設定
決定
戻る

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

お知らせ

●操作方法が異なる場合があります。画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	▶2時間　▶6時間　▶切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜準備編 38)	▶リモコン1　▶リモコン2　▶リモコン3
	ワイドモード(➜準備編 29) テレビのS映像入力端子に合わせて出力を設定します。	▶S1 ▶S1/S2：「S1」または「S2」のとき ▶切　：「S」、またはテレビ側のワイドテレビの画面設定の切り換え機能を作動させたくないとき
	時刻合わせ(➜準備編 38)	▶(年/月/日/時/分)　▶自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 フォーマットなどの実行時に、音声で操作ガイダンスを行います。	▶入：本書の（ディーガがしゃべる）マーク部で働きます。 ▶切
	クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 例　：番組表(Gガイド)を約1秒で表示します。 (映像端子または S 映像端子接続時) ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。 ●「ビエラリンク録画待機」(➜126)：「入」 ●「接続形態」(➜127)：「インターネット」または「家庭内ネット」	▶入 ▶切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 ●待機時消費電力が増えます。 ●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に"PLEASE WAIT"と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。) ●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 ただし、以下の設定は戻りません。 ・時刻 ・DVD-Video の視聴制限 ・BD-Video の視聴可能年齢 ・ダウンロード番組視聴制限 ・IP アドレス /DNS 設定 ・プロキシサーバー設定	▶する　▶しない 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に"U30"と表示)、リモコンモードを変更してください。(➜138)
	ソフトウェア更新(ネットワーク) 本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。	▶はい　▶いいえ ●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。 ・本機の電源を切る ・電源プラグをコンセントから抜く

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
HDD／ディスク／テープ	**再生設定(再生専用ディスク)**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	DVD-Video の視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号(4けた)を入力してください。※	▶ **レベル8 すべて視聴可**:すべての DVD ビデオが視聴可 ▶ **レベル7～1**:制限レベルの記録されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可 ▶ **レベル0 すべて視聴不可**:すべての DVD ビデオが視聴不可 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **レベル変更** ▶ **一時解除**
	BD-Video の視聴可能年齢 BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号(4けた)を入力してください。※	▶ **無制限**:すべての BD ビデオが視聴可 ▶ **254 歳～0 歳**:年齢制限の記録されている BD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可 ▶ **ロック解除** ▶ **暗証番号変更** ▶ **視聴可能年齢変更** ▶ **一時解除**
	BD-Live インターネット接続 BD-V BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10]で「BD-Video の視聴可能年齢」(➜ 上記)で入力した暗証番号(4けた)を入力してください。※	▶ **有効** :すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可する ▶ **有効(制限付き)** :BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可する ▶ **無効** :すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない 「無効」以外に設定すると、以下のように動作します。 ●BD ビデオを再生中に予約録画が始まると、再生を終了します。 ●録画中は、BD ビデオを再生できません。
	音声言語 再生時の音声を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **オリジナル**(ディスクの最優先言語で再生) ▶ **その他＊＊＊＊** **＊には [1]～[10] で言語番号(➜161)を入力** 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。
	字幕言語 再生時の字幕言語を選びます。	▶ **オート**: 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	▶ **日本語** ▶ **英語** ▶ **その他＊＊＊＊**
	AVCHD 優先モード BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ハイビジョン画質の番組と他機器でダビングしたハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクで再生する動画を設定します。	▶ **入** :ハイビジョン動画(AVCHD)を再生 ▶ **切** :ハイビジョン画質の番組を再生
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。	▶ **6時間**:4.7 GBディスクに6時間記録 ▶ **8時間**:4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) 高速ダビングできるようになります。ただし制限があります。(➜ 右記) 「切」にすると、右記の制限はかかりませんが、上記ディスクへの高速ダビングはできません。 ●以下の場合に有効 ・地上アナログ放送や外部入力から記録 ・ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングするとき ・VHS からダビングするとき	▶ **入**:高速ダビング対応にする ●記録される番組は以下の設定に従い記録されます。 ・画面サイズ:「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜下記) ・二重放送の音声:「二重放送音声記録」(➜125) ●アナログ放送受信中の音声は切り換えできません。 ・「二重放送音声記録」(➜125)で設定した音声が出力されます。 ●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。 ▶ **切**
	ビデオ方式の記録アスペクト 記録時のアスペクトの設定をします。 以下の記録時に有効 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録時 ●「高速ダビング用録画」(➜上記)が有効なとき	▶ **オート**:番組の記録開始時のアスペクトに従って記録します。 ▶ **4:3** ▶ **16:9** ●録画モード「EP」、「FR(EPモード相当の画質)」での記録時は、設定にかかわらず4:3で記録されます。 ●VHSからのダビングでは、「オート」に設定していると、4:3で記録されます。16:9 映像は、「16:9」に設定することをおすすめします。
	DVDの高速ダビング速度 高速モードでのダビング速度を設定します。(高速記録対応ディスクの場合など)	▶ **最高速モード** ▶ **高速モード** ▶ **静音モード** 「最高速モード」「高速モード」「静音モード」の順でダビング時の動作音は小さくなりますが、ダビングの所要時間は長くなります。
	自動チャプター デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。	▶ **入** ▶ **切** ●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

※ 暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

本機の設定を変える(初期設定)(つづき)

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
HDD/ディスク/テープ(つづき)	**ダウンロード番組視聴制限** アクトビラからダウンロードした番組の視聴制限を設定できます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10]で暗証番号(4けた)を入力してください。※	▶無制限:すべての番組が視聴可 ▶19歳～4歳:年齢制限の記録されている番組が視聴不可(年齢制限が 20 歳以上の番組は録画一覧で表示されなくなります) ▶ロック解除 ▶暗証番号変更 ▶レベル変更 ▶一時解除
	HDD設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDD 管理	→[決定]を 3 秒以上押して、さらに設定します。
	全番組消去 番組をすべて消去します。(ディーガがしゃべる!)	▶はい ▶いいえ
	HDD のフォーマット HDD の初期化を行います。(ディーガがしゃべる!)	▶はい ▶いいえ
	VHS設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	テープの長さ ●D-VHSカセットのときは、どの設定にしてもテープ残量が正しく表示されません。	▶－120:T120(120分)、TC20(VHS-C・20分)のカセットや、それより短いカセット ▶－160:T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS-C・30分)のカセット ▶180:T180(180分)のカセットや、それより長いカセット
映像	**スチルモード** 一時停止中の画像の表示方法が選べます。	▶オート ▶フィールド:動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるとき ▶フレーム:「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 部分消去した部分などの再生する状態が選べます。(DRモードの番組やAVCHDの動画には、この設定は無効)	▶入:なめらかに再生(早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります。) ▶切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HDノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。 「D端子出力解像度」(➔126)が「D3」「D4」のとき、または「HDMI出力解像度」(➔126)が「480p」以外のときに、ハイビジョン信号に対して有効	▶入 ▶切
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	▶オート(Dolby TrueHD の音声のみ有効。コンテンツ意図に従う) ▶入(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効) ▶切
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD DTS/DTS-HD AAC 出力信号 (Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital Surround、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) を、接続機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM”に処理して出力するかを設定します。	▶Bitstream:接続機器が左記の音声方式に対応しているとき ▶PCM:接続機器が左記の音声方式に対応していないとき それぞれの音声方式に対応しているかどうかは、接続した機器の説明書をご覧ください。 ●HDMI端子の音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。(例:テレビと HDMI 端子で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2 ch に制限されます) ●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 **デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➔128)**
	BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む BD-V) BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。	▶入:サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。 上記で「Bitstream」を選ぶと、副音声を含む BD ビデオ再生時は、Dolby Digital または DTS の Bitstream に変換します。 ●再生するディスクによっては、7.1chで音声出力できない場合があります(➔128) ▶切:オリジナルの音声方式を出力するとき

※ 暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声（つづき）	**PCMダウンサンプリング変換** サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	▶**入**：96 kHzに非対応の機器に接続 ▶**切**：96 kHzに対応した機器に接続 以下の場合、設定にかかわらず48 kHzに変換されます。 ・「BD ビデオ副音声･操作音」（➜124）が「入」のとき BD-V ・192 kHz 以上の信号 BD-V ・著作権保護処理がされているディスク
	ダウンミックス マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックス（➜152）の方法を切り換えることができます。 ●「デジタル出力」（➜124）が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。	▶**ノーマル**：サラウンドに対応していない機器（テレビなど）に接続 ▶**ドルビーサラウンド**： 2 チャンネルからマルチ･チャンネル･サラウンドに変換する機能を有する機器に接続 以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。 ・AVCHD 再生時 ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時
	二重放送音声記録 以下の場合、両音声を記録できません。記録する音声を選びます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) への記録 ●「高速ダビング用録画」（➜123）が有効なとき ●「XP時の記録音声モード」（➜下記）を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録 ●「外部入力の音声」（➜下記）が「二重音声」の場合	▶**主音声** ▶**副音声**
	XP時の記録音声モード 録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。	▶Dolby Digital ▶LPCM： ・画質は少し下がります。 ・「XP」以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 ・二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜上記）であらかじめ選んでください。
	外部入力の音声 外部入力（L1）からの録画時、音声の種別を選びます。	▶**ステレオ** ▶**二重音声**：二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。（「高速ダビング用録画」（➜123）が「入」のときは、選んだ音声のみ記録）
画面設定	**画面表示動作〔オート〕** 操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。	▶**入** ▶**切**
	地上アナログ時の ブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いとき、画面背景を表示しないようにします。 カセット未記録部分再生時にも有効です。	▶**入** ▶**切**
	テレビ画面の焼き付き低減機能 通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。 「入」に設定すると、以下のような動作を行います。 ●10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。 ●黒帯部分を明るくします。 [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」（➜126）が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」（➜126）が「480p」以外のとき]	▶**入** ▶**切**
	本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	▶**常時 明**　▶**常時 暗** ▶**オート**：再生中は暗くなり、電源「切」時はすべて消灯します。電源「切」時の消費電力の節電になります。 **（電源「切」時の消費電力 ➜ 154）**
	SD カード LED 制御 本体前面中央にあるランプの点灯方法を設定します。	▶**常時点灯** ▶**常時消灯** ▶**カード入点灯**：電源「入」時に、SD カードを入れると点灯します。

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
テレビ／機器／ビエラリンクの接続	**ビエラリンク設定**	→[決定] を押して、さらに設定します。
	ビエラリンク制御 ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。	▶入 ▶切：ビエラリンク (HDMI) を使わないとき
	ビエラリンク録画待機 ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。 ●「ビエラリンク制御」(➜上記)が「入」時に有効	▶入 ▶切 「入」に設定すると、「クイックスタート」(➜122)は自動的に「入」になります。
	オートサウンド連携 ビエラリンク (HDMI)Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えるかどうかの設定をします。	▶入 ▶切
	ECO スタンバイ リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。 以下の場合に有効 ●ビエラがビエラリンク（HDMI）Ver.4 に対応 ●ビエラの ECO スタンバイの設定が有効時 ●「ビエラリンク制御」(➜上記)が「入」時	▶入 ▶切 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作し、待機時消費電力を最小にします。 ●「本体表示窓の明るさ」(➜125)：「オート」 ●「クイックスタート」(➜122)：「切」 ただし、以下の設定時は「クイックスタート」「入」時と同じように動作するため、待機時消費電力は最小になりません。 ・「接続形態」(➜127)：「インターネット」または「家庭内ネット」 ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。
	TVアスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。	▶4:3　：4:3 標準テレビ ▶16:9　：ワイドテレビ ▶16:9フル：ワイドテレビで、左右の黒帯をなくして表示
	HDMI接続	→[決定] を押して、さらに設定します。
	HDMI映像優先モード	▶入 ▶切：アンプなどの機器とHDMI端子と接続し、テレビとD端子と接続するとき（アンプと接続する前に設定してください）
	HDMI出力解像度 ●接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の [停止 ■] と [再生▶] を5秒以上押したままにしてください。「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。	▶オート　：1080i、480pの順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ▶480p ▶1080i ▶720p　：720p の映像以外は、1080i で出力されます。 アンプと接続する場合、アンプが設定した解像度に非対応のときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビをHDMI端子と接続し、アンプとはHDMI以外の端子と接続してください。
	HDMI RGB出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効	▶スタンダード ▶エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI音声出力	▶入 ▶切：テレビとHDMI端子と接続し、HDMI非対応のアンプなどとデジタル音声出力端子と接続するとき
	Deep Color 出力 HDMI 規格の Deep Color 出力を設定します。（Deep Color対応のテレビなどに接続する場合のみ有効）	▶オート ▶切：映像が乱れたり、色合いが不自然な場合など
	7.1ch 音声リマッピング BD-V 6.1 チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。 以下の場合に有効 ●接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合 ●「デジタル出力」(➜124)が「PCM」の場合 ●音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、または LPCM のとき	▶オート ▶切：オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します） ・音声が DTS Digital Surround、DTS-ES、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio のとき、「切」に設定しても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。
	D端子出力解像度	▶D1　▶D2　▶D3　▶D4 ●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。 ●設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の [停止 ■] と [再生▶] を5秒以上押したままにしてください。「D1」に設定されます。

メニュー	設定項目		設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
テレビ/機器/ビエラリンクの接続(つづき)	**TVアスペクト(4:3)の設定** 4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。	**DVD-Videoの16:9映像**	▶**パン & スキャン**:左右の切れた映像で再生(パン & スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生) ▶**レターボックス**:上下に帯のある映像で再生 パン&スキャン
		録画ディスクの16:9映像	▶**スルー**:録画された映像のままで再生 ▶**パン & スキャン**:左右の切れた映像で再生 ▶**レターボックス**:上下に帯のある映像で再生 **HDD** DR モードの番組は、レターボックスで再生します。 レターボックス
かんたんネットワーク設定	**かんたんネットワーク設定(➜準備編 24)**		→**[決定]**を押して、さらに設定します。
ネットワーク通信設定	**基本設定**		
	IP アドレス /DNS 設定(➜準備編 40)		→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	接続テスト		——
	IPアドレス自動取得		▶**する** ▶**しない**
	IPアドレス		———.———.———.———
	サブネットマスク		———.———.———.———
	ゲートウェイアドレス		———.———.———.———
	DNS-IP自動取得		▶**する** ▶**しない**
	プライマリDNS		———.———.———.———
	セカンダリDNS		———.———.———.———
	接続速度自動設定		→**[決定]**を3秒以上押して、さらに設定します。 ▶**オン** ▶**オフ**
	接続速度設定 「接続速度自動設定」(**➜上記**)が「オフ」時のみ有効		▶**10BASE 半二重** ▶**10BASE 全二重** ▶**100BASE 半二重** ▶**100BASE 全二重**
	MAC アドレス		
	プロキシサーバー設定(➜準備編 41)		→**[決定]**を押して、さらに設定します。
	標準に戻す		▶**はい** ▶**いいえ**
	プロキシアドレス		(初期値は空欄)
	プロキシポート番号		(初期値は 0)
	ホームアドレス		https://t-navi.tv/
	接続テスト		——
	宅外 / 宅内からの操作設定		
	ブロードバンドレシーバー設定(➜準備編 42)		機器 ID、IP アドレス、MAC アドレス、接続状態が確認できます。 →**[決定]**を押して、さらに設定します。
	接続形態 ネットワーク機能を使ってパソコンや携帯電話から操作する設定をします。		▶**インターネット**:本機を宅外 / 宅内の機器から操作したいとき ▶**家庭内ネット**:本機を宅内の機器からのみ操作したいとき ▶**無効**:パソコンや携帯電話から操作しないとき 「インターネット」「家庭内ネット」に設定すると、「クイックスタート」(**➜122**)は自動的に「入」になります。
	ネットワークからの番組消去 パソコンや携帯電話から、本機のHDDにある番組を消去できるようにします。		▶**入** ▶**切**
	機器パスワード初期化 パソコンや携帯電話から操作するときに使用するパスワードを初期化します。		▶**する** ▶**しない**

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

デジタル出力される音声と接続・設定の関係 [表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子				デジタル音声出力端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ※1		PCM ※3		Bitstream		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入※2	切	入	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX ※7	Dolby Digital Dolby Digital EX ※8	オリジナルの音声で出力	DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ※4		Dolby Digital Dolby Digital EX ※8		ダウンミックス 2 ch	
Dolby Digital Plus	Dolby Digital		7.1ch ※2※4	7.1ch	Dolby Digital			
Dolby TrueHD								
DTS Digital Surround DTS-ES ※7	DTS Digital Surround DTS-ES ※8		DVD-V 5.1ch BD-V 7.1ch ※6		DTS Digital Surround DTS-ES ※8			
DTS-HD High Resolution Audio	DTS Digital Surround		7.1ch ※6		DTS Digital Surround			
DTS-HD Master Audio								
7.1ch LPCM	ダウンミックス 5.1ch PCM		7.1ch ※2※5	7.1ch	ダウンミックス2 ch PCM			

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 2 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」(➔124)を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 4 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(➔126)が「切」時は 5.1ch になります。

※ 5 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(➔126)が「切」時はダウンミックス 5.1ch になります。

※ 6 BD-V **初期設定**「7.1ch 音声リマッピング」(➔126)の設定にかかわらず、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

※ 7 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 8 BD-V **初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

再生のみできるディスク/使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ※	**映画や音楽など、ハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト** ●デジタル出力される音声については(➔128) ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。 ●本機では BONUSVIEW™ 対応のディスクや BD-Live 対応のディスクを再生できます。(➔51)	「A」または「A」を含むもの 例) ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD 	●**音楽や音声が記録された市販ソフト**(CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) ●**写真(JPEG)が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**他の DVD レコーダーで録画されたディスク** ●録画した機器でファイナライズ(➔152)を行ったディスクのみ再生できます。	
他機器で記録されたハイビジョン動画(AVCHD) のディスク	**以下のディスクが再生できます。** ●**BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW** BD-RE、BD-R、DVD-RAM 以外は、録画した機器でファイナライズ(➔152)を行ったディスクのみ再生できます。 ●**ハイビジョン動画(AVCHD)とハイビジョン画質の番組が混在したディスクについて** 本機では、再生のみできます。再生前に、**初期設定**「AVCHD 優先モード」(➔123)を「入」にしてください。	

※ ●ソフトのすべての機能をお楽しみいただくために、SD カードを必要とする場合があります。
●BD-J アプリケーション(➔152)が実行されている場合、本機の操作が遅くなる場合があります。故障ではありません。
●2 枚組の BD-V を再生している場合、1 枚目の再生が終わっても、再生画面が表示され続けることがあります。

記録状態によって再生できない場合があります。

●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

8 cm ディスクについて

本機では、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW の 8 cm ディスクに記録や編集はできません。
再生や HDD またはカセットへのダビングのみ可能です。

「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク(6X 以上の 高速記録対応)**について**

本機では、記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジ付きの DVD-RAM(TYPE1)
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➔152)されていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●リージョンコード**「A」を含まない**BDビデオ
●リージョン番号**「2」「ALL」以外**のDVDビデオ
●BD-RE(Ver.1.0)
●HD DVD ●DVD-ROM ●CD-ROM ●CDV ●DVDオーディオ
●CD-G ●Photo-CD ●CVD ●SVCD ● ビデオCD
●SACD ●MV-Disc ●PD ●DVD-RW(片面 2 層) など

SD カードについて

本機で使えるカードは？	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） miniSD メモリーカード microSD メモリーカード microSDHC メモリーカード ●本書では上記カードのことを「SDカード」と記載しています。 ●miniSDカード、microSDカード、microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。	
何ができるか？	**動画** MPEG2 AVCHD	●当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を HDD RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) にダビングできます。(➜73) MPEG2 動画を直接再生することはできません。 ●当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）の再生(➜44)や HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) への取り込み(➜86)ができます。
	録画番組 持ち出し番組	●本機で作成した持ち出し番組の転送(➜108)ができます。
	写真 JPEG	●デジタルカメラなどで撮影した写真の再生(➜87)やダビング(➜94)ができます。

使用可能なSDカードについて

●4 GB以上のメモリーカードは、SDHCロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
●使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/bd/index.html
●SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜112)
●本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
●**本機で記録したSDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。**

■ カードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止スイッチ
LOCK

SD カードを他の機器で楽しむ

■ 録画番組(持ち出し番組)

本機で SD カードに記録した持ち出し番組を以下の機器でお楽しみいただくことができます。

当社製対応機器のご紹介(2009 年 6 月現在)

携帯電話

●NTT ドコモ：
- ・P10A
- ・P09A
- ・P08A
- ・P07A
- ・P06A
- ・P05A
- ・P04A
- ・P03A
- ・P02A
- ・P01A
- ・P906i
- ・P905iTV
- ・P905i
- ・P903iTV
- ・P706iμ
- ・P706ie
- ・P705i　など

●au：
- ・P001
- ・W62P
- ・W61P　など

●SoftBank：
- ・930P
- ・921P
- ・920P
- ・832P
- ・824P
- ・823P　など

ポータブルテレビなど

●SV-ME850V
●SV-ME750
●SV-ME700
●SV-ME75
●DMP-BV100　など

動作確認済みの機器については、当社ホームページ(➜ **表紙**)をご覧ください。

SDカードについて

必要なとき

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	HDDの再生	ディスクの再生	SDカードの再生	VHSの再生	ダビング・AVCHDの取り込み	編集	写真の再生・取り込み	持ち出し番組の転送
DRモードでHDDに録画中	○	○※1	○※3	○	×	○	×	○
HG、HX、HE、HL、HMモードでHDDに録画中	○	○※1※2	×	○	×	○	×	○
XP、SP、LP、EP、FRモードでHDDに録画中	○	○※1※2	×	○※4	×	○	×	○
BDディスクに予約録画中	○	×	○※3	○※4	×	○※5	×	×
DVDディスクに予約録画中	○	×	×	○※4	×	○※5	×	×
1倍速でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	×※6	×	×	×	○※5	×	×

●「外部入力（L1）取込」中は同時操作はできません。

※1 **初期設定**「BD-Liveインターネット接続」（**➜123**）が「有効」または「有効（制限付き）」時に録画中は、BDビデオは再生できません。

※2 DRモード以外で録画中は、市販の映画などが記録されたBDビデオやAVCHDのディスクは再生できません。

※3 DRモードで録画中は、AVCHDの動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※4 アナログ放送録画中または外部入力から録画中は再生できません。

※5 ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。

※6 HDDの番組を複製中は、再生できます。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1
再生中（番組・写真）	○※2※3
番組の編集の処理を実行中	○
写真の編集の処理を実行中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズあり）	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし）	○
番組を1倍速でダビング中	×
外部入力（L1）取込中	○※1
ソフトウェア更新中（ネットワーク）	×
AVCHD取込中	×
写真おまかせ取込中	×
写真のダビング中	×
フォーマット中	×
ファイナライズ中	×
番組キープ中	○※1
アクトビラを表示中・ダウンロード中	○※1
持ち出し番組を転送中	○※4

※1 予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。

※2 ディスク再生中に、ディスクへの予約録画が始まったときや、BDビデオやAVCHDディスクを再生中にDRモード以外の予約録画が始まると、再生は終了します。

※3 BDビデオを再生中に、**初期設定**「BD-Liveインターネット接続」（**➜123**）が「有効」または「有効（制限付き）」時に予約録画が始まると、再生は終了します。

※4 ディスクへの予約録画が始まると、HDDに代替録画されます。

●予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

●Irシステムでの連動予約の場合、他の操作を実行中に予約録画は実行されないときがあります。
予約の開始前には本機の電源を切ってください。

受信できるテレビ放送について

B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。 高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2009年6月現在) また、本機ではワンセグ放送を録画できます。**(➜106)** ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、2006年4月1日より、NHKおよび民放各社からサービスが開始されています。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります) 放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらに独自のデータ放送を楽しめるのが特徴です(2009年6月現在)	テレビ番組ガイド(EPG) 字幕放送 双方向サービス
BSデジタル BS デジタル	放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド(EPG) 字幕放送 双方向サービス
110度CS デジタル CS デジタル	通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー! e2」には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー! e2」カスタマーセンター **0570-08-1212**(ナビダイヤル)(携帯電話・PHSの方は、**045-276-7777**) 受付時間　10:00～20:00(年中無休) 「スカパー! e2」公式ホームページ　**http://www.e2sptv.jp/**	テレビ番組ガイド(EPG) 字幕放送 双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	従来からのVHF/UHF放送のことです。(2009年6月現在) 地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが国の方針として決定されています。地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では、地上アナログ放送の電波のすきまで送られてくる文字放送(字幕)は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド(EPG) ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。**(➜準備編 30)**

BSアナログ放送のWOWOWはBSデジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー!」は「スカパー! e2」として110度CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。(放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください)

デジタル放送には、3種類の放送があります。

テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

ラジオ放送　本機では記録できません

音楽など音声を主とした放送です。

データ放送　本機では記録できません

お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。(天気予報やニュースなど)

●ラジオ放送は、現在実施されていません。(2009年6月現在)

取り扱いについて

■ 録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の設置場所

設置場所にはお気をつけください。故障の原因になることがあります。
- ●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
- ●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- ●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- ● 不安定な場所に設置しない。
- ● 重いものを上に載せない。

また、たばこの煙なども故障の原因になります。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
- ●「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・梅雨の時期
- ●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の移動

① 電源を切る（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

録画/再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（別売）**（➜準備編 裏表紙）**でほこりなどの除去をおすすめします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
- ●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

ビデオヘッド

品質の悪いカセットを使うと、ヘッドが汚れ、正常な再生ができなくなることがあります。再生映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色（ブルーバック）になったときは、乾式のビデオヘッドクリーナー（別売）**（➜準備編 裏表紙）**でクリーニングしてください。
- ●湿式のビデオヘッドクリーナー（市販品）は使わないでください。（故障の原因になります）

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。
- ●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄/譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。（➜121）
- ●本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

●各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の［電源 ⏻/I］を押し、電源を切る**
- ●切れない場合は、約３秒間押し続けると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約１分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の［電源 ⏻/I］を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">ハードディスク
HDD</td><td colspan="2">HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。
HDD は一時的な保管場所です
HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。
HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…
HDD内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD 全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。
●HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。</td></tr>
<tr><td>本機から HDD の動作音が聞こえますが故障ではありません</td><td>HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
●電源切 / 入時
●番組表(G ガイド)データを受信中
●オンエアーダウンロード中またはアクトビラのダウンロード中
●予約録画終了時または午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)の、本機全体の自動再起動時
●録画モード変換時または持ち出し番組作成時
●初期設定「ビエラリンク録画待機」(➜126)の「入」時</td></tr>
</table>

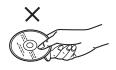
音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

取り扱いについて

必要なとき

取り扱いについて（つづき）

<table>
<tr><td rowspan="3">ディスク
カード
カセット</td><td colspan="2">

持ちかた

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

●ディスククリーナー（別売）**(➜ 準備編 裏表紙)**のご使用をおすすめします。

</td></tr>
<tr><td>破損や機器の故障防止のために</td><td>

次のことを必ずお守りください。

●落としたり、激しい振動を与えたりしない。
●お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

●ディスク

・シールやラベルをはらない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
・以下のディスクを使わない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
- そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
- ハート型など、特殊な形のディスク

●カード

・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

●カセット

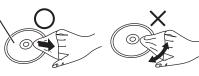
・品質の悪いカセットは使わない
- 水などの液体やほこり、カビなどが付いている
- テープがたるんでいたり、波打っていたりクシャクシャになっている
- テープをセロハンテープでつなぐなど、加工している
・新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う。（テープどうしがはり付いていることがあります。ほぐしてからお使いになることをお勧めします）
・使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

</td></tr>
<tr><td>保管場所</td><td>

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

●ほこりの多いところ
●高温になるところ
●温度差が激しいところ
●湿度の高いところ
●湯気や油煙の出るところ
●冷暖房機器に近いところ
●直射日光のあたるところ
●静電気·電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。
（カセットは立てて保管してください）

</td></tr>
</table>

こんな表示が出たら

	表示文字（数字は例）	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	D	●番組データなど放送情報を受信中です。 ●録画モード変換の処理中です。 ●持ち出し番組作成中です。	— — —
	TEL	●電話回線使用中です。	—
		●アクトビラからダウンロード中です。	—
	61PCT	●高速ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。（例：61 パーセント）	—
	A 1	●現在選んでいる地上アナログ放送のチャンネルです。（例：1 チャンネル）	—
	BS 101	●現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。（例：101 チャンネル）	—
	B-CAS OUT	●B-CASカードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。	—
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。（例：001 チャンネル）	—
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。（例：100 チャンネル）	—
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。（例：011 チャンネル）	—
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などはダウンロードの進行状況です）	—
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。	—
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。（例：L1）	—
	MENU	●スタートメニュー表示中です。	—
	NET	●インターネットに接続中です。	—
	NoFINALIZE	● -R(V) -R(AVCREC) -R DL(V) -R DL(AVCREC) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ） HDD の録画や再生中などに、**[開/閉▲]**を押したときに表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。	—
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）（**➜準備編 裏表紙**）の作業が終了したときに、表示されることがあります。**[開/閉▲]**を押してクリーナーを取り出してください。	— —
	NoREC	●以下の場合、**[録画●]**を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中	—
	PHOTO	●写真一覧表示中です。	—
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	— —
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が128件登録されています。不要な予約を消してください。	34
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。	—
	TRANS	●持ち出せる番組一覧表示中です。	—
	UPD 1/5	●ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などは更新の進行状況です）	122

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	U11	●ビデオヘッドが汚れています。クリーニングしてください。	57
	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	—
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	—
	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 ・接続機器がHDMIに対応していません。 ・HDMIケーブルが破損しています。 ・HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。	—
	U76	●HDMI端子と接続した機器が、著作権保護に対応していないため、著作権保護された BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は再生できません。	—
	U77	●お使いの BD-RE BD-R BD-V DVD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) は著作権情報が不正なため映像は出力されません。	—
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（"F"または"H"以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。	—
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	112
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。	10、12、129
	VIDEO	●録画一覧表示中です。	—

上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口(➜163)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

ディスクの取り出し時 -R(AVCREC) -R(V) -R DL(AVCREC) -R DL(V) -RW(V) （未ファイナライズのディスクのみ）

[開/閉▲]を押して記録済みディスクを取り出そうとすると、ファイナライズの誘導画面を表示します。ファイナライズを行うと、他のDVD機器で再生できるようになりますが、あとから記録や編集をすることはできなくなります。

他のDVD機器再生（ファイナライズ）

このディスクは他のDVD機器で再生できる処理を行うことができます。処理を行うと記録や編集はできなくなります。処理には約○分かかります。処理を開始してもよろしいですか?

● 録画ボタンを押すと処理を開始します。

▲ 開/閉ボタンを押すと処理を終了します。

この動作を行わないで終了した場合、本機以外で再生できません。

☞**ファイナライズを行う場合**
[録画●]を押す
●ファイナライズが実行されます。

☞**ファイナライズを行わない場合**
[開/閉▲]を押す
●ディスクトレイが開きます。

HDD の録画や再生中などは、ファイナライズを行わずにディスクトレイが開きます。本体表示窓には、下記の表示が出ます。

NoFINALIZE

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➜115)

すべての表示を記載しているわけではありません。記載がない内容の確認・ご質問は DIGA（ディーガ）ご相談窓口までお問い合わせください。(➜162)

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜163)にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- ●周期的なディスクの回転音
  (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- ●電源切/入時の音
- ●気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- ●早送り・早戻し(VHS 巻き戻し)時の映像の乱れ
- ●BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

本機が操作を受けつけなくなったときは…

●各種安全装置が働いていることがあります。
① **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を切る**
　●切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。(または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
② **本体の[電源⏻/I]を押し、電源を入れる**
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	電源が入らない	●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、**初期設定**「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。 ●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。	— —
	自動的に電源が切れた	●**初期設定**「自動電源〔切〕」が「2時間」または「6 時間」になっていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の**[電源⏻/I]**を押し、電源を入れてください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」の場合は、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。自動的に切れないようにするには、設定を「切」にしてください。 ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、テレビ側の「こまめにオフ」の設定が有効なとき、テレビの入力を本機を接続したHDMI入力以外に切り換えると、自動的に本機の電源が切れます。(詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください)	122 — 126 —
	自動的に電源が入る	●ビエラリンク(HDMI)をお使いのときは、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、**初期設定**「ビエラリンク制御」を「切」にしてください。	126
表示	表示が出ない 表示が暗い	●**初期設定**「本体表示窓の明るさ」で明るさを変えてください。 ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、ECO スタンバイの機能が働くと、本体表示窓は消灯します。	125 126
	"0:00"が点滅している	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。	準備編 38
	"録画"が点滅している	●以下の場合に点滅します。 ・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間 ・デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき ・分配器などを含めてアンテナが正しく接続されていないとき ・録画や予約録画時にB-CASカードが抜けているとき ・予約録画時に、HDDの残量がないとき	—
	残量表示が使用した量と違う	●残量表示は実際より増減することがあります。録画モード「DR」で録画した場合は特にばらつきが大きくなります。 ● -R -R DL 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。	— —

診断コードについて

本機では、機器の状態を16けたの数字で表示することができます。
お問い合わせのときに、お聞きすることがあります。その場合、下記操作を行って16けたの数字を表示してください。
① **[スタート]**を押す
② **[▲][▼]**で「その他の機能へ」を選び、**[決定]**を押す
③ **[▲][▼]**で「診断コード」を選び、**[決定]**を押す

例)
16けたの数字をお伝えください。

こんな表示が出たら(つづき)/故障かな!?
必要なとき

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
表示	残量表示が画面によって異なる	●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。	—
	VHSのテープカウンターが動かない	●テープの未記録部分では、秒表示の部分が右図のようになります。 -- -- 汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、表示されます。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
テレビ画面や映像	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった	●分配器を使っていませんか。市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●アンテナ線が劣化していませんか。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき ・**放送設定**「アンテナ電源」を「オン」にしているとき ●アンテナ線と HDMI ケーブルなどの距離を離してください。 ●**放送設定**「アンテナ出力」が「オフ」の場合、本機の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。通常は「オン」のまま使用してください。	— — 準備編 22 119 — 119
	映像が出ない 映像が乱れる	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●テレビの D1 またはD2 映像入力端子に接続した場合は、はじめて本機の電源を入れたあと、本体の **[停止■]** と **[再生▶]** を同時に5秒以上押してください。D1 で出力されるようになり、画面に映像が映ります。 ●HDMI端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI映像優先モード」を設定してください。 ・HDMI 端子でテレビと接続:「入」 ・D 端子でテレビと接続し、HDMI 端子でアンプなどと接続:「切」 ●HDMI ケーブルによっては、接続の向きが決められているものがあります。向きを逆にして接続してみてください。 ●接続したテレビに複数のHDMI入力端子がある場合、他のHDMI入力端子に接続してみてください。 ●テレビのハイビジョン方式(MUSE)の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●コンポーネント(色差)ビデオ入力端子が1080iの信号のみに対応しているテレビの場合、D 端子ピンケーブルで接続すると、DVD ビデオと VHS の映像を正常に再生できません。映像(またはS映像)・音声コードで接続してください。 ●**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D3」「D4」に設定した場合、DVD ビデオの映像または外部入力からの映像は、はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。 ●HDCP(不正コピー防止技術)に対応したDVIデジタル入力端子付の機器(パソコンのディスプレイなど)に DVI/HDMI 変換ケーブルを使用して接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません) ●テレビによっては、再生やダビング開始などの操作時に画面にノイズが出る場合があります。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	準備編 4~19 — 126 — — — — 126 — — —
	表示していた画面が消える	●**初期設定**「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。	125
	横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●**初期設定**の以下の設定を確認してください。 ・「TV アスペクト」 ・「ワイドモード」 ・「TVアスペクト(4:3)の設定」 ●テレビ側の画面モードなどの設定を確認してください。	 126 122 127 —
	記録した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●4:3映像で記録された可能性があります。 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●4:3のテレビにD端子またはHDMI端子で接続し、16:9映像を出力する場合、縦に引き伸ばされます。テレビのアスペクト設定で調整してください。また、調整ができない場合、**初期設定**「D 端子出力解像度 」を「D2」、「HDMI 出力解像度」を「480p」に設定してください。	126 126
	テレビの左右に黒帯が表示される	●「画面モード切換」で「サイドカット」を選ぶか、**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にしてください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	16、126
	映像の左右の端が切れる、または色が薄い	●表示領域の広いテレビは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「HDオプティマイザー」を「切」にしてください。	53
	ハイビジョン映像で出力されない	●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が480pに制限される場合があります。	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ボタン操作	テレビが操作できない 電池を交換したがリモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。 ●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。 ●リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。 ●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。 U30 2 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を2秒以上押したままにしてください。	準備編 39 準備編 3 — —
デジタル放送	BS・110度CSデジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来のBSアンテナではBSデジタル放送を受信できない場合があります。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。 ●BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。このような場合、放送によっては降雨対応放送に切り換わることがありますが、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	— — 準備編 33 — —
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの場所が、地上デジタル放送の放送エリアになっていますか。受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できません。 ●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを使用していますか。現在の地上アナログ放送用UHFアンテナが、視聴地域の特定チャンネルに対応していない場合や、受信方向が異なる場合は、アンテナの増設が必要です。 ●**放送設定**「受信設定」でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。 ●集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。	— — 準備編 32 —
	字幕や文字スーパーが出ない	●字幕や文字スーパーのある番組の場合、**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。	120
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ●契約したB-CASカードを挿入してください。	— —
本体	本機が熱い	●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。移動やお手入れなどをするときは、電源コードを抜いて3分以上待ってから移動させてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、本体の[■ 停止]と[チャンネル ∧]を同時に約5秒以上押すと、ディスクトレイが開きます。(ディスクトレイが開かない場合は、本体の[電源⏻/I]を3秒以上押したあと、再度同様の操作を行ってください)ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	—
	ディスクのトレイが開くのに時間がかかる	●取り出し時にディスクの管理情報を更新する場合、時間がかかります。	—
	起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●以下の場合、時間がかかります。 ・RAM 以外のディスクが入っているとき ・時計が設定されていないときや、停電直後または電源コードを差した直後 ・D端子やHDMI端子と接続しているとき ●ビエラリンク(HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続し、ECO スタンバイの機能が有効なとき、ビエラの電源「切」時に本機の電源のみ「入」にすると起動が遅くなります。	122 — 126
	電源「切」時に動作音がする	●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。 ●HDD の品質維持のため、自動的に内部点検を行っている場合、本機から音が聞こえることがありますが、故障ではありません。	122 135

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	**音が出ない** **聞きたい音声が聞こえない** **音が小さい、おかしい**	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●**[音声切換]**を押して、適切な音声か確認してください。 ●二重放送の番組を再生する場合、**再生設定**「音声」メニューの「音質効果」を「切」にしてください。 ●デジタル音声出力端子またはHDMI端子から音声出力時、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」にしていると、リ . マスターなどの音質効果が働きません。設定を「PCM」にしてください。（ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります） ●HDMI接続で４台以上の機器をつなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●HDMI 端子の接続状態に合わせて、**初期設定**「HDMI音声出力」を設定してください。 ・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」 ・HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」 ●HDMI 端子で接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。 ●HDMI 端子で接続し、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」にしている場合、副音声を含む BD-V では、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDの音声はドルビーデジタルの音声で、DTS-HDの音声はDTSの音声で48 kHzに変換されて出力されます。オリジナルの音声で出力する場合は、「切」にしてください。	124 — 53 124 — 126 — 124
	片方のスピーカーからしか音声が出ない	●**初期設定**「ダウンミックス」を「ノーマル」にしてください。	125
	音声が切り換えられない	●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合、地上アナログ放送や外部入力から記録した番組は音声の切り換えができません。 ●ディスクや設定により記録される音声には制限があるため、再生時に切り換えができなくなる場合があります。 ●アンプと接続している場合、以下の方法で切り換えてください。 ・アンプ側で音声を切り換える ・本機で切り換える場合は、**初期設定**「デジタル出力」を「PCM」に設定する ●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。	123 42 — 124 —
	ハウリング（ピー）音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクなどを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
	サラウンドの音声が出ない	●接続するアンプによっては、音声が 2 チャンネルになる場合があります。**再生設定**「音質効果」の「リ.マスター」を「切」にしてください。	53
	VHS 再生時にステレオ音声がブツブツと聞こえる	●トラッキングがずれている ●再生中のテープに傷などが付いている	57 —
ディスク	**記録できない**	●ディスクをフォーマットしていますか。 ●ファイナライズ後のディスクは記録できません。 ●誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。 ●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。（不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください） ●カートリッジ付きの BD-RE は、本機では記録できません。 ● -R -R DL 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。 ●本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。 ●録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。	112 — 114 39 — — — 134

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画	録画できない	●ディスクやカセットは [録画●] を押しても、録画できません。	—
予約録画	予約録画ができない	●以下の動作中、予約録画は実行されません。 ・1倍速ダビング、ファイナライズを含むダビング ・フォーマット、ソフトウェアのダウンロードなど中断できない動作 ●[予約確認] を押して、予約内容を確認してください。 ・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。 ・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。 ●時刻が合っていないと、正しく予約録画されません。 本体表示窓に"0：00"が点滅しているときは、時刻を合わせてください。 ●VHS には予約録画できません。	132 34 準備編 38 —
	ディスクに予約録画ができない	●以下の場合、ディスクに予約録画できません。 ・カートリッジ付きの BD-RE ・未フォーマットのディスク ・ -R(V) -R DL(V) -RW(V) のディスク ・ RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) に録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で予約 ・ RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約 ・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約 ・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク ・ディスクへの予約がすでにある（ディスクへの予約は 1 番組のみ）	—
	BS・110 度 CS デジタル放送の予約録画ができない	●BS・110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていますか。電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。個別に BS・110 度 CS デジタルアンテナを設置している場合、**放送設定**「受信設定」の「アンテナ電源」を「オン」に設定していると、アンテナに電源が供給されます。また分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。	119、 準備編 6
	番組追従機能が働かない	●G コード® 予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。 ●アナログ放送では、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	Gコード予約ができない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。 ガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されている場合は、不要なほうを削除してください。	準備編 35
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日・毎週予約のときは予約内容が残ります。 ●予約が正しく終了しなかった場合は、「一部未実行」などのマークが翌々日の午前4時まで表示されます。予約を取り消す操作で取り消すこともできます。	— 34
	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。（当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません）	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
HDD／ディスク再生	再生できない	●カートリッジ付きのBD-REは再生できません。 ●**初期設定**「BD-Liveインターネット接続」が「有効」または「有効（制限付き）」時に録画中は、BDビデオは再生できません。 ●SDカードのMPEG2動画は直接再生できません。HDDなどにダビングしてから再生してください。	— 123 73
	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●他のブルーレイディスクレコーダーやパソコンなどで録画したコピー制限のある番組は、本機のHDDへダビングしても、著作権保護のため再生できません。 ●RAM(VR) EP（8時間）モードで記録した場合、他の機器で再生できないことがあります。この場合は、EP（6時間）モードで記録してください。	— 123
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組や、アスペクト比（映像の横縦比）、解像度（480pなど）の異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。 ●2倍速対応以下のDVDに記録された高画質（転送レート約18Mbps以上）の動画は、正しく再生できません。	— — —
	番組の先頭から再生が始まらない	●続き再生メモリー機能が働いています。番組の先頭から見たい場合は、[I◀◀]を数回押して番組の先頭に戻ってください。	—
	映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ●-R DL 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— —
	BDビデオやDVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されている場合、**初期設定**「DVD-Videoの視聴制限」や「BD-Videoの視聴可能年齢」を変更してください。	123
	音声言語や字幕言語が切り換えられない 字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。 ●**再生設定**「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	52 43
	録画した番組の字幕が出ない	●DRモードの番組は、**再生設定**「信号切換」の「字幕」を「オン」にしてください。 ●録画モード「DR」以外で録画する場合、「字幕」を「オン」にして記録しないと、字幕情報は記録されません。	52 17、31
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—
	BDビデオやDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。**[開/閉▲]**を押してトレイが開いている状態でBDドライブを選び、本体の**[再生 ▶]**と**[録画●]**を同時に5秒以上押すと戻ります。（本体表示窓に"INIT"が表示）	—
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●DRモードの番組や外部入力から録画した番組では働きません。 ●以下のように働きます。 ・HDD：1番組あたり499回まで ・BD-RE BD-R：1番組あたり49回/ディスク1枚あたり499回まで ・RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)：1番組あたり49回/ディスク1枚あたり49回まで	52 — —
	スロー再生が戻り方向に働かない コマ戻しが正しく働かない	●BD-V AVCHD では、スロー再生は戻り方向には働きません。 ●BD-V AVCHD コマ戻しはできません。	— —
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。（HDD は解除されません） ・ディスクやSDカードを取り出す ・CD SD 電源を切る	—
	再生した番組の先頭が見られない	●ビエラリンク（HDMI）の機能により、テレビの電源が「切」状態で、本機のリモコンの**[▶再生]**を押して再生を始めた場合、テレビ画面が表示されるまで、見られません。**[I◀◀]**を押して番組の先頭に戻ってください。	—
	プログレッシブ出力でDVDビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。**初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にしてください。HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。 ① HDMI端子以外の映像端子で接続する ② **初期設定**「HDMI映像優先モード」を「切」にする ③ **初期設定**「D端子出力解像度」を「D1」にする	126 — 126 126

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
VHS再生	再生できない	●他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。 ●アナログ放送 / 外部入力から録画中は、VHSの再生はできません。 ● S-VHS-C 、VHS-C カセットの始端と終端が再生できない場合があります。	— — —
	VHSの再生画面がブルーバックになる	●テープの未記録部分、または記録状態の悪い部分を再生している。 ●汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— —
	再生画面がチラチラする	●ビデオヘッドが汚れている。 ●テープが古い、またはいたんでいる。	57 —
	再生画面にノイズが出る	●本機以外の機器で3倍/5倍モードで記録したカセットは、画面にノイズが出る場合があります。 ●テレビとHDMIケーブルで接続した場合、映像の周囲にノイズ状のものが見えることがあります。テレビ側で画面サイズを調整してください。 テレビ側で画面サイズの調整ができない場合は、**初期設定**「HDMI出力解像度」を「480p」に設定すると、ノイズ状のものを見えなくすることができます。ただし、VHS以外の映像を高画質で再生するときには、設定を元に戻しておいてください。	— — 126
ダビング	ダビングできない	●以下の場合 RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC) にはダビングできません。 ・録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で録画した番組。 ・VHS からダビング。 ●HDDから -R(V) -R DL(V) -RW(V) 、またはVHSからDVDへのダビング時、以下の場合ダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。 ・HDDの残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要な場合があります) ・HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が1000を超えるとき ●市販やレンタルの BD ソフトはダビングできません。 ●市販やレンタルのDVDソフトやビデオソフトの多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。コピー禁止処理された映像はダビングできません。 ●カセットに記録したデジタル放送の番組は、ダビングできません。 ●外部入力(「L1」)で接続した機器から HDD に記録されたコピー制限のある番組は、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R にダビングできません。CPRM対応の RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) をお使いください。 ●管理情報が含まれるなどの理由により、ダビング先に記録される容量がダビングする番組の合計より少し大きくなり、ダビングできない場合があります。また残量が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。	— — — — — — —
	高速モードでダビングできない	●ダビングする番組やディスクなどによって、高速でダビングできない場合があります。	79
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。 高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	高速ダビング時の動作音が大きい	●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」を「高速モード」または「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。	123
	ダビングした番組の録画時間が短くなる	●本機で編集を行った番組をFRモードでダビングした場合、録画時間が短くなることがあります。	—
	ダビング後の音声レベルがHDD/ディスクとVHSで合っていない	●会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、カセットにダビングしたときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
編集	番組を消去しても残量が増えない	●BD-R -R -R DL 消去しても増えません。 ●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。 途中の番組を消去しても増えません。	— —
	編集できない	●HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。 不要な番組を消去して残量を増やしてください。 ●ファイナライズ済みのディスクは編集できません。 ●本機では、持ち出し番組の編集はできません。	64 — —
	部分消去の開始点や終了点が設定できない	●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。	—
	プレイリストが作成できない	●本機ではプレイリストの作成はできません。	—
他機器との連携	外部機器からダビングできない	●正しく接続していますか。 ●**[入力切換]**（リモコン下部）で外部機器を接続した外部入力チャンネルを選んでいますか。	82 ～ 84 —
	外部機器からダビングすると、黒い帯状のノイズが録画された	●接続した機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けていることが考えられます。接続した機器をテレビから離してください。	—
	CATVから予約録画ができない	●本機と CATV の設定が正しいか確認してください。 ●「時間指定予約」の場合、「放送種別/チャンネル」を接続した端子に合わせてください。 ●外部入力（「L1」）で接続した CATV からコピー制限のある番組を予約録画する場合、著作権保護の規定により、BD-RE BD-R に録画できません。	84 ～ 85 — —
	ダビングしたディスクが他の機器で再生できない	●ファイナライズしていますか。 ●AVCREC 方式のディスクの場合、そのディスクの AVCREC 方式の再生に対応している必要があります。	115 12
番組表（Gガイド）	番組表（Gガイド）が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表（G ガイド）が表示できていません。 ●本機は、地上アナログ放送の番組表（Gガイド）であっても、衛星アンテナを接続し、BSデジタル放送が受信できる必要があります。 ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱い場合など）は、データが取得できません。ブースター使用で改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — —
	地上アナログ放送で、映像が受信できるのに番組表（Gガイド）に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、表示されません。正しい放送局名を設定してください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表（G ガイド）に表示されません。	準備編 35 準備編 31
	番組表（Gガイド）に“予”が表示されない	●Gコード® 予約や時間指定予約の場合は、予約した番組の放送時間が、番組表の放送時間を含んでいるときのみ表示されます。	—
	放送局やGガイドのロゴが表示されない 広告が表示されない	●お好みチャンネルでは、放送が受信できない場合やお買い上げの設定直後は表示されません。 ●番組表では、受信状態によって表示されません。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
写真	写真一覧画面で写真が表示されない	●日付別表示とアルバム表示とを間違っていませんか。**[サブ メニュー]**を押して、切り換えてください。 ●パソコンなどで編集した写真は再生できない場合があります。	— —
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。	130
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります)本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では8 MB～2 GBまでのSDカードと4 GB～32 GBのSDHCカードが使用できます。	— 153 — —
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 112
持ち出し番組	持ち出し番組を作成できない	●ダビングができない番組は持ち出し番組を作成できません。 ●HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。 ●録画先が「HDD」以外の場合、持ち出し番組は作成できません。 ●BS･CS･地上アナログ放送の番組は、予約録画時に設定していても録画後すぐには持ち出し番組は作成されません。通常の番組の録画終了後、本機の電源「切」時に通常の番組から変換して持ち出し番組を作成します。	— — — —
	持ち出し番組を転送できない	●SD カード内のハイビジョン動画(AVCHD) 以外の動画の数と持ち出し番組数の合計が 99 を超える場合、転送できません。 ●SD カードの著作権の管理情報がいっぱいの場合、転送できません。管理情報を消去するためには、SD カードをフォーマットしてください。ただし、記録されている内容もすべて消去されます。	— 112
アクトビラ	アクトビラがつながらない 動画コンテンツが見られない	●**初期設定**「DNS － IP 自動取得」が「する」になっていますか。 ●アクトビラをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。また、アクトビラ･ビデオ フルの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境が必要です。 ●ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	127 — —
ブロードバンドレシーバー	操作できない	●ネットワーク接続は正しいですか。 ●通信状況(電波の届きにくいところやネットワークの状況)などにより、操作できないときがあります。 ●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。	準備編 14 — 準備編 39
	携帯電話やパソコンで本機を操作できない	●**初期設定**「ブロードバンドレシーバー設定」が選ばれている状態で、「○○接続」と表示されていない場合、接続を確認してください。 ●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。 ●加入しているサービスの会員登録や機器登録の内容を確認してください。 ●ルーターの設定(DHCPサーバー機能やセキュリティーなど)を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。 ●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。 ●自宅のパソコンで操作する場合、IPアドレスを正しく入力してください。	準備編 42 — — — — 111
	機器パスワードを忘れた	●加入しているサービスで機器登録を削除後、**初期設定**「機器パスワード初期化」を行ってください。そのあと、パスワードを再設定してください。	111、127

故障かな!?(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ビエラリンク(HDMI)	ビエラリンク(HDMI)が働かない	●本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に“HDMI”が表示されない場合は、HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク (HDMI) が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 1 **HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(ビエラ)の電源を入れ直す** 2 **テレビ(ビエラ)のビエラリンク (HDMI) を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください)** 3 **テレビ(ビエラ)の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク (HDMI) が動作するか確認する**	準備編 4、準備編 10 126 — —
	「番組ぴったりサウンド」が働かない	●**初期設定**「オートサウンド連携」が「入」になっていますか。 ●接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ(ビエラ)の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。	126 —
	録画や番組キープの実行に時間がかかる	●**初期設定**「ビエラリンク録画待機」が「切」になっている場合、数十秒かかります。「入」に設定してください。	126
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	●モジュラー分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。 詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ソフトウェア更新(ネットワーク)ができない	●ネットワークの接続や設定は正しいですか。	準備編 14、準備編 24
	ソフトウェアのダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。設定をやり直してください。	準備編 43

表示マーク一覧

●本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	説明
テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
アナログ X出力	アナログ(映像端子、S1/S2映像端子、D端子)出力しない番組(音声も出力されません)
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送− 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送− 480p、480i)
主+副	二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
字幕	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4~20才まであります)
コピー制限	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
有料	有料放送の番組(放送会社との契約が必要です)

表示マーク一覧(つづき)

予約一覧画面

マーク	説明
可	全編の録画が可能な番組
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
重複	予約時間が重なっている番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
不可	HDDの残量が不足していたり、HDDの番組数がいっぱいで録画できない番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組(デジタル放送など)
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
代替	予約時にディスクが未挿入などで、HDDに代替録画される番組
月/日迄	毎週予約時の、録画可能な日付(最大1ヵ月先)。(他の番組の録画や消去など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります)
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
お知らせ	番組表(Gガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示
探して毎回★	テレビ(ビエラ)側から「探して毎回予約」で予約した番組
●	録画中の番組
検索中	時間変更追従を実行中(時間確認中)

マーク	説明
時間指定	Gコード® 予約または時間指定予約で予約した番組
番組予約	番組表(Gガイド)を使って予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
シリーズ終了	毎日·毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
毎週 毎日 月~土 月~金	毎日·毎週予約の番組
曜日指定	曜日指定した毎日·毎週予約のときに表示
毎週更新 毎日更新 月~土更新 月~金更新	毎日·毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)
自動予約	ブロードバンドレシーバー機能を使って自動予約された番組(**➜ 準備編 14**)

録画一覧、写真一覧、曲一覧画面

マーク	内容
	HDDにダビング中の番組やアクトビラからダウンロードした視聴期限の過ぎたまたはデータが壊れているなど、再生できない番組
	書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真
	録画・アクトビラからダウンロード中の番組
10（数字は10~2）	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はディスクへダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
	本機で録画したコピー制限のある番組 ディスクへダビングするとHDDの番組は消去されます。
1（白）	アクトビラでダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
×	ダビングできない番組
新	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	HDDに代替録画された番組
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「写真おまかせ取込」で取り込んでまだ見ていない写真
	録画禁止信号により録画できなかった番組 （デジタル放送など）
	２つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	プリント枚数（DPOF）が設定された写真
	再生中の曲
	ブロードバンドレシーバー機能を使って 自動予約録画された番組（➜ **準備編 14**）

ダビング、持ち出せる番組一覧画面

マーク	内容
	-R(V) -R DL(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組
	静止画を含むもの （HDD に静止画部分はダビングされません）
	録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」で録画された番組または本機に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）
まとめ	２つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	かんたん転送するように登録されている番組
1（数字は1~99）	ダビング登録した番組 数字の小さい番組から順にダビングします。
	本機で録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。 （VHS ダビング時は除く）
	本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとHDDの番組は消去されます。 （VHS ダビング時は除く）
	ダビングすると移動する番組 （詳細ダビング時）
	アクトビラでダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
	ダビングできない番組

その他の画面

マーク	内容
	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）（➜ **118**）
	番組表（Gガイド）を使って予約された番組の番組表（Gガイド）上での表示
	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール（既読メール）
新	「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表（Gガイド）上での表示

用語解説

サ サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差が小さくなり、小音量でもセリフなどが聞き取りやすくなります。

● ダウンミックス
デジタル放送やディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されます。

● ダビング 10
デジタル放送のほとんどの番組にかけられていた「1 回だけ録画可能」のコピー制限を緩和するもので、本機は「ダビング 10」に対応しています。HDD に録画した番組は、ディスクに 10 回までダビング(コピー9 回 + 移動 1 回)ができ、10 回目のダビングで消去(移動)されます。(ディスクに録画した場合は、「1 回だけ録画可能」となり従来どおりダビングできません)
すべてのデジタル放送の番組が「ダビング 10」対応になるわけではありません。

● デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ハ ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

● フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

● フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。
フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

● フォルダ
ハードディスクやSDカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG)やMPEG2などの保管場所を表します。
(本機で表示されるフォルダ構造例 ➜153)

● ブラウザ
ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

● プログレッシブ (p)/インターレース (i)
インターレース(飛び越し走査)は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ(順次走査)は、画面の表示を1回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

マ マルチビュー放送
1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ワ ワンセグ
ワンセグ(地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス)とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらに独自のデータ放送を楽しめるのが特長です。(本機は、データ放送サービスには対応していません)

A AAC(Advanced Audio Coding) (エーエーシー アドバンスド オーディオ コーディング)
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング」の略で、CD 並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

● AVCHD (エーブイシーエイチディー)
高精細なハイビジョン映像を 8 cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

B BD - J (ビーディー ジェイ)
BD ビデオには、JAVA アプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションは BD-J と呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

● Bitstream (ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C CPRM (シーピーアールエム)
(Content Protection for Recordable Media) (コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア)
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D D映像端子
コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

● Deep Color (ディープ カラー)
8 bit 以上の色情報を扱える高色域規格の1つです。
Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を 8bit 以上の高階調表示に変換して表示します。

● Dolby Digital (ドルビー デジタル)
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2 ch)はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

● Dolby Digital Plus (ドルビー デジタル プラス)
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応しているAVアンプに「Bitstream」で出力することもできます。

Dolby TrueHD
DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD規格では最大7.1chまで対応しています。
※ 本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

DPOF(Digital Print Order Format)
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンターでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

DTS (Digital Theater Systems)
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD
映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。
※本機では最大7.1chのPCM音声にデコードしてHDMI端子から出力できます。また、対応している AV アンプに「Bitstream」で出力することもできます。

Ⓗ

HDD(ハードディスクドライブ)
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)
HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

Ⓙ

JPEG(Joint Photographic Experts Group)
カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10〜1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ

LPCM (リニア PCM)
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

Ⓜ

MAC アドレス
ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

MPEG-2、MPEG-4 AVC / H. 264
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

Ⓟ

PCM (Pulse Code Modulation)
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス・コード・モジュレーション:パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ

S映像出力
映像信号をC(色信号)とY(輝度信号)に分離してテレビに伝えます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

- **S1映像信号**
映像の横縦比が4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

- **S2映像信号**
S1の機能に加え、レターボックス(上下に黒帯が入っている映像)のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

Ⓥ

VBR (Variable Bit Rate)
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

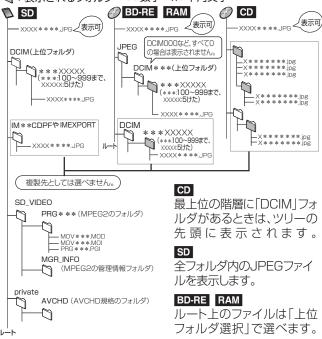
①

1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース(i=飛び越し走査)は、1行おきに走査する方式です。プログレッシブ(p= 順次走査)は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

本機で表示されるフォルダ構造例
：表示されるフォルダ ＊：数字 x：半角文字

CD
最上位の階層に「DCIM」フォルダがあるときは、ツリーの先頭に表示されます。

SD
全フォルダ内のJPEGファイルを表示します。

BD-RE RAM
ルート上のファイルは「上位フォルダ選択」で選べます。

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS第1水準、JIS第2水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時:約 32 W

待機時(クイックスタート「切」):時刻表示点灯時・約 0.6 W※1
時刻表示消灯時・約 0.4 W※1
待機時(クイックスタート「入」):時刻表示点灯時・約 5.9 W※1
時刻表示消灯時・約 5.8 W※1

※1 ・地上デジタルアッテネーター:「オン」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源:「オフ」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力:「オフ」

年間消費電力	
区分名※2	—
年間消費電力量※3	43.9 kWh/ 年
省エネ基準達成率※2	—

※2 ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分/省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※3 表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です。

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 94 mm×奥行 335 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 94 mm×奥行 345 mm (突起部含む)
本体質量	約 6.4 kg
許容周囲温度	5 ℃~40 ℃
許容相対湿度	35%~80%RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示
プログラム数	128プログラム (予約可能期間:1年間)

テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式、有効走査線数 480本、60フィールド デジタルハイビジョン: 地上デジタル放送方式(日本)、 衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** 90 MHz ~ 770 MHz 75 Ω (VHF:1~12 CH、UHF:13~62 CH、CATV:C13~C63 CH) **地上デジタル入力** 90 MHz ~ 770 MHz 75 Ω (VHF:1~12 CH、UHF:13~62 CH、CATV:C13~C63 CH) **BS・110度CSデジタル -IF 入力** 1032 MHz~2071 MHz (IF入力周波数)75 Ω 電源供給 :DC 15 V、最大4 W

入出力端子(映像・音声を除く)

SDメモリーカードスロット	1系統
ＬＡＮ端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
電話回線(モジュラー)端子	1系統[V.22bis(2400 bps、着呼機能なし)]

映像

記録圧縮方式(HDD/BD/DVD のみ)	MPEG-2(Hybrid VBR) MPEG-4 AVC/H.264
映像入力	**入力端子** :1系統(ピンジャック) **入力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像入力	**入力端子** :1 系統 **Y入力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω **C入力レベル** :0.286 Vp-p 75 Ω
映像出力	**出力端子** :1系統(ピンジャック) **出力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω
S映像出力	**出力端子** :1系統 **Y出力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω **C出力レベル** :0.286 Vp-p 75 Ω
D端子映像出力(D1/D2/D3/D4端子)	**出力端子** :1系統 (480i/480p/1080i/720p) **Y出力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω **CB/PB出力レベル**:0.7 Vp-p 75 Ω **CR/PR出力レベル**:0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI映像・音声出力	**出力端子** :1系統(19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています] (480p/1080i/720p)

音声

記録・再生圧縮方式(HDD/BD/DVD のみ)	●MPEG-2 AAC (DR、HG、HX、HE、HL、HMモード・デジタル放送記録時): 最大 5.1ch 記録 ●Dolby Digital: (XP、SP、LP、EP、FR モード) 2ch記録 ●リニアPCM(XPモードのみ切り換え可): 2ch記録
アナログ入力	**入力端子** :2ch入力 1系統(ピンジャック) **基準入力** :309 mVrms **入力レベル(HDD/BD/DVD のみ):** FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス:22 kΩ
アナログ出力	**出力端子** :2ch出力 1 系統(ピンジャック) **基準出力** :309 mVrms **出力レベル(HDD/BD/DVD のみ):** FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス:1 kΩ (負荷インピーダンス:10 kΩ)
チャンネル数	**記録**:2ch(デジタル放送記録時:最大 5.1ch) **再生**:2ch HDMI 出力:最大 7.1ch 光デジタル出力:最大 5.1ch (Bitstream)
トラック数(VHS のみ)	ハイファイ:2トラック ノーマル:1トラック
デジタル出力	**光デジタル音声出力端子**:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、 MPEG-2 AAC対応) **HDMI 映像・音声出力端子**:1系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、 MPEG-2 AAC対応) (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	320 GB
記録可能なディスク※4	●BD-RE(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R(SL:片面 1 層 /DL:片面 2 層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 1-2X SPEED LTH type[(Ver.1.2 準拠)(SL: 片面 1 層のみ)] ●DVD-RAM※5: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R(DL): 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)
記録方式	●BD-RE: Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠 ●BD-R: Blu-ray Disc Recordable Format 準拠 ●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面 2 層): DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠、 DVDビデオレコーディング規格準拠
リージョンコード	DVD :#2 BD :Region A

※4 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVDディスクへは記録できません。
※5 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。

仕様(つづき)

再生可能なディスク	●BD-RE SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 25 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-RE DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.2.1 準拠) 50 GB (1X SPEED Ver.1.0 は非対応) ●BD-R SL(SL: 片面 1 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 25 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 25 GB 2X SPEED LTH type(Ver.1.2 準拠)25 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 25 GB ●BD-R DL(DL: 片面 2 層): 2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 50 GB 4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 50 GB 6X SPEED(Ver.1.3 準拠) 50 GB ●BD-Video (BD-Live 対応) ●DVD-RAM※5: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※6、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※6、AVCREC 規格準拠※6 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠※6、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※6 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※6、AVCHD規格準拠※6 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEG フォーマット記録ディスク

VHS部

録画方式	VHS規格
テープ速度	標準:33.35 mm/秒 3倍:11.12 mm/秒
使用カセット	VHSビデオカセット
録画時間	最大9時間(T-180使用、3倍モード)
早送り・巻き戻し時間	約60秒(T-120使用時)

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※7※8※9※10※11

SDカード機能/静止画(JPEG)

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※12
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●DPOF対応
画素数	34×34〜8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※13	約2秒(1010万画素、JPEG)

SDカード機能/動画(MPEG-2)

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2 ●SD(SD VIDEO規格)からHDD またはビデオレコーディング規格の DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW への変換転送後に再生可能

SDカード機能/動画(持ち出し動画)

ファイル形式	SD VIDEO 規格 (ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264 ●HDD から SD(SD VIDEO規格)へ転送後にワンセグ対応携帯電話などで再生可能

SDカード機能/動画(AVCHD)

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264 ●AVCHD の直接再生。 SD(AVCHD規格)からHDD/BD-RE/BD-RまたはAVCREC規格準拠のDVD-RAM/DVD-R/DVD-R DLへの変換転送後に再生可能

写真(JPEG)

再生可能なメディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、CD-R/CD-RW、SD カード
ファイル方式	JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ●MOTION JPEG 非対応
画素数	34×34〜8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
フォルダ数※14	CD-R/CD-RW :最大 99 HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード :最大 300
ファイル数※15	CD-R/CD-RW :最大 999 HDD、BD-RE :最大 9999 DVD-RAM、SD カード :最大 3000
CD(JPEG)	●ISO9660 level1 と 2(拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

HDD BD-RE RAM SD DCF 準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

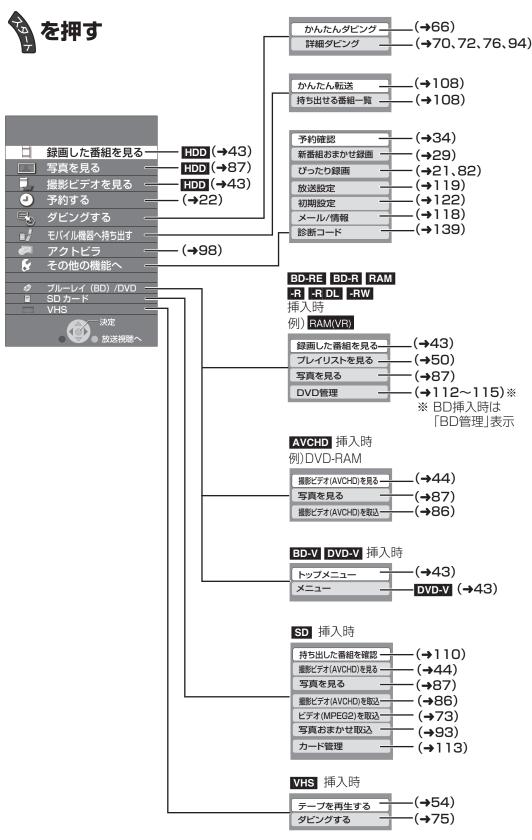
DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

入力できる文字数

ディスクなど	種類	英数	その他
HDD	番組名	64	32
	写真のアルバム名	36	18
	マイラベル名	32	16
RAM(VR) -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	番組名	64	32
	写真のアルバム名（RAM(VR) のみ）	36	18
	ディスク名	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V)	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R DL(AVCREC)	番組名	252	127
	予約番組の番組名	64	32
	写真のアルバム名（BD-RE RAM(AVCREC) のみ）	36	18
	ディスク名	252	127

※5　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※6　他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。
※7　使用可能容量は少なくなることがあります。
※8　SDHCメモリーカードを含む。
※9　miniSDカードを含む。（miniSDアダプター装着時）
※10 microSDカードを含む。（microSDアダプター装着時）
※11 microSDHCカードを含む。（microSDHCアダプター装着時）
※12 ロングファイル名非対応。
※13 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。
※14 BD-RE RAM CD 最大フォルダ数：ディスク1枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）
※15 BD-RE RAM CD 最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG 以外のファイルとの合計とする）

スタートボタンについて

スタート画面から本機の各機能の操作を行うことができます。
● ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

●項目を選ぶと、画面の右半分は以下のように画像が表示されます。
・録画した番組を見る・撮影ビデオを見る：
HDD に記録した番組の中から未視聴のものを優先して、最新の 10 番組を表示します。（アクトビラからダウンロードした番組や「1 回だけ録画可能」な番組を除く） 記録した番組数が 10 未満の場合は、サンプルの画像を表示します。同時操作中は、サンプルの画像の動きが遅くなる場合があります。
表示される画像は、電源を切 / 入すると更新されます。
●上記以外の項目：
イメージ図を表示します。

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・電源プラグが異常に熱い
・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
●特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

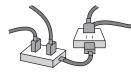
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)(つづき)

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

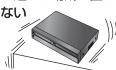
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやカセットは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイ・カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、
開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル	
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	（バングラ）	6678
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ペルシャ	7065
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポーランド	8076
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	ポルトガル	8084
アファル	6565	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マオリ	7773
アフリカーンス	6570	カンナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マケドニア	7775
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マダガスカル	7771
アムハラ	6577	キルギス	7589	セルビア	8382	バスク	6985	マライ(マレー)	7783
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	パシュト	8083	マラッタ	7782
アルバニア	8381	クルド	7585	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マラヤーラム	7776
アルメニア	7289	クロアチア	7282	タイ	8472	ヒンディー	7273	マルタ	7784
イタリア	7384	グアラニー	7178	タガログ	8476	ビハール	6672	モルダビア	7779
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タジク	8471	ビルマ	7789	モンゴル	7778
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タタール	8484	フィジー	7074	ヨルバ	8979
インドネシア	7378	グルジア	7565	タミル	8465	フィンランド	7073	ラオ	7679
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	チェコ	6783	フェロー	7079	ラテン	7665
ウォロフ	8779	ゲール		チベット	6679	フランス	7082	ラトビア	
ウクライナ	8575	（スコットランド）	7168	中国語	9072	フリジア	7089	（レット）	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	ティグリニア	8473	ブータン	6890	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	テルグ	8469	ブルガリア	6671	リンガラ	7678
ヴォラピュック	8679	サモア	8377	デンマーク	6865	ブルターニュ	6682	ルーマニア	8279
英語	6978	サンスクリット	8365	トウイ	8487	ヘブライ	7387	レトロマンス	8277
エストニア	6984	ショナ	8378	トルクメン	8475	ベトナム	8673	ロシア	8285
エスペラント	6979	シンド	8368	トルコ	8482	ベロルシア			
オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トンガ	8479	（白ロシア）	6669		

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・使いかた・お手入れなどは…

■ **まず、お買い上げ販売店へご相談ください。**

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　(　　　)　－

お買い上げ日　　年　月　日

B-CASカード番号

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは…

「故障かな!?」(➜139 ～148)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名　ブルーレイディスクレコーダー
- 品　番　DMR-BR670V
- 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

補修用性能部品の保有期間 8年

※ 当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。**

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は

ホームページをご覧いただけるお客様は弊社ホームページへ

ホームページのご案内

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(➜139)
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

ホームページをご覧いただけないお客様は DIGA(ディーガ)ご相談窓口へ

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

HDDの初期化(録画内容の消去)に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化(出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます)や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。(ただし、初期化しないと修理ができない場合があります)

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0510

さくいん

さ 行

ページ

た 行

ページ

な 行

ページ

さくいん(つづき)

は 行　ページ

ま 行　ページ

や 行　ページ

ら 行　ページ

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●Gガイド、G-GUIDE、Gガイドロゴ、Gコード、G-CODE、および Gコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gガイド、および Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。DTS のロゴ、シンボルマーク、DTS-HD、及び、DTS-HD Master Audio ｜ Essential は、DTS, Inc. の商標です。
著作権 1996-2008 DTS, Inc.
不許複製。
●SDHCロゴは商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
●HDAVI Control™ は商標です。
●マーク、およびacTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●“BD-LIVE”ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
●“BONUSVIEW”は Blu-ray Disc Association の商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格及びVC-1規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）を ご参照ください。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［スタート］ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
●メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●本機は2009年6月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
●アナログテレビ放送終了までにご購入いただいた場合、この商品の価格には私的録画補償金が含まれています。
私的録画補償金のお問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号
赤坂三辻ビル 2F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。
●アクトビラのサービス
●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
●ブロードバンドレシーバー機能
●その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で **「ご愛用者登録」** をしてください

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
特典２	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ＆Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

登録はこちらから PC http://club.panasonic.jp/ 携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

本機の使用中､何らかの不具合により､正常に録画･編集ができなかった場合の内容の補償､録画･編集した内容(データ)の損失､および直接･間接の損害に対して､当社は一切の責任を負いません｡あらかじめご了承ください｡

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか	
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● テープやディスクをいためた ● その他の異常や故障がある

ご使用中止	
	故障や事故防止のため、電源を切り､コンセントから電源プラグを抜いて､必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9490-5S
F0709TN5011